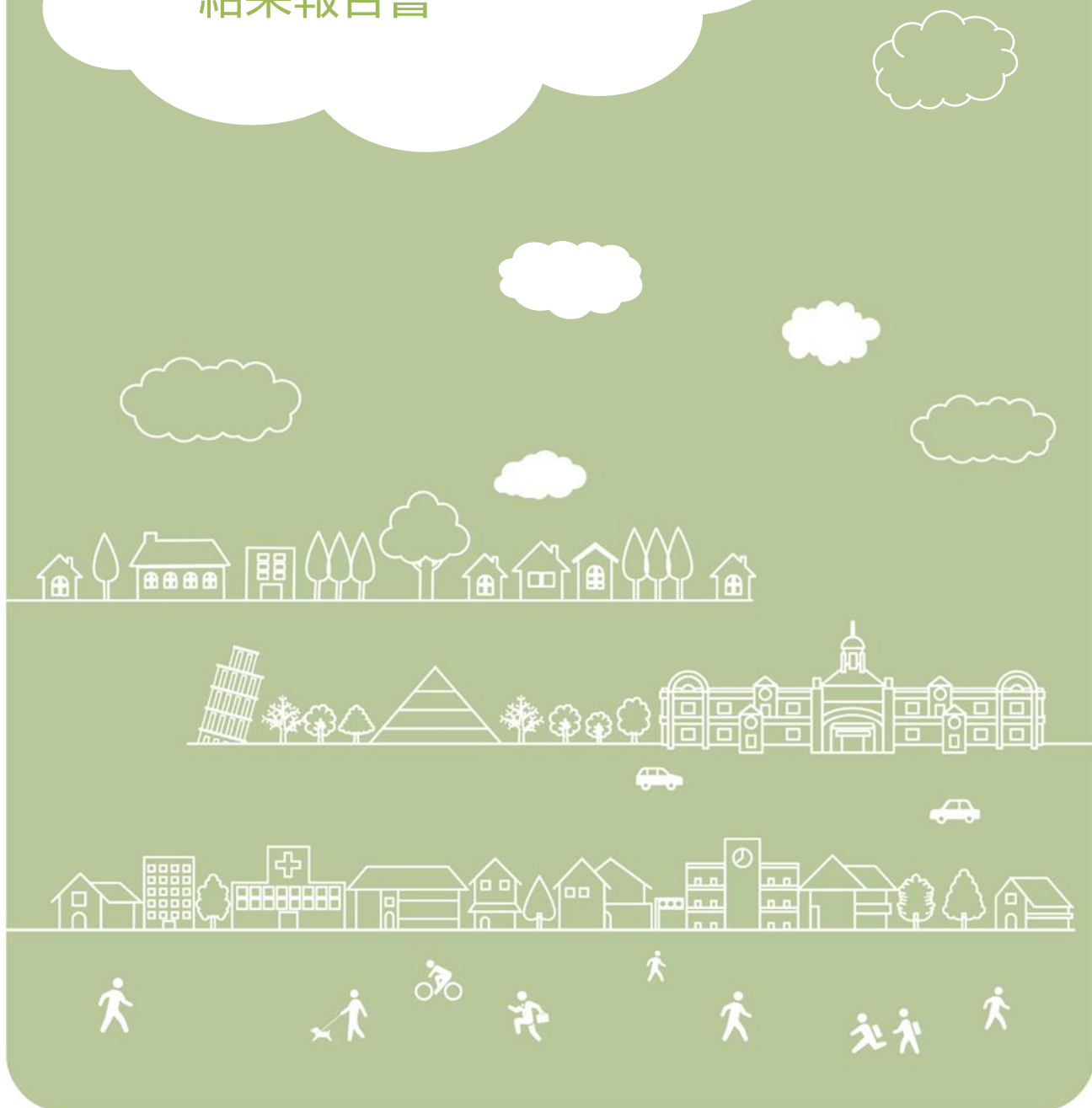


第7期総合計画

# 中間年市民意識調査 結果報告書



令和7年11月  
北海道砂川市

# 目 次

## 1 調査の概要

|    |         |   |
|----|---------|---|
| 1) | 調査の目的   | 3 |
| 2) | 調査の方法   | 3 |
| 3) | 調査内容    | 3 |
| 4) | 回収状況    | 4 |
| 5) | 集計・表記方法 | 4 |

## 2 設問別調査結果

|       |               |    |
|-------|---------------|----|
| 問1    | 回答者の属性        | 7  |
| 問2    | 砂川市のイメージ      | 12 |
| 問3    | 砂川市の住み心地      | 14 |
| 問4    | 砂川市への愛着       | 15 |
| 問5-1  | 今後の居住意向       | 16 |
| 問5-2  | 定住阻害要因        | 18 |
| 問6    | 土地利用について      | 20 |
| 問7    | まちづくりの満足度・重要度 | 22 |
| 問8    | まちの景観の満足度     | 26 |
| 問9    | まちの緑について      | 28 |
| 問10-1 | 公園利用について      | 32 |
| 問10-2 | 公園利用の目的について   | 33 |
| 問10-3 | 公園を利用しない理由    | 34 |
| 問11   | 人口減少への対応について  | 36 |
| 問12   | 少子化への対応について   | 37 |
| 問13   | 高齢化への対応について   | 40 |
| 問14   | 砂川市の将来像       | 43 |
| 問15   | 産業の振興について     | 46 |
| 問16   | 中心市街地活性化について  | 47 |
| 問17   | 中心市街地訪問理由     | 53 |
| 問18   | 公共交通機関に対する満足度 | 54 |
| 問19   | 道路・交通について     | 58 |
| 問20   | 観光スポットの紹介（自慢） | 59 |
| 問21   | 砂川市がめざす まちの姿  | 61 |
| 問22   | 市民参加の考え方      | 62 |
| 問23   | 市民参加の現状       | 64 |
| 問24   | まちづくりへの意見、提案  | 65 |

## 1. 調査の概要

### 1) 調査の目的

令和元年度に砂川市のまちづくりの指針である「砂川市第7期総合計画」を策定するにあたり、市民意識調査を行い計画に反映させたが、令和7年度で計画期間の5年目に突入したことから、中間年評価として、市民がこれまでの施策をどのように評価し、将来のまちづくりにどのような意見や要望を持っているか等について調査を行うとともに、計画に定める中間目標値の達成度を検証・分析し、今後の第3次実施計画の策定の資料とするために実施した。

### 2) 調査の方法

- ①調査対象 令和7年5月1日現在、砂川市に居住する満18歳以上の市民の中から、18歳以上人口（13,526人）の約1割である1,350人を対象とした。
- ②抽出方法 1,350人の抽出にあたっては、令和7年5月1日現在の住民基本台帳登録者から年代別人口構成比に応じた割当数を無作為抽出した。

抽出内訳

| 年 代            | 抽出数（比例割当） | 男性  | 女性  |
|----------------|-----------|-----|-----|
| 20歳代（18～19歳含む） | 138       | 69  | 69  |
| 30歳代           | 123       | 64  | 59  |
| 40歳代           | 165       | 83  | 82  |
| 50歳代           | 205       | 100 | 105 |
| 60歳代           | 214       | 101 | 113 |
| 70歳以上          | 505       | 204 | 301 |
| 計              | 1,350     | 621 | 729 |

- ③調査方法 郵送による配布・回収またはオンライン回答
- ④調査期間 令和7年5月26日（月）～6月27日（金）  
（最終締め切り7月3日）

### 3) 調査内容

- ・回答者の属性
- ・砂川市のイメージ
- ・砂川市の住み心地
- ・砂川市への愛着
- ・定住意向／阻害要因
- ・土地利用
- ・まちづくりの満足度・重要度
- ・景観、緑化・公園
- ・社会問題への対応（人口減少、少子化、高齢化）
- ・砂川市の将来像

- ・産業について
- ・中心市街地について
- ・公共交通について
- ・道路・交通について
- ・観光スポットについて
- ・砂川市がめざす まちの姿（自由回答・別冊）
- ・市民参加・地域活動について
- ・今後の砂川市のまちづくりに対する提案や意見（自由回答・別冊）

#### 4) 回収状況

- ①配布数 1,350 通
- ②回収数 547 通
- ③回収率 40.5%

#### ※参考（令和元年度調査結果）

- 配布数 1,500 通
- 回収数 598 通
- 回収率 39.9%

#### 5) 集計・表記方法

##### ◎構成比の示し方

複数回答の設問などで、構成比を示す場合は、各設問の無回答者を除いた実回答者数をもとに、それぞれの項目に占める割合を表示している。

##### ◎構成比の合計

各集計値の構成比は小数点第二位を四捨五入しているため、その合計が 100%にならない場合がある。また、複数回答における回答率は 100%を超える場合がある。

##### ◎年齢及び住所地に関する集計方法

下記については回答数が少ないため、統計上の数値として利用できないことから、合算した。

##### ・年齢

20 歳未満(2 人)、20 歳代(25 人)を合算し、「30 歳未満」とした。

##### ・住所地

- ① 空知太(31 人)、空知太東(46 人)、空知太西(22 人)を合わせて「空知太地区」とした。
- ② 富平(3 人)、豊沼町(8 人)、東豊沼(6 人)、西豊沼(2 人)、北光(22 人)、一の沢(3 人)、焼山(10 人)、宮城の沢(2 人)を合わせて「農村地区」とした。
- ③ 東 1~4 条北 10~22 丁目(3 人)、西 1~7 条北 10~24 丁目(40 人)を合わせて「東西 北 10~24 丁目地区」とした。
- ④ 東 1~6 条北 1~9 丁目(9 人)、東 1~7 条南 1~11 丁目(53 人)、三砂町(15 人)を合わせて「東中心市街地区」とした。
- ⑤ 西 1~8 条北 1~9 丁目(36 人)、西 1~7 条南 1~11 丁目(42 人)を合わせて「西中心市街地区」とした。

- ⑥ 北吉野町(6人)、南吉野町(6人)、吉野北条丁目(14人)、吉野南条丁目(70人)、晴見(25人)を合わせて「吉野・晴見地区」とした。
- ⑦ 東1～6条南12～22丁目(31人)、西1～7条南12～22丁目(33人)を合わせて「東西 南12～22丁目地区」とした。

◎令和元年度に実施したアンケート調査結果との比較について

令和元年度に第7期総合計画を策定するにあたり、「市民意識調査」を実施しており、必要な部分において今回調査との比較を行った。

◎本文、グラフ及び表の選択肢の文言

実際の調査書の文言を省略している場合がある。

◎問7 まちづくりの満足度と重要度について

各施策における満足度と重要度は、回答した項目ごとに以下のようなポイントを付け、回答者数で除した平均値を求めて表すこととした。

| 項 目       | ポイント |
|-----------|------|
| 満足        | 5    |
| やや満足      | 4    |
| どちらとも言えない | 3    |
| やや不満      | 2    |
| 不満        | 1    |

| 項 目       | ポイント |
|-----------|------|
| 重要        | 5    |
| やや重要      | 4    |
| どちらとも言えない | 3    |
| あまり重要ではない | 2    |
| 重要ではない    | 1    |

上記の結果から、縦軸に重要度、横軸に満足度をあらわした座標に61項目をポイントごとに配置し、散布図とした。

◎「その他」欄の記載について

各設問において「その他」欄を設けてあり、具体的に記載があるものについては原文を掲載し、質問の趣旨にそぐわないもの等については一部掲載していないものがある。

また、文章をわかりやすくするため、趣意を損なわない程度に補足や誤字訂正などを行っている場合がある。

◎問 21 砂川市がめざす まちの姿（自由回答）について

自由回答のため、別途とりまとめることとし、別冊①として報告することとした。

◎問 24 今後のまちづくりに対する提案やアイデア、ご意見など（自由回答）について

自由回答のため、別途とりまとめることとし、別冊②として報告することとした。

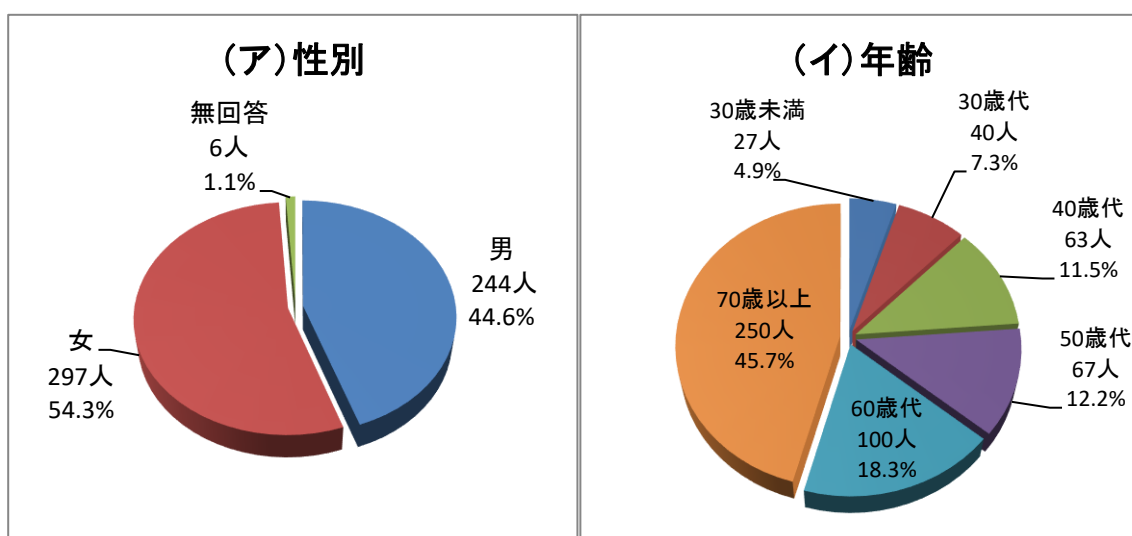
## 2. 設問別調査結果

【問1】あなたご自身のことについてお答えください。（回答者の属性）  
（1つ選択）

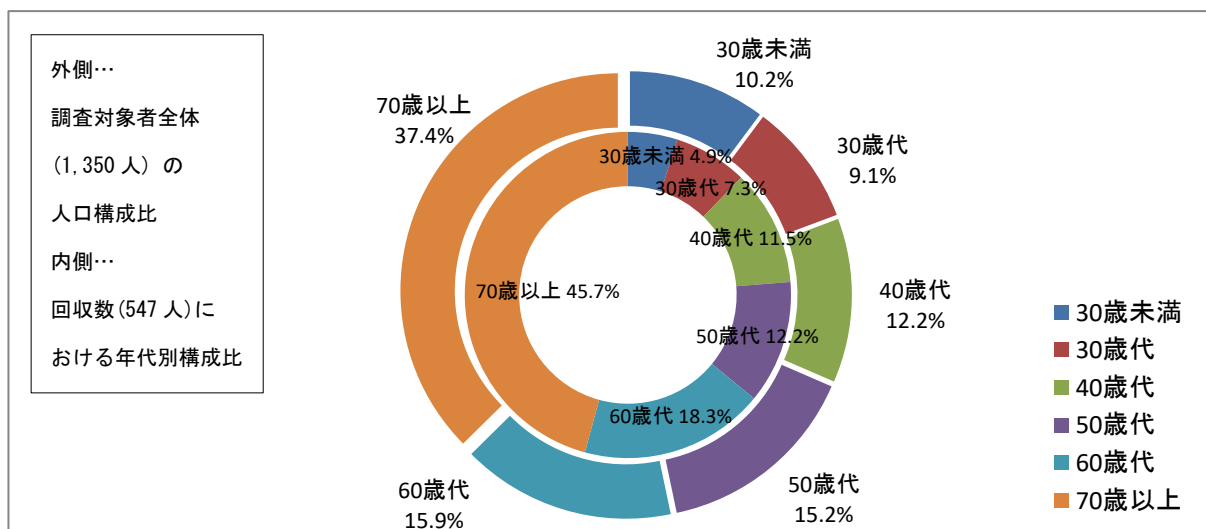
性別については、回答者 547 人のうち男性が 244 人（44.6%）、女性が 297 人（54.3%）で、女性が約 1 割多くなっています。

年齢については、前回の調査同様年代が高い順に回答数全体に占める割合も高くなっており、70 歳以上が 250 人（45.7%）で最も高く、60 歳代 100 人（18.3%）、50 歳代 67 人（12.2%）、40 歳代 63 人（11.5%）、30 歳代 40 人（7.3%）と続き、30 歳未満については 27 人（4.9%）となっています。

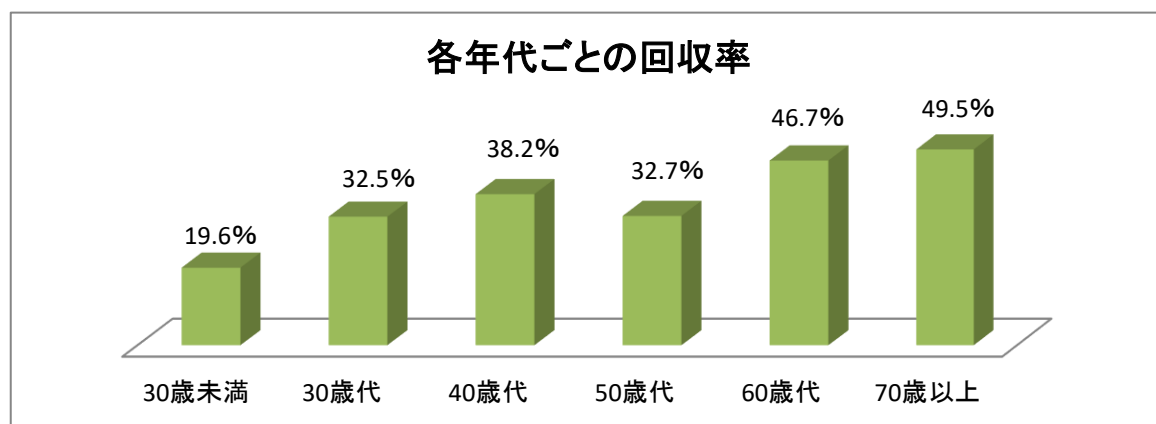
また、回答者に占める割合も、60 歳代以上が前回は 60.4%であったのに対し、今回も 64.0%と 6 割を超えています。



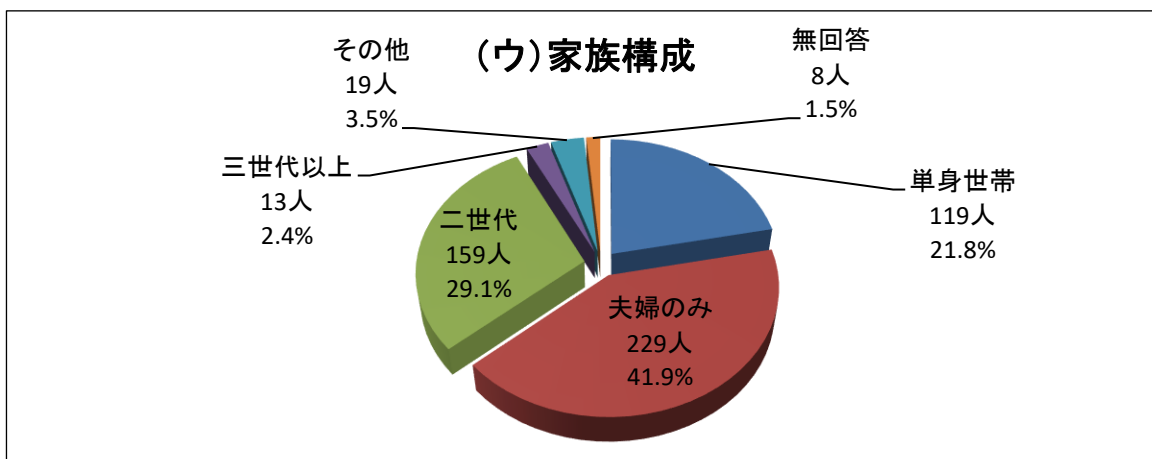
外側の円グラフは調査対象者全体（1,350 人）に対する人口構成比を表しています。内側の回収数（547 人）に対する年代別構成比と比較すると、60 代以上の回収率は年代別構成比より高くなっている一方、50 歳代以下の回収率は年代が若くなるに従い低くなっています。若い世代の回収率の低さは、次頁の表でもわかります。



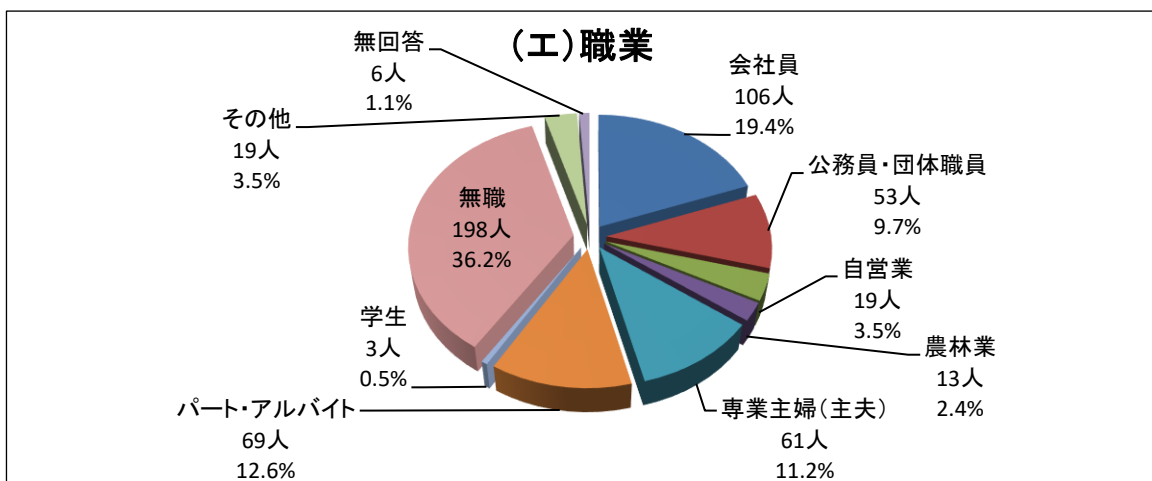
このことから、各設問における回答の傾向としては、年齢の高い世代の意見がより反映された結果になることも考えられます。



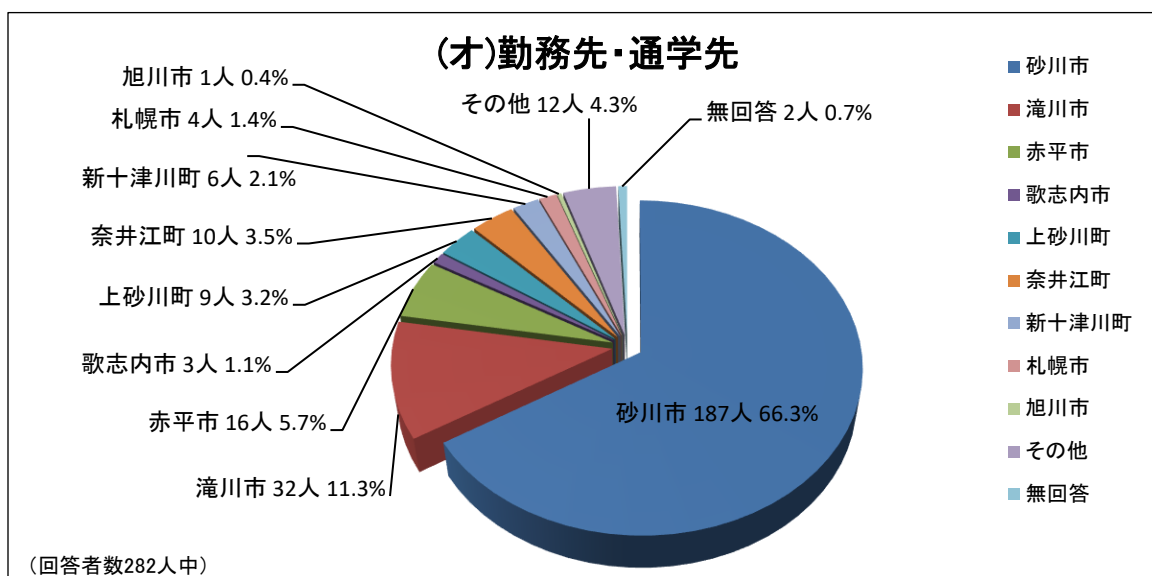
家族構成については、「夫婦のみ」が41.9%と最も高く、「二世帯」(29.1%)、「単身世帯」(21.8%)と続きます。「夫婦のみ」と「単身世帯」を合わせると6割を超えています。また、単身世帯が前回の19.1%から21.8%に増えており、単身世帯の増加も伺えます。



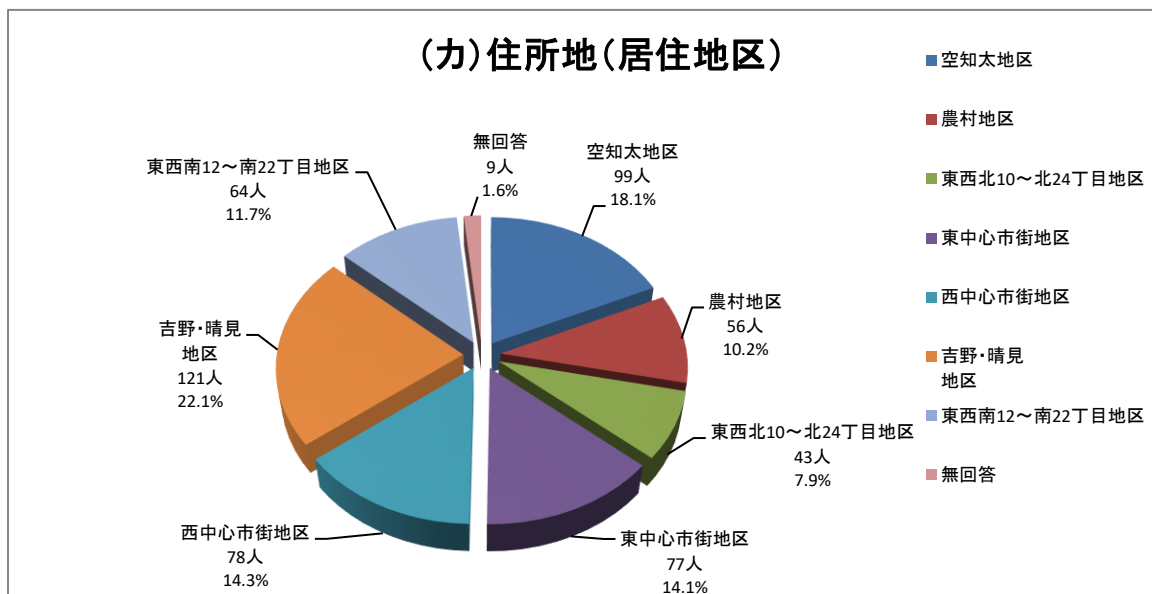
職業については、「無職」が36.2%と最も高く、「会社員」(19.4%)、「パート・アルバイト」(12.6%)、「専業主婦(主夫)」(11.2%)と続きます。



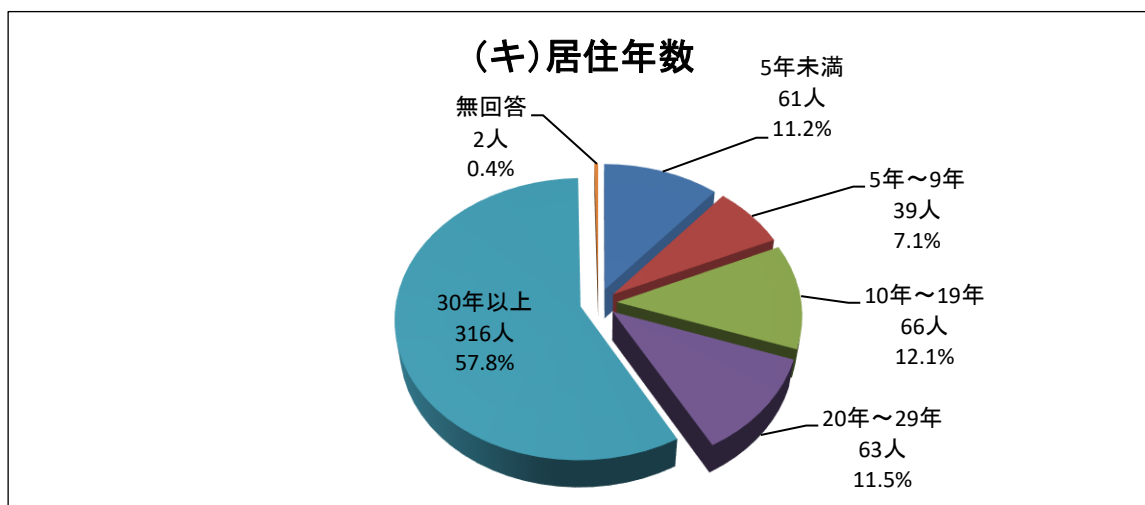
勤務先・通学先については、「砂川市」が 66.3%と最も高く、「滝川市」(11.3%)、「赤平市」(5.7%)と続きます。



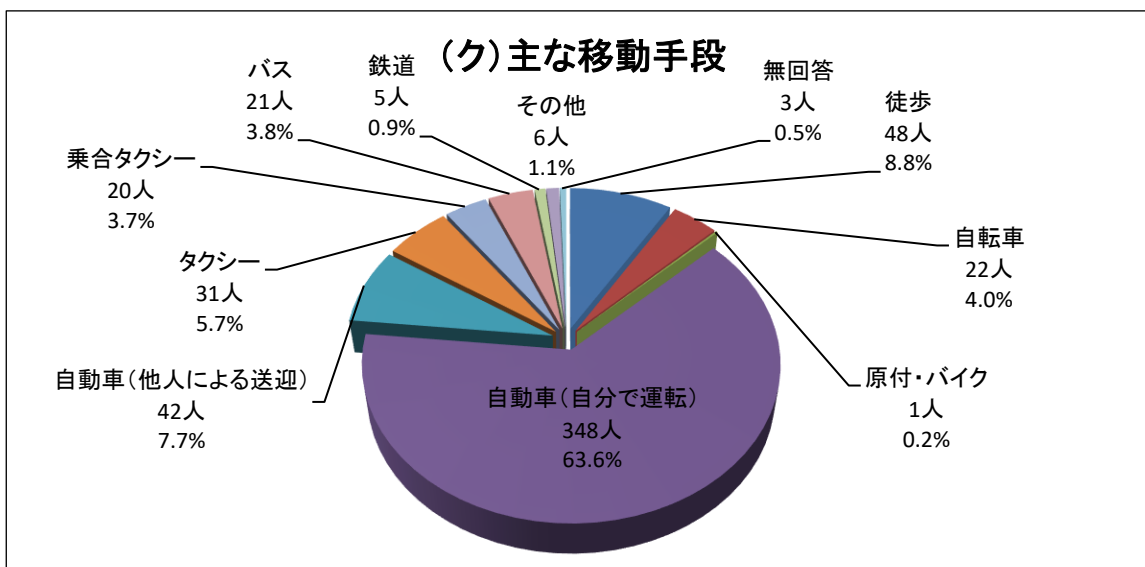
住所地(居住地区)については「吉野・晴見地区」が 22.1%と最も高く、「空知太地区」「(18.1%)」、「西中心市街地区」(14.3%)、「東中心市街地区」(14.1%)と続きます。



居住年数については、「30年以上」が57.8%と最も高く、「10年～19年」(12.1%)、「20年～29年」(11.5%)と続きます。

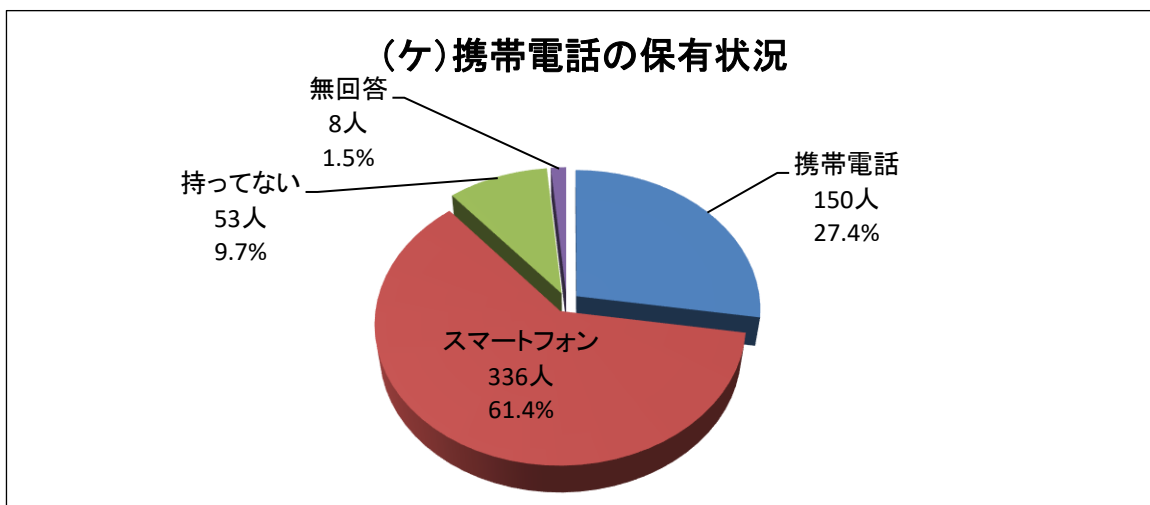


主な移動手段については、「自動車（自分で運転）」が63.6%と最も高く、「徒歩」(8.8%)、「自動車（他人による送迎）」(7.7%)、「タクシー」(5.7%)と続きます。

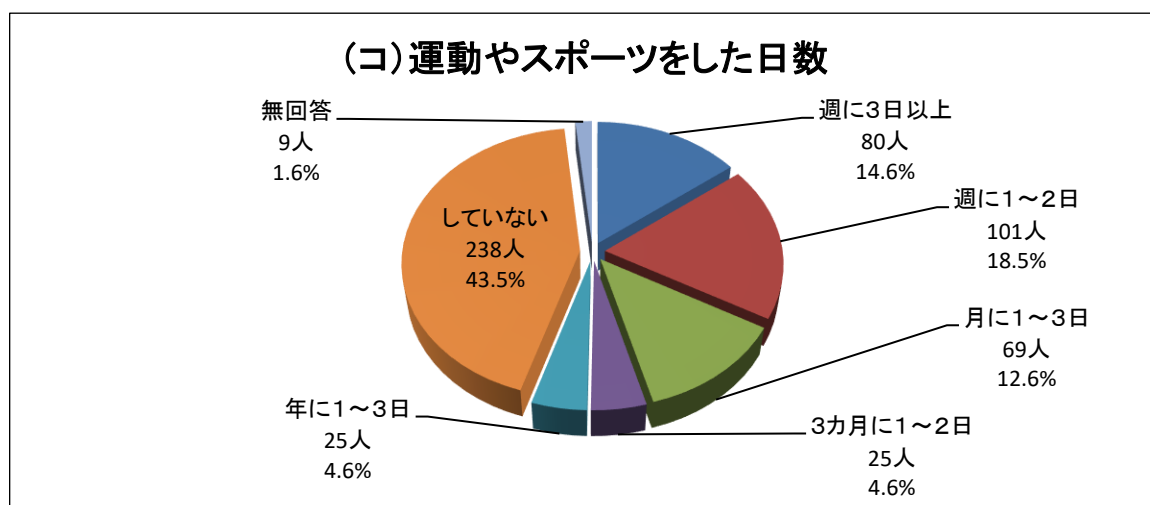


携帯電話の保有状況については、「スマートフォン」が61.4%と最も高く、「携帯電話」(27.4%)、「持っていない」(9.7%)と続きます。

携帯電話を「持っていない」という方も1割程度いることがわかります。



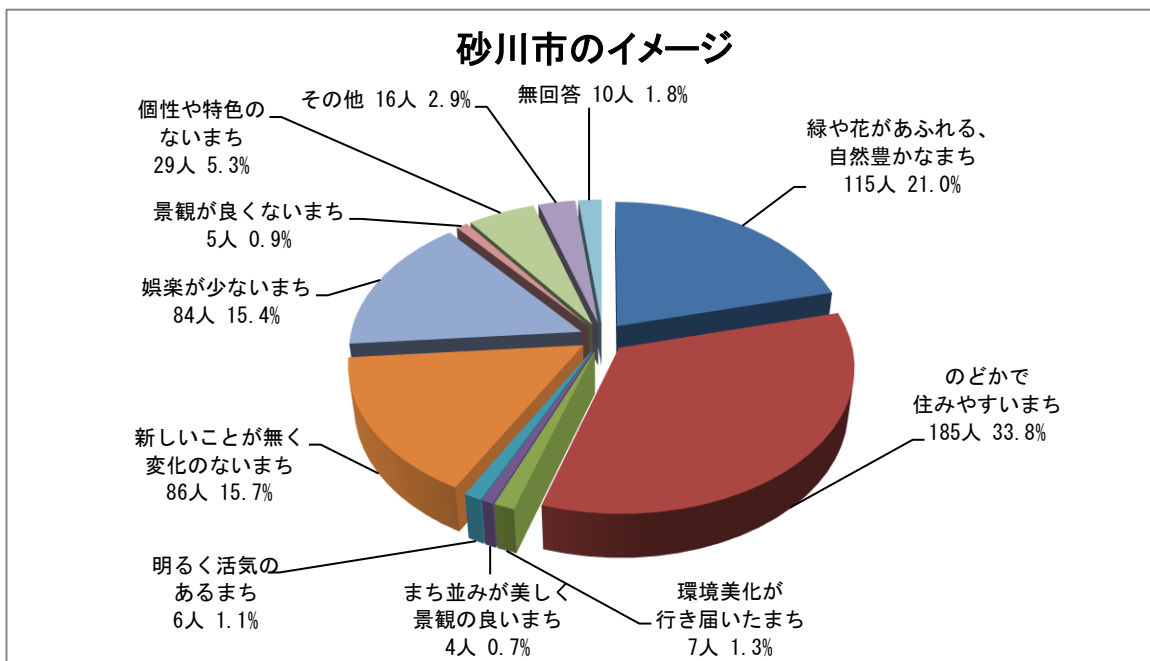
2024年1月～12月までの間に運動やスポーツをした日数については、「していない」が43.5%と最も高く、「週に1～2日」(18.5%)、「週に3日以上」(14.6%)、「月に1～3日」(12.6%)と続きます。



【問2】あなたは、砂川市にどのようなイメージ（印象）を持っていますか。

（1つ選択）

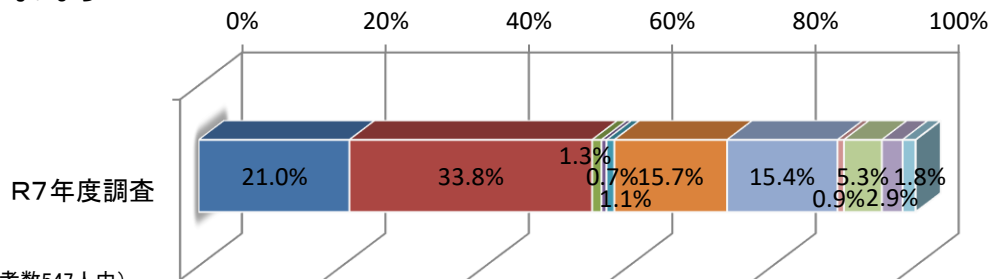
砂川市のイメージについては「のどかで住みやすいまち」が33.8%と最も高く、「緑や花があふれる、自然豊かなまち」（21.0%）、「新しいことが無く変化のないまち」（15.7%）と続きます。



前回の調査（令和元年度実施）と比較すると、マイナスイメージである「新しいことが無く変化のないまち」が19.2%から15.7%に減少している一方で、「娯楽が少ないまち」が10.7%から15.4%に増えています。また、プラスのイメージである「緑や花があふれる、自然豊かなまち」が17.9%から21.0%、「のどかで住みやすいまち」が29.9%から33.8%に増えています。プラスのイメージ、マイナスのイメージのそれぞれの合計割合について、プラスのイメージが50.4%から57.9%に増加し、マイナスのイメージは前回と同様37.3%となっており、プラスのイメージを持つ方が増えていることが伺えます。

## 砂川市のイメージ(R7年度調査)

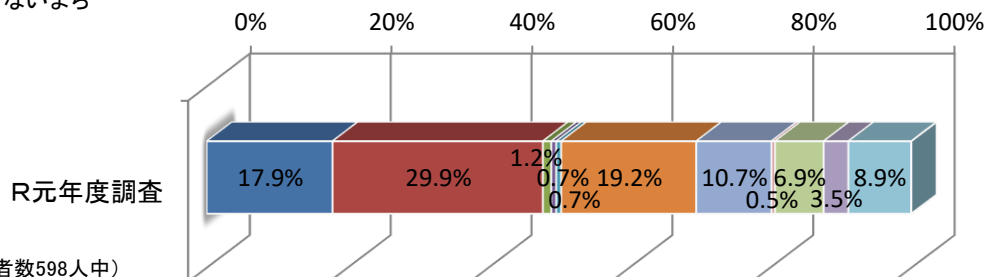
- 緑や花があふれる、自然豊かなまち
- のどかで住みやすいまち
- 環境美化が行き届いたまち
- まち並みが美しく景観の良いまち
- 明るく活気のあるまち
- 新しいことが無く変化のないまち
- 娯楽が少ないまち
- 景観が良くないまち
- 個性や特色のないまち
- その他
- 無回答



(回答者数547人中)

## 砂川市のイメージ(R元年度調査)

- 緑や花があふれる、自然豊かなまち
- のどかで住みやすいまち
- 環境美化が行き届いたまち
- まち並みが美しく景観の良いまち
- 明るく活気のあるまち
- 新しいことが無く変化のないまち
- 娯楽が少ないまち
- 景観が良くないまち
- 個性や特色のないまち
- その他
- 無回答



(回答者数598人中)

### 【「その他」の記述】

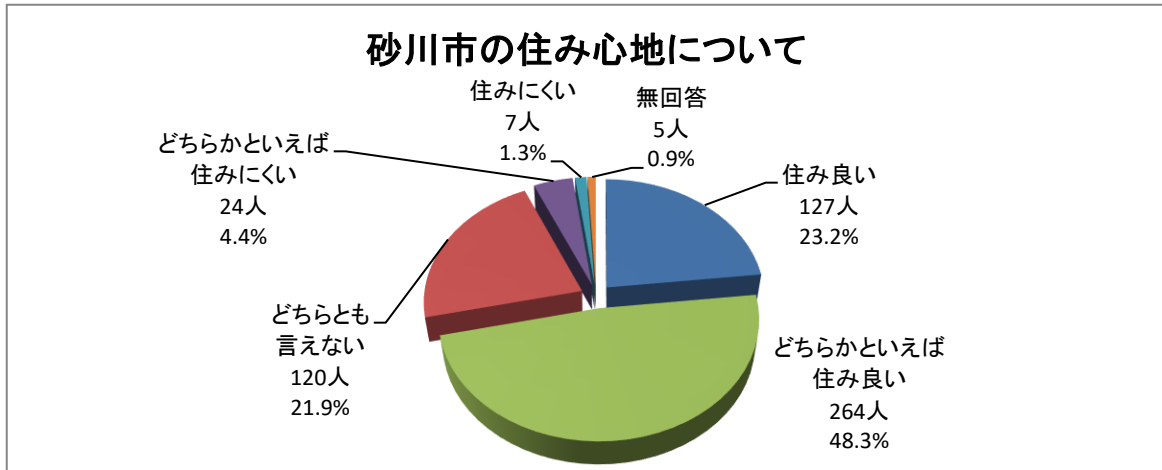
- ・子育て支援に力を入れている
- ・税金の高いまち、身体障害者への福祉の足りないまち
- ・スイートロード、旅行すると砂川のスイーツが優秀なのがある
- ・ショッピングモールなど服を買ったりする場所がない
- ・市民プールなどの施設がない
- ・チェーン店の飲食店がないまち
- ・道を歩いてゴミが目につく、近所の人には都度片付けていると思うが
- ・箱物ばかり作りたがるように見える、年寄に対するサービスが悪い
- ・空き家が多い
- ・暗く活気に欠ける
- ・災害が少ない町
- ・衰退しつつあるまち
- ・砂川市に在中した当時は、もっと活気にあふれていたと思う
- ・救急医療がしっかりしている
- ・どうでもいいことに金を使っている気がする
- ・全体的に店が少なく寂れている
- ・環境整備がされていない、草はボーボー、公共施設（公園等）が朽ちたまま

【問3】砂川市の住み心地はいかがですか。

(1つ選択)

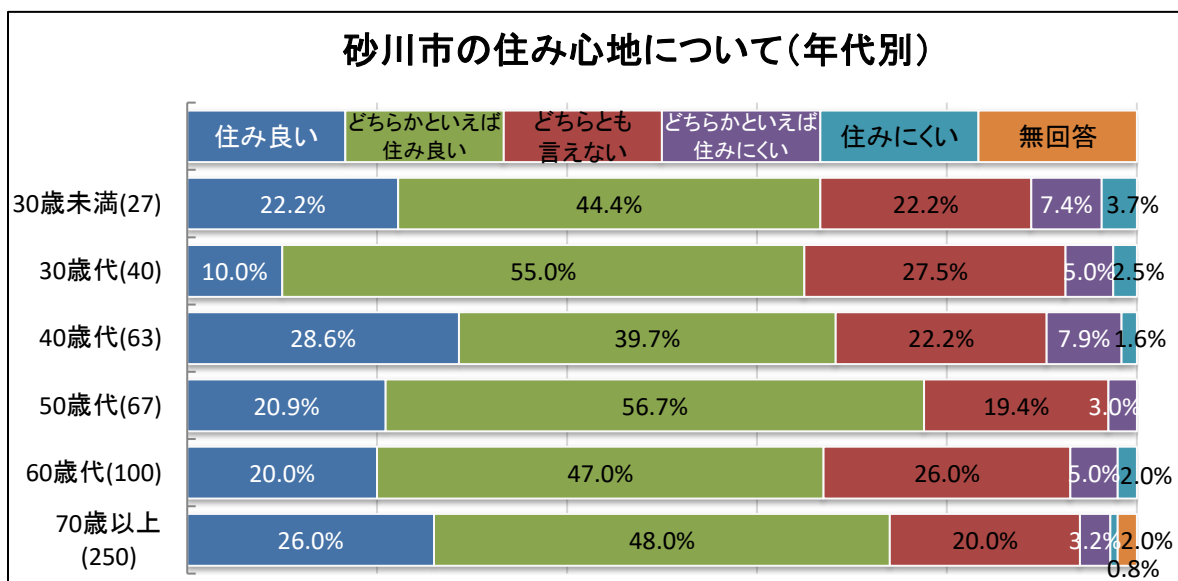
砂川市の住み心地については、「住み良い」「どちらかといえば住み良い」を合わせると71.5%となり7割以上の市民が砂川をおおよそ住み良いと考えています。

前回の調査と比較すると、「住み良い」「どちらかといえば住み良い」とする回答が68.3%から71.5%に増加しており、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」とする回答は前回の6.2%から5.7%と減少しています。



年代別にみると、「住み良い」という回答が一番多いのが40歳代で、3割弱となっています。「どちらかといえば住み良い」を加えると50歳代と70歳以上が、他の世代よりも住み心地が良いと考えています。

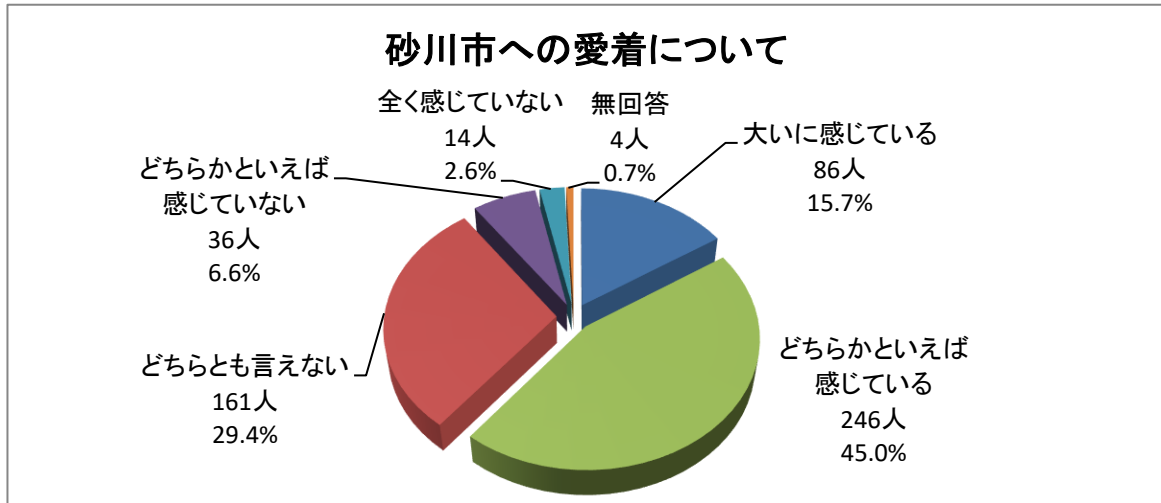
それ以外の年代では、「住み良い」「どちらかといえば住み良い」を合わせると約7割と年齢による差は見られず、また、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」については、30歳代未満が11.1%と他の世代と比べて高く、次点で40歳代が9.5%となっています。



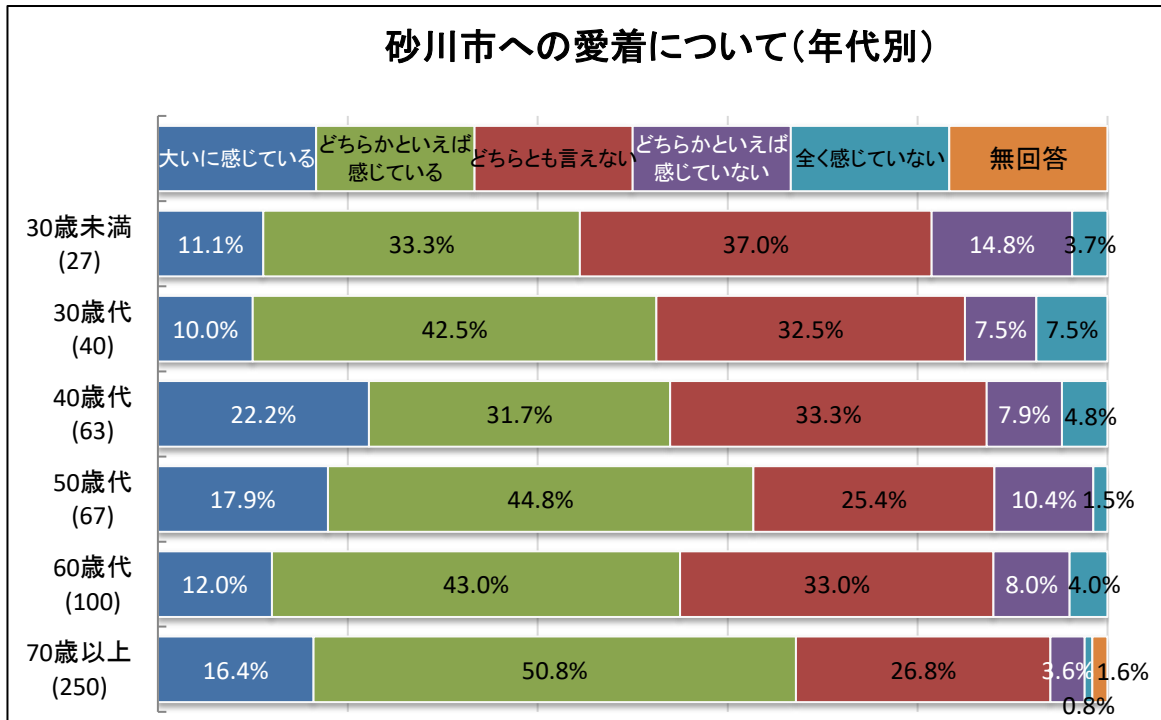
【問４】あなたは、砂川市に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。  
(１つ選択)

「どちらかといえば感じている」が 45.0%と最も高く、「どちらとも言えない」(29.4%)、「大いに感じている」(15.7%)と続きます。

「大いに感じている」と「どちらかといえば感じている」を合わせると 60.7%で、６割を超える市民が砂川市に愛着を感じています。



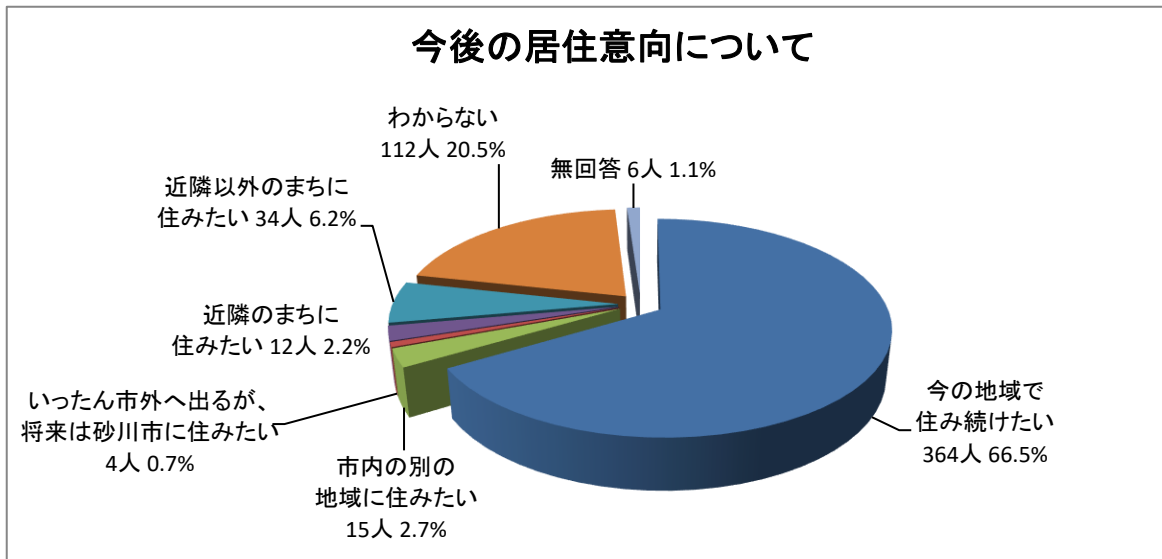
年代別にみると、40 歳代の世代に愛着を「大いに感じている」という方が多くなっています。前回と同様で、「どちらかといえば感じていない」と「全く感じていない」を合わせると、若い世代になるにつれ、割合は高くなっています。



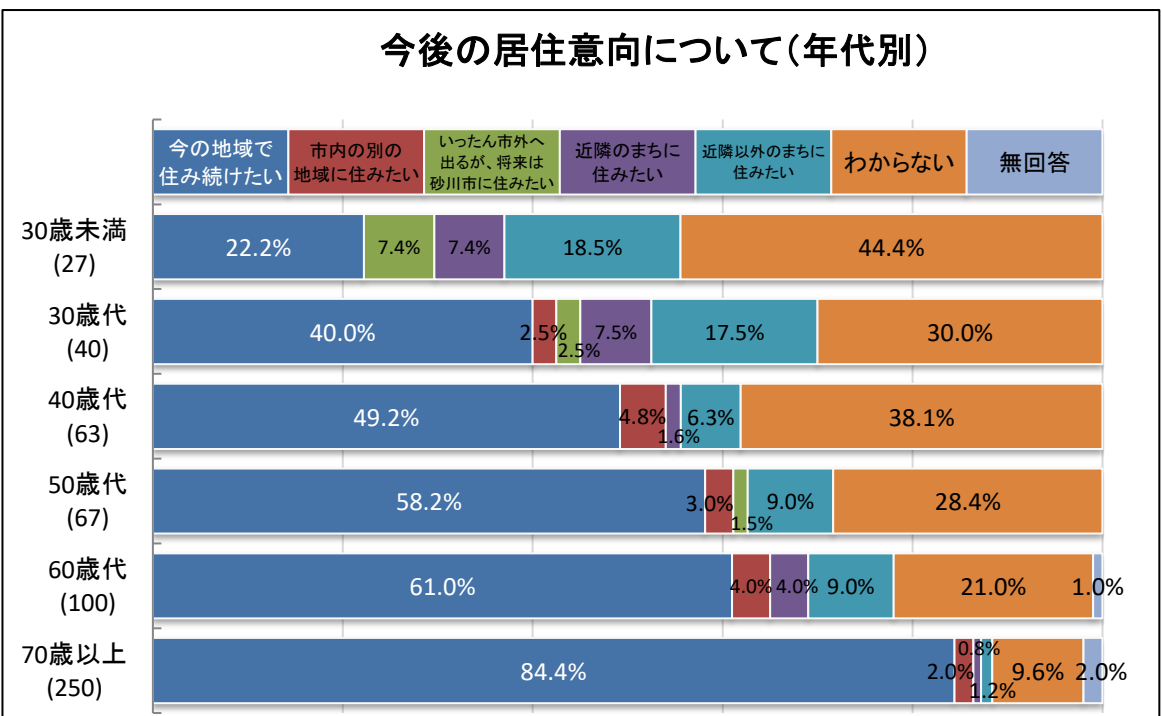
【問５－１】あなたは、今後も現在住んでいる地域に住んでいたいと思いますか。  
(１つ選択)

「今の地域で住み続けたい」が66.5%と最も高く、「近隣以外のまちに住みたい」(6.2%)、「市内の別の地域に住みたい」(2.7%)と続きます。

「今の地域」と「市内の別の地域」を合わせると69.2%で、７割近くの市民が今後も砂川市に住む意向を持っています。前回の調査と比較すると、今後も砂川市に住む意向を持っている市民は66.6%から69.2%に増加しています。



年代別にみると年代が高くなるほど「今の地域で住み続けたい」という回答が高くなっています。一方で「砂川市以外の別のまちに住みたい」という回答は30歳未満で高く、若い世代の砂川への定住志向は、他の年代よりも低くなっています。



| 市内の別の地域（問１（力）住所地） | 件数 |
|-------------------|----|
| 空知太東              | 1  |
| 晴見                | 1  |
| 三砂町               | 3  |
| 東１～６条北１～９丁目       | 1  |
| 西１～８条北１～９丁目       | 3  |
| 西１～７条南１２～２２丁目     | 1  |
| 計                 | 10 |

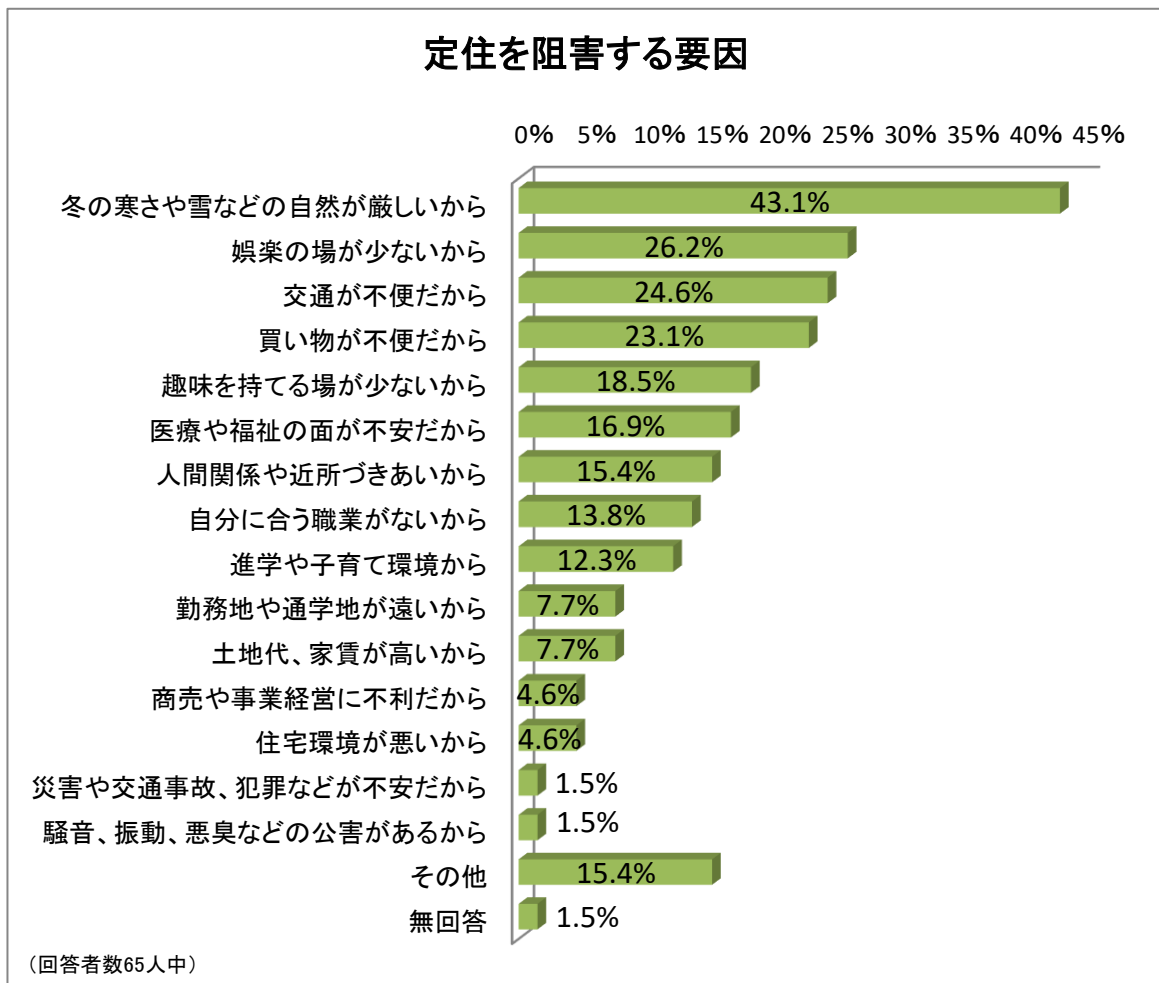
| 近隣のまち（具体的な市町名） | 件数 |
|----------------|----|
| 赤平市            | 1  |
| 歌志内市           | 1  |
| 滝川市            | 4  |
| 深川市            | 1  |
| 新十津川町          | 4  |
| 奈井江町           | 1  |
| 計              | 12 |

| 近隣のまち以外（具体的な市町村名） | 件数 |
|-------------------|----|
| 札幌市               | 14 |
| 旭川市               | 2  |
| 千歳市               | 2  |
| 苫小牧市              | 3  |
| 帯広市               | 1  |
| 北広島市              | 1  |
| 函館市               | 1  |
| 余市町               | 1  |
| 沖縄県               | 2  |
| 福岡県               | 1  |
| 大分県               | 1  |
| 甲府市               | 1  |
| 神奈川県              | 1  |
| 千葉県               | 1  |
| 横浜市               | 1  |
| 東京都など利便性の良い街      | 1  |
| 札幌市やその近隣          | 1  |
| 雪の降らない所           | 1  |
| 子育てのしやすいまち        | 1  |
| 計                 | 37 |

【問５－２】「別の地域やまちに住みたい」や「いったん市外へ出る」を選んだ理由は何ですか。  
 （問５－１で２～５を選んだ方 複数回答・３つまで）

別の地域、または別のまちに住みたい理由としては「冬の寒さや雪などの自然が厳しいから」が43.1%と最も高く、「娯楽の場が少ないから」(26.2%)、「交通が不便だから」(24.6%)、「買い物が不便だから」(23.1%)、「趣味を持てる場が少ないから」(18.5%)、と続き、冬の除雪や娯楽の場、交通などの面で生活に不便さを感じていることがわかります。

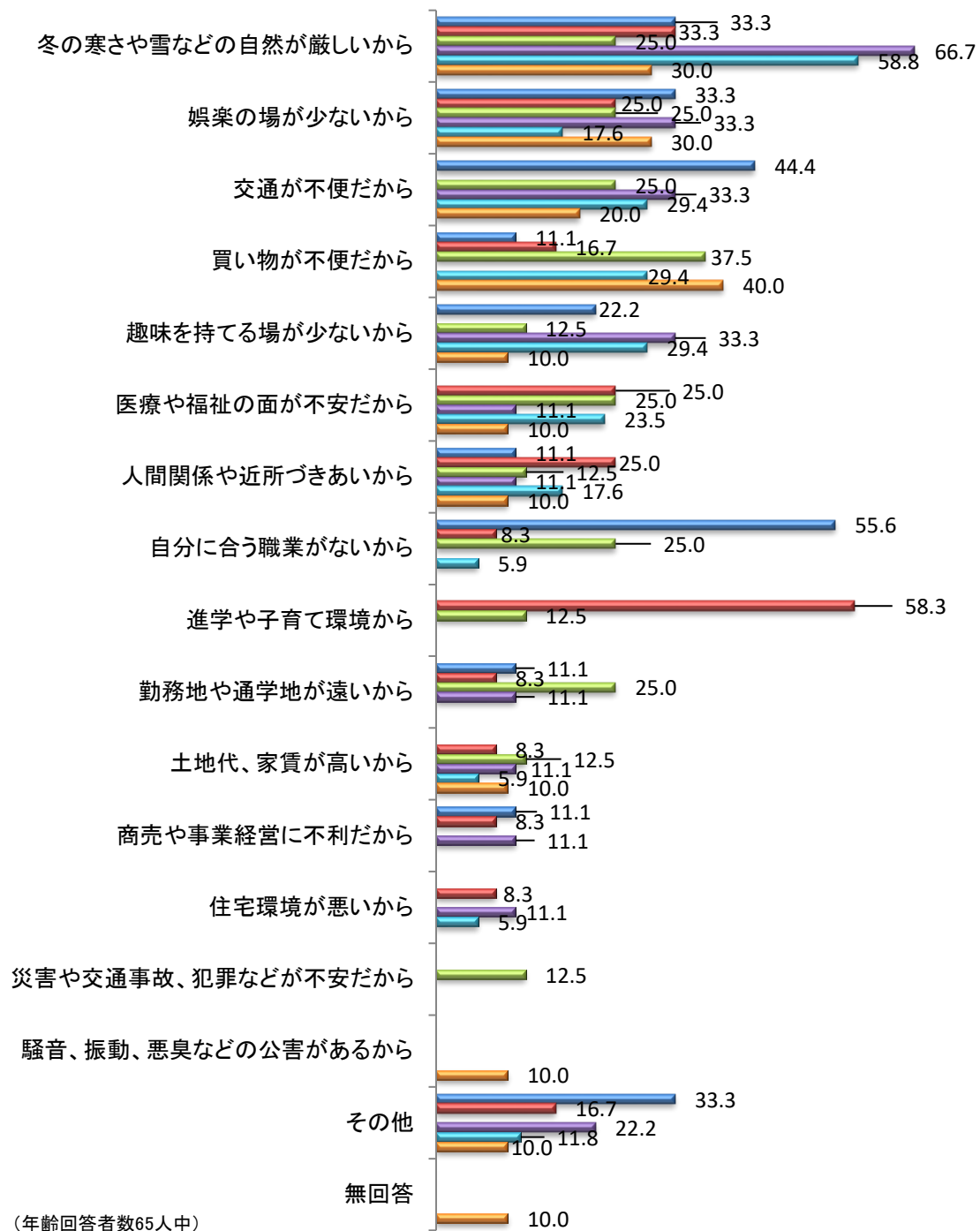
前回の調査と比較すると、この５項目の順位は変わったものの、上位５位に入っていることは変わっておらず、定住を阻害する要因として大きな要素であることが伺えます。



次ページグラフの年代別でみると「冬の寒さや雪などの自然が厳しいから」が他の世代と比べて50歳代と60歳代で突出して多くなっている他、「進学や子育て環境から」が30歳代で特に高くなっています。その他、30歳未満では「自分に合う職業がないから」「交通が不便だから」の回答数が多く、他の世代との差が目立ちます。

## 定住を阻害する要因(年代別)

■ 30歳未満(9) ■ 30歳代(12) ■ 40歳代(8) ■ 50歳代(9) ■ 60歳代(17) ■ 70歳以上(10)



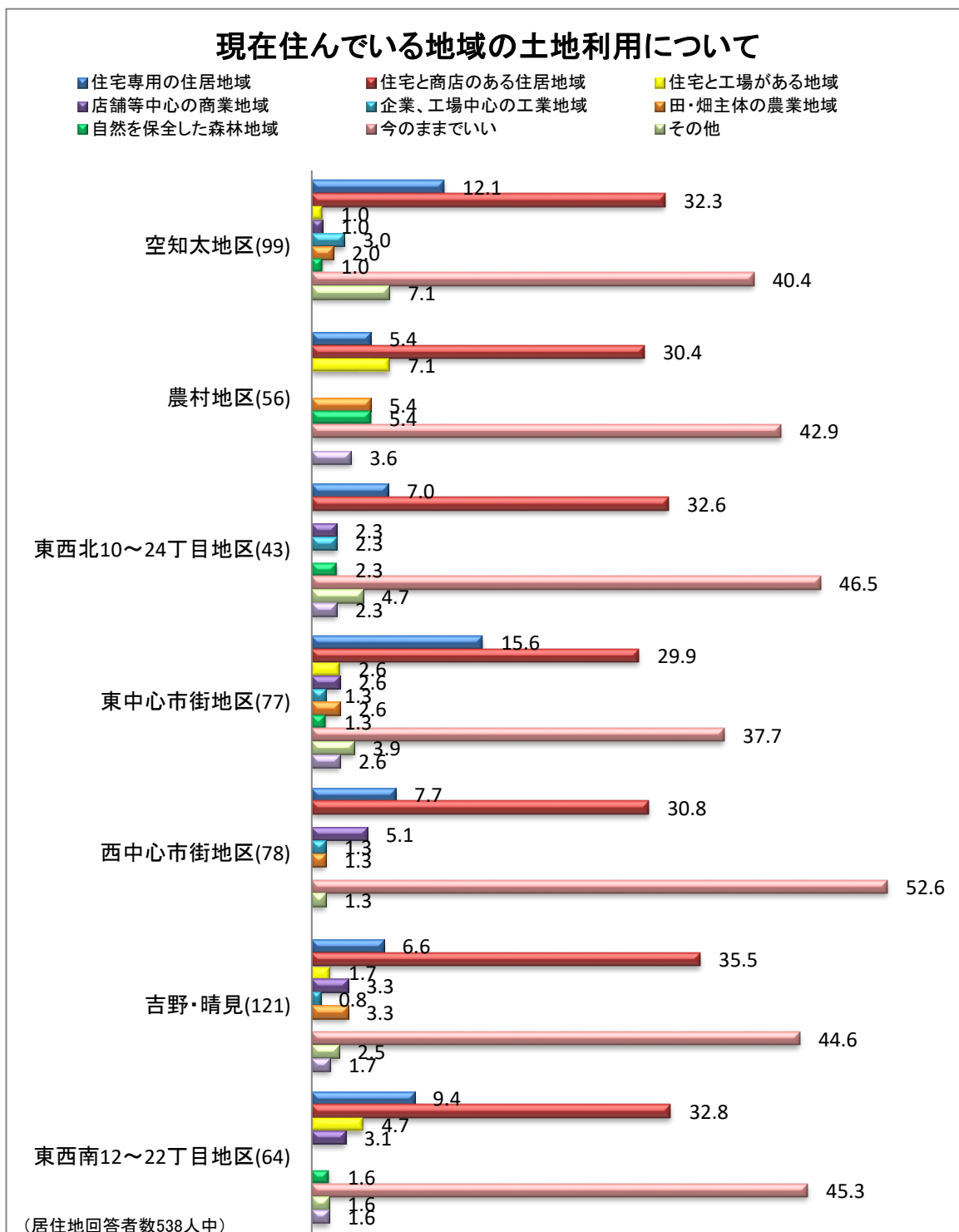
### 【「その他」の記述】

- ・熊の対策 ・身内が多いから ・新十津川が好きだから ・実家に戻る
- ・自分の生活圏がどちらかと言うと都心部に寄っているため
- ・親の居る市町村へ住みたいから ・将来、歳を取るほど不便だと感じるから
- ・文化芸術のレベルが低い、下地が無いため
- ・滝川→買物等滝川の方が近いのでなじみやすい、深川→孫の近く
- ・補助金が少なく、他の地域の方が市民に寄り添ってくれている

【問6】現在お住まいの地域について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。

(1つ選択)

どの地区も「今のままでいい」という回答が多くなっています。それ以外の回答では、前回の調査と同様、どの地域も住宅と商店のある住居地域を望む回答が一番となっており、住宅周辺で買い物もできるような環境整備への志向がより高まっていることが伺えます。



【「その他」の記述】

- ・ 交番をもっと増やして欲しい…吉野・晴見地区
- ・ コンパクトな街にした方がいい…東中心市街地区
- ・ 子育てがしやすい地域…東西 北 10～24 丁目地区
- ・ 近くにスーパーが開業し、6 月よりタクシー初乗り運賃で済むようになったこと。特に食料品購入のため。…空知太地区
- ・ 充実したスポーツ、プールを望む…東中心市街地区
- ・ 家賃が常識の範囲にあるようにしたほうがいい…吉野・晴見地区
- ・ 高齢の為、選挙は棄権する事が多い（歩行困難）…空知太地区
- ・ 自家用車の運転ができなくてもアシを容易に確保できる住居地域にした方がいい…空知太地区
- ・ 団地から国道までの距離がある為、徒歩では大変…空知太地区
- ・ 現在の状態でいいが、雑草等の整備をしてほしい…東中心市街地区
- ・ 環境整備に力を入れてほしい。公園、街中の木々、雑草手入れなど。…西中心市街地区
- ・ 実質的には〈8. の今のままでいい〉なのだが、私の住んでいる所は空き家、空き地が多いので個人的には処理しづらい部分が多くある。特にモーター等の放置状態。それにともないモーター周りの荒れ状態。キツネやアライグマが出て、シカが寄ってき、ましてはクマまでが我が家の 50～100m 範囲にせまってきている。モーターの放置状態だけでも何とかしてほしい。周りの住民に荒地の草刈りとか、枯れ葉の後片付けとか、市民に甘えるのもいい加減にして、しっかりとした行政を行って下さい。…空知太地区
- ・ 近場に医療機関、商店がある高齢者にとって住みやすい地域環境…空知太地区

【問 7】あなたは、第 7 期総合計画で進めてきた砂川市のまちづくりに、どの程度満足していますか。また、今後、取り組むべき重要度についてもお答えください。  
(満足度、重要度それぞれ回答・1 つまで)

満足度が高かった項目は、「消防・救急体制の充実」、「ごみの減量化やりサイクル」、「良質な水道水の安定供給」、「公共下水道の整備」の順で、前回調査と同順位となっており、前回同様生活環境の分野に対して満足度が高いという結果になっています。

また、満足度が低かった項目は、「商店街の活性化と中心市街地のにぎわい」、「空き家・空き地対策」、「公共交通機関(バス・鉄道)の利用のしやすさ」、の順となっており、産業振興と都市基盤の分野で満足度が低いという結果になっています。下位 10 項目については前回とおおむね同項目である一方、前回 11 位だった「子育てにかかる費用負担軽減支援などの充実」が下位 20 項目から外れるなど、満足度が高くなった項目もあります。

令和元年度調査時とポイント数を比較すると、項目によって増減はありますが、特に「公共施設のバリアフリー化」(0.28 ポイント増)、「交通安全対策」(0.25 ポイント増)、「買物の便利さ」(0.25 ポイント増)、「子育てにかかる費用負担軽減支援などの充実」(0.23 ポイント増)についてのポイントが高くなっており、医療・保健・福祉に関する政策分野を中心に満足度が増加する結果となりました。

| 順位 | 満足度上位 20 項目        |      |     |      | 順位 | 満足度下位 20 項目           |      |     |      |
|----|--------------------|------|-----|------|----|-----------------------|------|-----|------|
|    | 項目                 | ポイント | R 元 |      |    | 項目                    | ポイント | R 元 |      |
|    |                    |      | 順位  | ポイント |    |                       |      | 順位  | ポイント |
| 1  | 消防・救急体制の充実         | 3.82 | 1   | 3.83 | 1  | 商店街の活性化と中心市街地のにぎわい    | 2.53 | 1   | 2.34 |
| 2  | ごみの減量化やりサイクル       | 3.81 | 2   | 3.76 | 2  | 空き家・空き地対策             | 2.68 | 3   | 2.65 |
| 3  | 良質な水道水の安定供給        | 3.66 | 3   | 3.67 | 3  | 公共交通機関(バス・鉄道)の利用のしやすさ | 2.69 | 8   | 2.85 |
| 4  | 公共下水道の整備           | 3.63 | 4   | 3.62 | 4  | 雇用の確保・拡大と労働環境の充実      | 2.74 | 2   | 2.63 |
| 5  | 環境汚染などを防ぐ公害対策      | 3.52 | 6   | 3.45 | 5  | 冬道の除雪状況               | 2.83 | 4   | 2.74 |
| 5  | 交通安全対策             | 3.52 | 12  | 3.28 | 6  | 砂川の知名度アップ             | 2.93 | 6   | 2.78 |
| 7  | 健康づくり事業など保健活動の推進   | 3.42 | 9   | 3.33 | 6  | 地元企業の育成と活性化及び新規企業の誘致  | 2.93 | 5   | 2.76 |
| 8  | 河川などの災害を未然に防ぐ環境整備  | 3.41 | 7   | 3.37 | 8  | 外国人に対応した環境整備          | 2.95 | 7   | 2.82 |
| 8  | 地震や風水害などへの防災対策     | 3.41 | 12  | 3.28 | 9  | 近隣市町との連携強化            | 2.96 | 12  | 2.96 |
| 10 | 緑化の取り組みによる美しい景観づくり | 3.40 | 8   | 3.35 | 10 | 観光産業の発展やイベントの充実       | 3.01 | 9   | 2.92 |
| 11 | 図書館などの学習施設の充実      | 3.39 | 10  | 3.30 | 11 | 砂川への移住や定住の促進          | 3.02 | 16  | 3.00 |
| 12 | 医療体制の充実            | 3.37 | 5   | 3.46 | 11 | 婚活支援の推進               | 3.02 | 10  | 2.94 |

|    |                           |      |    |      |    |                     |      |    |      |
|----|---------------------------|------|----|------|----|---------------------|------|----|------|
| 13 | 国民健康保険制度の充実               | 3.34 | 10 | 3.30 | 13 | 効果的で効率的な行政運営        | 3.04 | 17 | 3.01 |
| 14 | 高齢者福祉の充実                  | 3.33 | 25 | 3.15 | 14 | 計画的で健全な財政運営         | 3.07 | 27 | 3.07 |
| 15 | 公共施設のバリアフリー化              | 3.30 | 41 | 3.02 | 14 | 予約型乗合タクシーの運行体制の充実   | 3.07 | 31 | 3.09 |
| 15 | 買物の便利さ                    | 3.30 | 37 | 3.04 | 16 | いじめや不登校の防止や相談機能の充実  | 3.08 | 22 | 3.03 |
| 17 | 犯罪の未然防止対策                 | 3.29 | 18 | 3.21 | 16 | 民間の活力による、まちづくりの推進   | 3.08 | 15 | 2.99 |
| 17 | 後期高齢者医療制度の充実              | 3.29 | 17 | 3.22 | 18 | 高等学校教育の充実           | 3.09 | 17 | 3.01 |
| 17 | 砂川 SA スマートインターチェンジの利便性の向上 | 3.29 | 14 | 3.25 | 19 | 情報通信ネットワーク環境の充実     | 3.10 | 13 | 2.98 |
| 20 | 小中学校教育の充実                 | 3.28 | 21 | 3.19 | 19 | 心身に障がいを持つ児童の就学支援の充実 | 3.10 | 27 | 3.07 |

重要度が高いとされた項目は、「冬道の除雪状況」、「医療体制の充実」、「消防・救急体制の充実」、「買物の便利さ」、「良質な水道水の安定供給」の順となっております。うち「冬道の除雪状況」と「医療体制の充実」は、前回と同順位で、「消防・救急体制の充実」についても2位から3位となりましたが、住民のニーズは引き続き高いことが伺えます。

また、重要度が低いとされた項目は、「外国人に対応した環境整備」、「婚活支援の推進」、「砂川 SA スマートインターチェンジの利便性の向上」、「公営住宅の整備状況」の順となっており、こちらも前回とおおむね同順位となっております。

令和元年度調査時とポイント数を比較すると、「外国人に対応した環境整備」(0.11ポイントの減)、「商店街の活性化と中心市街地のにぎわい」(0.09ポイントの減)等産業振興の分野の重要度のポイントが減少傾向にあり、前設問で満足度が高まっていることから、産業振興の施策について住民の満足につながる効果が表れていると推察されます。一方「公共下水道の整備」、「公園などの整備や利用のしやすさ」が0.14ポイント増加、「公共交通機関(バス・鉄道)の利用のしやすさ」、「予約型乗合タクシーの運行体制の充実」が0.13ポイント増加しており、都市基盤の整備に対する意識の高まりが伺えます。

| 順位 | 重要度上位 20 項目    |        |     |        | 順位 | 重要度下位 20 項目               |        |     |        |
|----|----------------|--------|-----|--------|----|---------------------------|--------|-----|--------|
|    | 項目             | ポ イ ント | R 元 |        |    | 項目                        | ポ イ ント | R 元 |        |
|    |                |        | 順位  | ポ イ ント |    |                           |        | 順位  | ポ イ ント |
| 1  | 冬道の除雪状況        | 4. 52  | 1   | 4. 44  | 1  | 外国人に対応した環境整備              | 3. 25  | 1   | 3. 37  |
| 2  | 医療体制の充実        | 4. 38  | 2   | 4. 31  | 2  | 婚活支援の推進                   | 3. 41  | 2   | 3. 43  |
| 3  | 消防・救急体制の充実     | 4. 29  | 2   | 4. 31  | 3  | 砂川 SA スマートインターチェンジの利便性の向上 | 3. 46  | 2   | 3. 43  |
| 3  | 買物の便利さ         | 4. 29  | 8   | 4. 18  | 4  | 公営住宅の整備状況                 | 3. 57  | 4   | 3. 55  |
| 5  | 良質な水道水の安定供給    | 4. 27  | 7   | 4. 19  | 5  | 地域コミュニティ活動に必要な環境整備        | 3. 60  | 9   | 3. 60  |
| 6  | 地震や風水害などへの防災対策 | 4. 25  | 4   | 4. 30  | 6  | 芸術や文化に親しむ施設や機会の充実         | 3. 61  | 5   | 3. 58  |

|    |                       |       |    |       |    |                       |       |    |       |
|----|-----------------------|-------|----|-------|----|-----------------------|-------|----|-------|
| 7  | 高齢者福祉の充実              | 4. 21 | 5  | 4. 26 | 7  | 市民参加による、まちづくりの推進      | 3. 62 | 10 | 3. 64 |
| 8  | 公共下水道の整備              | 4. 19 | 20 | 4. 04 | 7  | スポーツ活動への支援            | 3. 62 | 5  | 3. 58 |
| 9  | 生活道路の整備状況             | 4. 17 | 10 | 4. 11 | 9  | 情報通信ネットワーク環境の充実       | 3. 64 | 5  | 3. 58 |
| 10 | 交通安全対策                | 4. 15 | 6  | 4. 22 | 10 | 生涯学習の充実               | 3. 65 | 10 | 3. 64 |
| 11 | 犯罪の未然防止対策             | 4. 14 | 13 | 4. 10 | 11 | スポーツ・レクリエーション施設の充実    | 3. 67 | 13 | 3. 67 |
| 12 | いじめや不登校の防止や相談機能の充実    | 4. 13 | 15 | 4. 09 | 12 | 緑化の取り組みによる美しい景観づくり    | 3. 70 | 8  | 3. 59 |
| 13 | 後期高齢者医療制度の充実          | 4. 10 | 9  | 4. 13 | 13 | 図書館などの学習施設の充実         | 3. 74 | 17 | 3. 72 |
| 14 | 国民健康保険制度の充実           | 4. 09 | 18 | 4. 05 | 14 | 情報通信技術の推進による行政サービスの充実 | 3. 75 | 14 | 3. 68 |
| 14 | 介護保険制度の充実             | 4. 09 | 13 | 4. 10 | 15 | 農林業における生産力・ブランド力の向上   | 3. 76 | 20 | 3. 74 |
| 14 | 小中学校教育の充実             | 4. 09 | 22 | 4. 02 | 15 | 民間の活力による、まちづくりの推進     | 3. 76 | 18 | 3. 73 |
| 17 | 雇用の確保・拡大と労働環境の充実      | 4. 07 | 10 | 4. 11 | 15 | 観光産業の発展やイベントの充実       | 3. 76 | 18 | 3. 73 |
| 18 | 公共交通機関（バス・鉄道）の利用のしやすさ | 4. 06 | 30 | 3. 93 | 18 | 消費者を保護するための相談体制の充実    | 3. 77 | 16 | 3. 71 |
| 19 | 河川などの災害を未然に防ぐ環境整備     | 4. 05 | 20 | 4. 04 | 18 | 公園などの整備や利用のしやすさ       | 3. 77 | 10 | 3. 64 |
| 20 | 心身に障がいを持つ児童の就学支援の充実   | 4. 04 | 23 | 4. 01 | 20 | 健康づくり事業など保健活動の推進      | 3. 78 | 23 | 3. 83 |

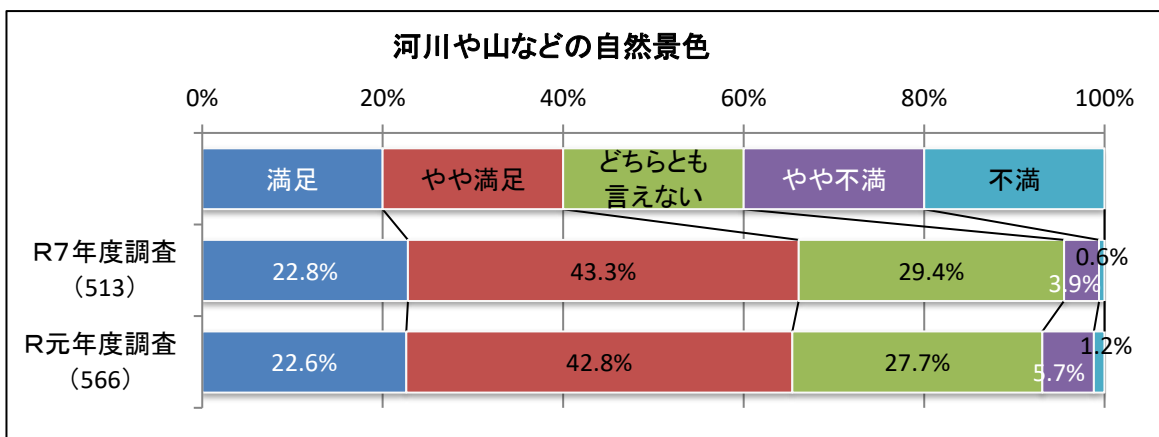
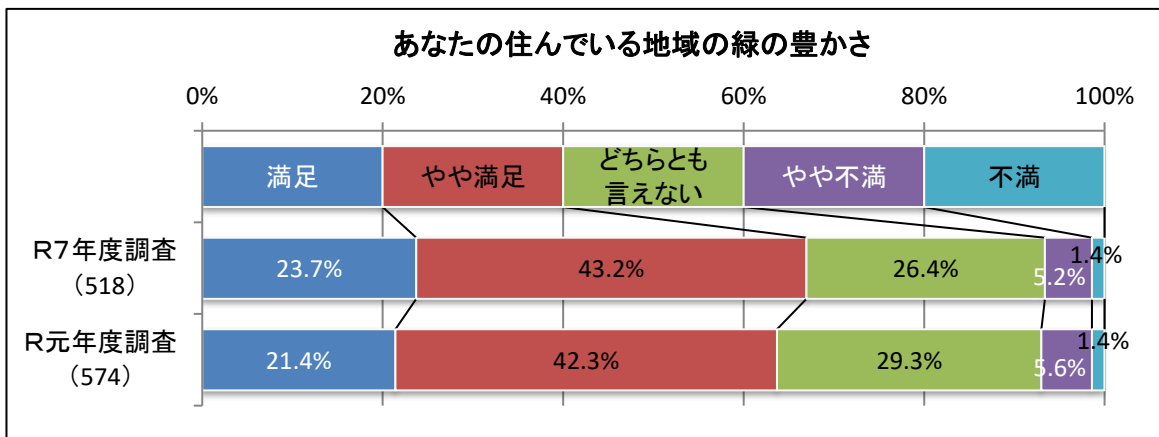
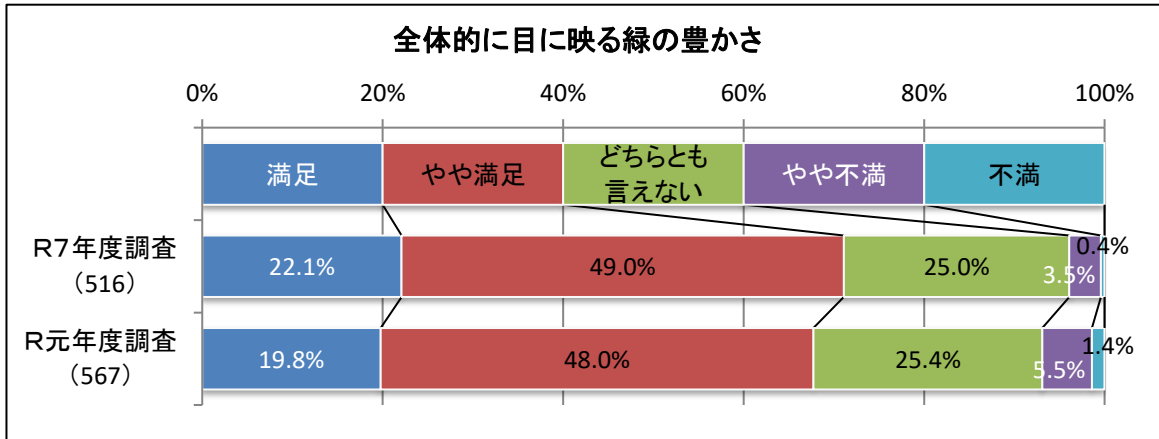
さらに、この満足度と重要度のポイントを散布図に表すと次表のようになります。

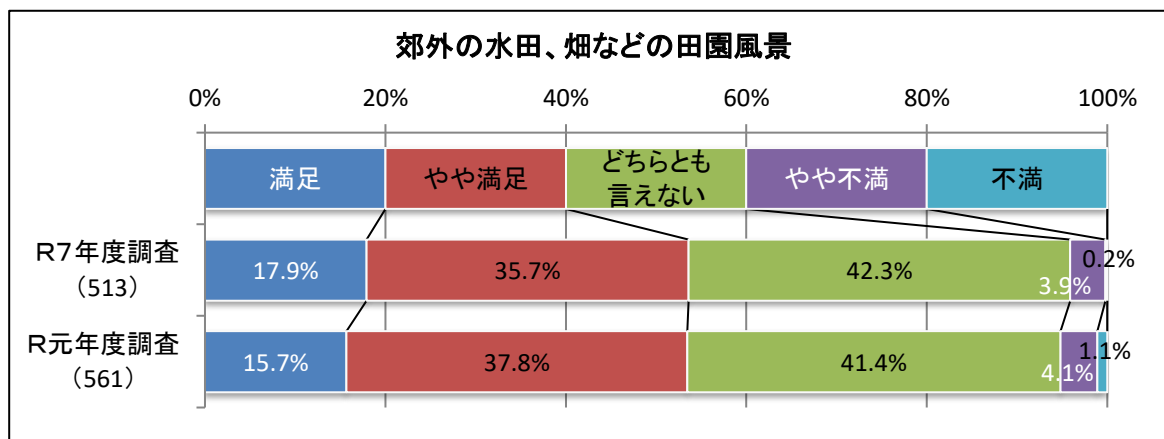
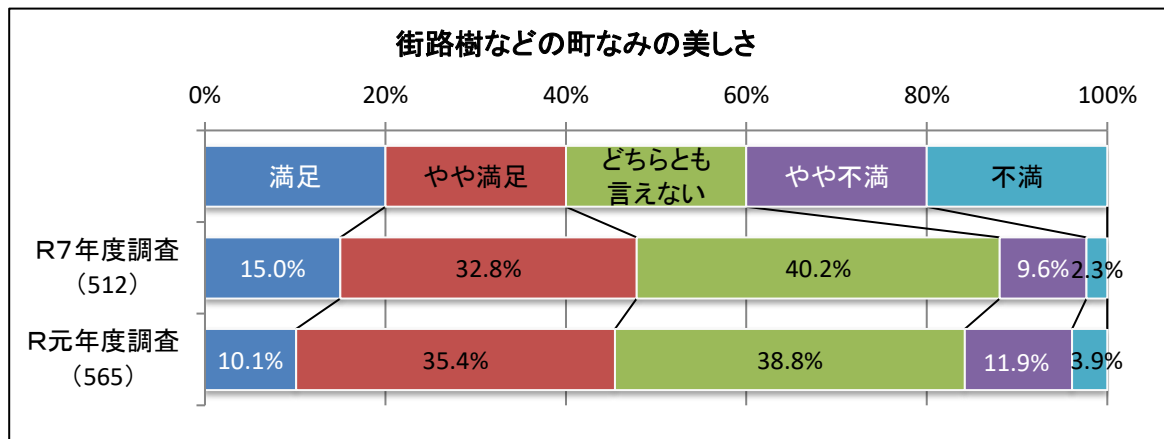
拡大図の左上のエリアは、「重要度が高い」にもかかわらず「満足度が低い」ということから市民ニーズが高く、今後の課題ともなるべき項目だといえますが、ここには前回と同様「産業振興」の分野の項目と、「都市基盤」の項目が入っており、特に「冬道の除雪状況」へのニーズは依然として高いことが伺えます。

右上のエリアは「重要度が高く」、「満足度が高い」というエリアであります。ここには前回と同様に「医療体制の充実」や「消防・救急体制の充実」が入ったほか、「高齢者福祉・医療保険」の分野が入り、その分野の満足度が引き続き高くなっていることがここからも伺えます。一方、右下のエリアは、比較的「重要度が低く」、「満足度が高い」というエリアで、ここに入ると現状で比較的満足されている施策であるといえますが、「生活環境」及び「教育」の分野の項目が多く入り、入っている項目数も前回の 23 から今回 33 と大幅な増がみられました。

【問 8】あなたは、砂川市全体の緑が広がる景観について、どの程度満足していますか。  
(1つ選択)

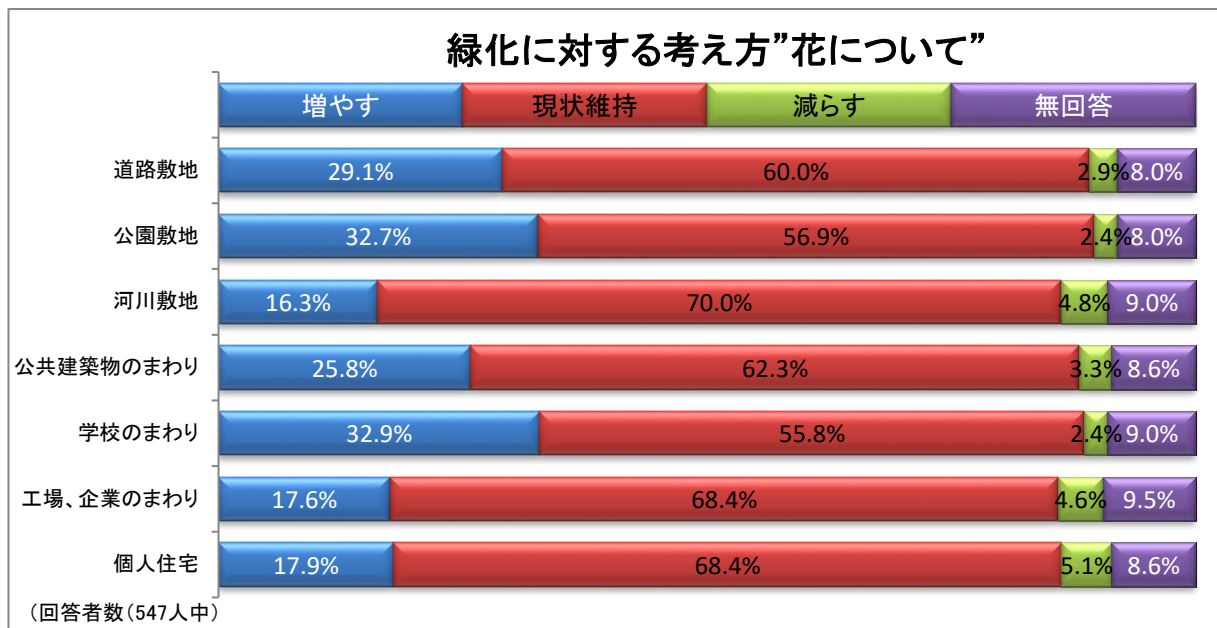
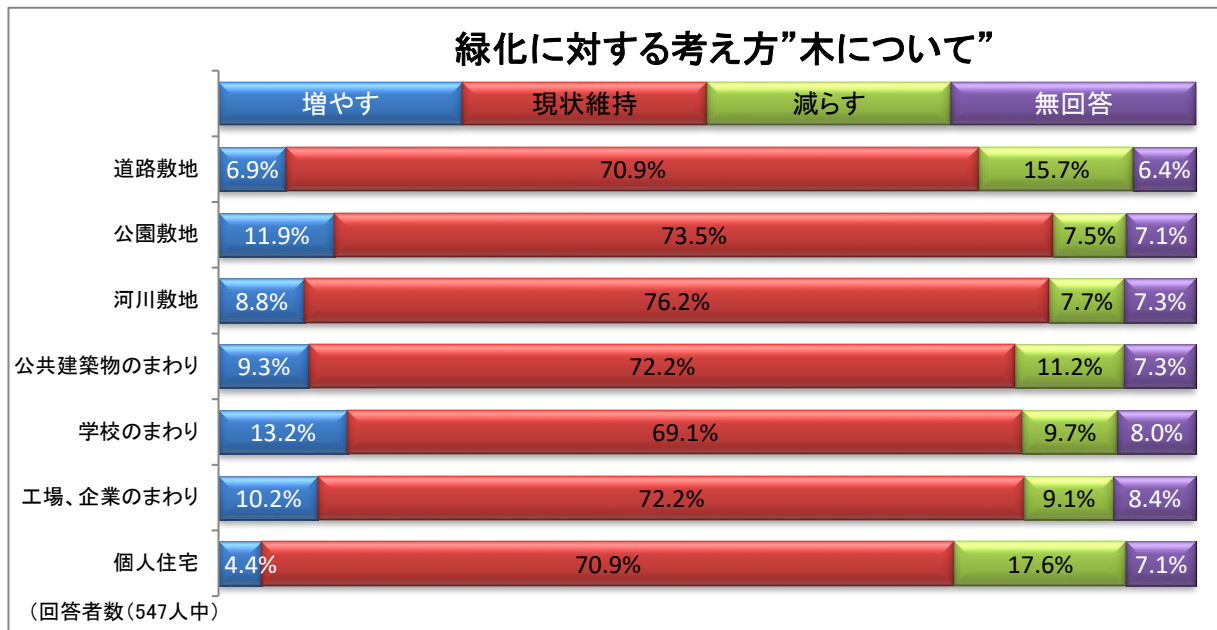
緑についての満足度については、前回の調査と比較をすると、5つの調査のいずれの項目も「やや不満」「不満」の合計が減少しており、「満足」「やや満足」の回答が増えています。





【問 9】砂川市は、緑あふれる公園都市をめざし、木々を植えて緑化を推進してきました。樹木は、CO2 の削減、防災や景観、動植物の生存など多くの効果をもたらします。その一方で、落ち葉の処理、害虫やカラスの巣、自然災害による倒木などの問題点もあります。あなたの目から見た緑化に対する考え方であてはまるものを選んでください。（1つ選択）

前回の調査と同様、全般的に市内の各場所の緑は「現状維持」という回答が多く見られ、すべての場所で、“木”、“花”ともに「現状維持」が最も多くなっています。また、すべての場所で「木を増やす」よりも「花を増やす」という回答が上回っています。



【その他、緑化に対してのご意見の記述】

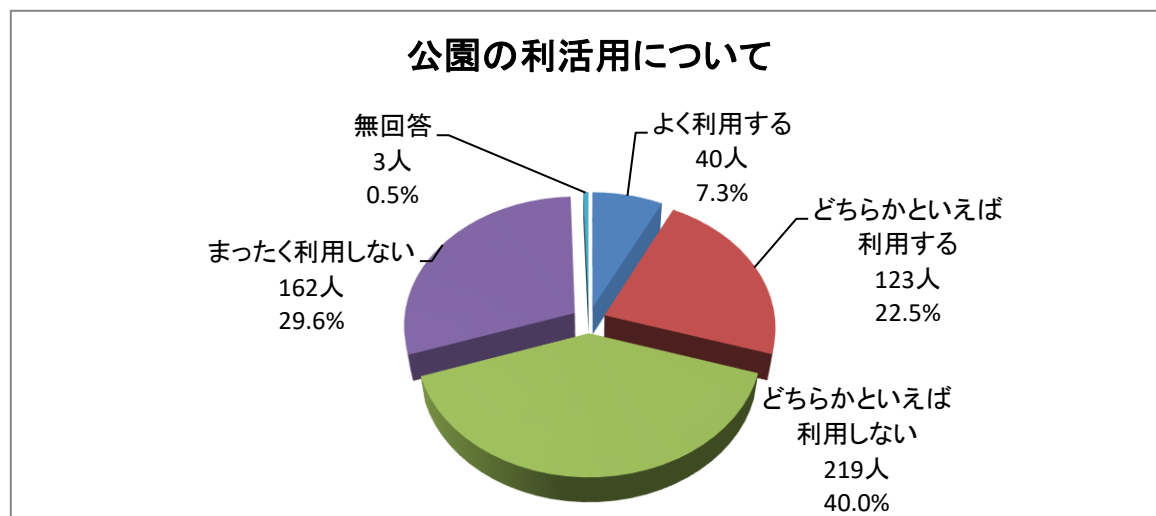
- ・河川敷や郊外に緑が多いだけで、中心部の公園や緑地は少ないと思う。整備が十分でなく利用しにくい公園も多い。
- ・河川の雑草が多い。熊、鹿、狐の通り道になる。堤防など整備されているとは思えない。整備しないと危険なだけである。
- ・道路の脇の木や花は必要ないのではないのか。そこにお金と労力をかける必要はあるのか。
- ・街路樹が大きくなりすぎ交通の視界、電線、除排雪の邪魔になっている。落ち葉、毛虫、カラスの巣も問題。
- ・遊水地に小学校卒業記念植樹がなされてきているが管理しているのか良く解りませんがお金を掛けて植樹した「桜」が雪害で苗木の状態で枯れている。順調に育てていれば綺麗な桜の並木が出来ていたと思うと残念。(生きたお金の使い方がなされていないのでは)
- ・公園は多いが整備されていない場所も多い。公園という名だけで子どもが遊べたり、人が出入りできる場所ではない。全部整備できないなら場所を減らし、整備してきちんと使える場所を増やした方が良い。
- ・近所も高齢の方々ばかりだし、木々はただ葉や落枝が邪魔である。虫も増えるし、カラスも目立つ。住宅の周りには、正直あってほしくない。
- ・海賊公園、あんな広いのに何か勿体ない気がする。何が足りないかと言われるとわかりませんが。
- ・家の前に木が植えてあるが、春、夏は毛虫、秋は落ち葉がすごくて、冬は除雪の妨げになるので正直、伐採してほしい
- ・落ち葉に困らない場所で樹木を増やすのが良いと思う。街路樹は街並みは美しいが視界を妨げる場合があるので個人的には好まない。花については見る側としては好ましいが、商店街など管理する側になると負担になるので、公園や公共建築物の周りなどが望ましいと思う。
- ・花がワンパターンで目に止まらない。もっと、今どきのオシャレな花や草を植えてほしい。植えたらしっかり最後まで管理して草取りなどしてほしい。
- ・維持費がかかる上にメンテナンスが行き届かないと迷惑になるケースもあり、費用対効果は悪いように感じる
- ・木は災害防止の観点で役に立ちそうなら必要と考えている。花は見るだけで潤うのであると嬉しいが、そのために経費が必要かと言われれば疑問視してしまう。
- ・今のままで良い
- ・国道沿いは枯れた木が多くて見栄えが悪く、車からの見通しも悪くなるので無い方が良い
- ・河川敷周辺の草刈りを、もう少しまめに行った方が、熊対策にもなって良いと思う。熊の隠れ場所を作らないように。
- ・市道国道の縁石の雑草除去強化
- ・学校まわりや街路樹など木が生い茂りすぎている。きちんと手入れしないから伸びっぱなしで、きれいではない。鳥の巣や蜂の巣などを訴えても対処してくれない。対処、管理しないなら植えなければいい。
- ・街路樹による見通しの悪さが(交通安全対策)気になる
- ・オアシスパーク沿いのお花キレイだと思う
- ・公園に熊や鹿が出る。安心して生活できる様に河川の整備をして欲しい。
- ・現状維持で剪定等の充実を願いたい
- ・樹木を植えるばかりではなく、毎年の手入れ、剪定が大事。その予算も必要。熊出没を防ぐにも、河川等の樹木を刈って、見通しをよくする。
- ・道路敷地の木が運転時の視界のさえぎりなどあり、高さを考えるべきだと思う。木を増やすなら、害虫・カラスの巣に対して、もっときちんと対応処理すべき。

- ・砂川駅から見える景色に緑がない。美しくもない。
- ・歩道に植えている木の剪定で、もっと短く切って欲しい。落ち葉のためのゴミ袋を配布して欲しい。
- ・雑草はなくしてほしい
- ・公園内の雑草伸び放題 6/20 現在。保育園児など団体や子供達の利用度が高いので、決められた日程で刈り取るのではなく、状況を見ての管理が必要と考える。
- ・きちんと草刈りをして整備されているならいいけど、のび放題になって、けっこうな高さになってたり、道路にはみだしているところがあるのがよくないと思う
- ・夏は「木」があると日陰が出来てありがたいが、虫などが多く出て困るので、「木」は減らす
- ・オアシスの水があふれてゴミが角に集まっていて、歩いて見てとても汚れていると何時も感じている（毎日歩いている）
- ・街路樹について、広葉樹を使いすぎ？手間のかからない針葉樹のみではダメなものか
- ・CO2 は植物に必要であり、削減は自然破壊につながる行為。電線の真下に木を植えるが、成長すると電線の邪魔になるのに何故植えるのか。
- ・町内会や個人に頼ることが多く、もっと一般市民の方々にも御協力してもらうようにアピールしてほしい。
- ・市民が緑化を楽しんでいる感がない。こどもの国とかは活用しているが、他の施設は数があるだけで利用されていない。別な利用方法はないのだろうか？市民が使える畑にするとか。
- ・森は多いと思う。手入れすること、花の準備など人手も必要なことなので、美しく維持するために増やさなくてもいいと思う。
- ・花や緑あふれる街並みは理想だが、管理、お世話、後始末が出来ないと逆に汚い。町内の草刈も出て来る人が少なく、管理、美化が大変。
- ・カラス対策
- ・街路樹の落ち葉掃除が大変。整備に来るお金がかかるのでは。電線にかかって危ない。ない方が見通しが良くなる。
- ・木は大きくなり過ぎて、場所によっては美観が失われるので植える場所を考える必要が。また、交通の見えづら原因にも。
- ・道路敷地内の木が切られているのが目につく
- ・道路の木で信号が見えづらい
- ・川の中の木を何とかしてほしい
- ・道路わきにある、古木の大木は切った方が良く
- ・植えても管理の予算がないため、これ以上必要ない
- ・緑化には落ち葉、枝などがつきものなので、コンポスト導入の支援などがあると嬉しい
- ・地域住民との話し合いによる樹木の選定
- ・秋になり、落葉等の処理について市民に負担をかけている
- ・街路樹を何とかしてほしい。特に銀杏の樹木（枯葉の処理が大変。除雪の道が狭い。小中高等の通学路である。）
- ・上の設問中の「その一方で」以下の問題点の方が効果よりも気になります。これらがクリアできるなら緑は多い方が良くないので。木が繁り過ぎて道路標識が見にくい等、危険なことはない方が良く。滝川市のイチヨウ並木道路はとてもキレイですが、管理も大変なのは。見るだけなら良いのだが。
- ・団地のまわりの草刈ををしてほしい
- ・緑あふれるのは良いけど、もう少し手を入れてくれないと、春から夏にかけての害虫駆除、倒木、小枝の片付けをしてくれないと、歩道なのに歩けない。意味なし。

- ・会社の近くに草木が多すぎて虫が大量発生している。白樺のアレルギーも。どなたかの土地だ  
と思うが整備するよう対策してほしい。
- ・自分の家の近くにも緑があり、季節感を感じている。お花は町内会で植えている。
- ・12号線の花いっぱい運動でマリーゴールドを植えてるが、人が少なくなっているし、高齢化に  
よって負担になっている。
- ・巨大化した木を切してほしい（河川付近など） ・河川敷の整備をもう少し
- ・除雪や排雪の障害になる木は除去した方がよい。カラスが集まる木も除去。
- ・花は西1南10~13増えている ・きれいに整理されてると思う
- ・後始末が大変である。木の葉の始末や花柄の始末など、高齢になると大変な作業になるので少  
し減らした方がよい。
- ・今のままで良い ・住宅街に木がたくさんあると落ち葉処理が大変
- ・公園を整備してほしい ・花粉症対策の為、白樺等は伐採すべきと思う
- ・枯葉、落葉などのそうじ、個人でするのにも限度がある
- ・道路や公園の樹木も花も維持管理費が必要（メインストリートやポイントを考えて）
- ・空き家も多いため、ただただ生い茂っている草木などは緑の豊かさとは思えない
- ・近隣市町村から見ても、砂川市は緑が豊かなきれいな街並みだと思う
- ・市内12号国道の縁に植えてあるオンコの木が暗いイメージあり、違った種類の木を植えて欲し  
い
- ・季節の花の名所などあれば楽しみも増えそう
- ・街路樹の維持について町内会だけの要望でなく、市のビジョンに基づく指針を示し、公開を望  
む。ビル風を軽減する意味もあると思う
- ・緑化を進めているようには見えない ・墓地の倒木や伸びた枝がひどい状況
- ・害虫対策をお願いしたい
- ・交差点や信号など見にくくしている街路樹は邪魔と考える。なくしてほしい。そのかわり、歩  
道脇にある花畑などは歓迎。
- ・地域にある植樹ますの管理について、過去に補助をもらって花を植えて管理していたが、高齢  
化により、歯抜けになり、現在は芝桜を個人で植えて管理しているが、路線毎に各町内会で統一  
した花を植えるように指導してはどうか。
- ・基本的には今のままで良い。街路樹は要らないと思う。
- ・町内においては、使用されていない花壇が見られる。雑草花壇化しているところもあり、整地  
に戻すなどの検討はどうか。
- ・住宅付近の木の伐採について、今一度見直してほしい。街灯や標識が見えず、街灯の明りのさ  
またげになっている。
- ・団地内の草刈について、高齢者が多いため、市に対応を希望する
- ・現在、道路敷地や公園の草刈り手入れ等が十分ではないのに、増やすことよりも手入れ、整備  
する事に重点を置いた方がよいと思う。公共施設等、草ボーボーなのはみっともない。  
アメニティの町と言ってから、数十年たって街路樹の並木路もきれいになっている所と歯かけ状  
態になっている地域もあるので見苦しい場所もある。改良してほしい。
- ・緑化を推進しているのは知らなかった。それならば木々の整備（植栽・下刈り・間伐）などや  
雑草に対して、もう少し力を入れてほしい。住民としてはただ、植えているだけだと思っていた。
- ・いつも整備されていて気持ち良い。

【問 10－1】身近な公園（街区公園）は、レジャーの場、憩いの場、災害時の指定緊急避難場所など色々な役割を果たしています。また、子どもの国や日の出公園（総合体育館周辺）、北光公園、オアシスパークなどの大きな公園は利用目的に合わせた整備を行っています。あなたは、公園をどれくらい利用していますか。（1つ選択）

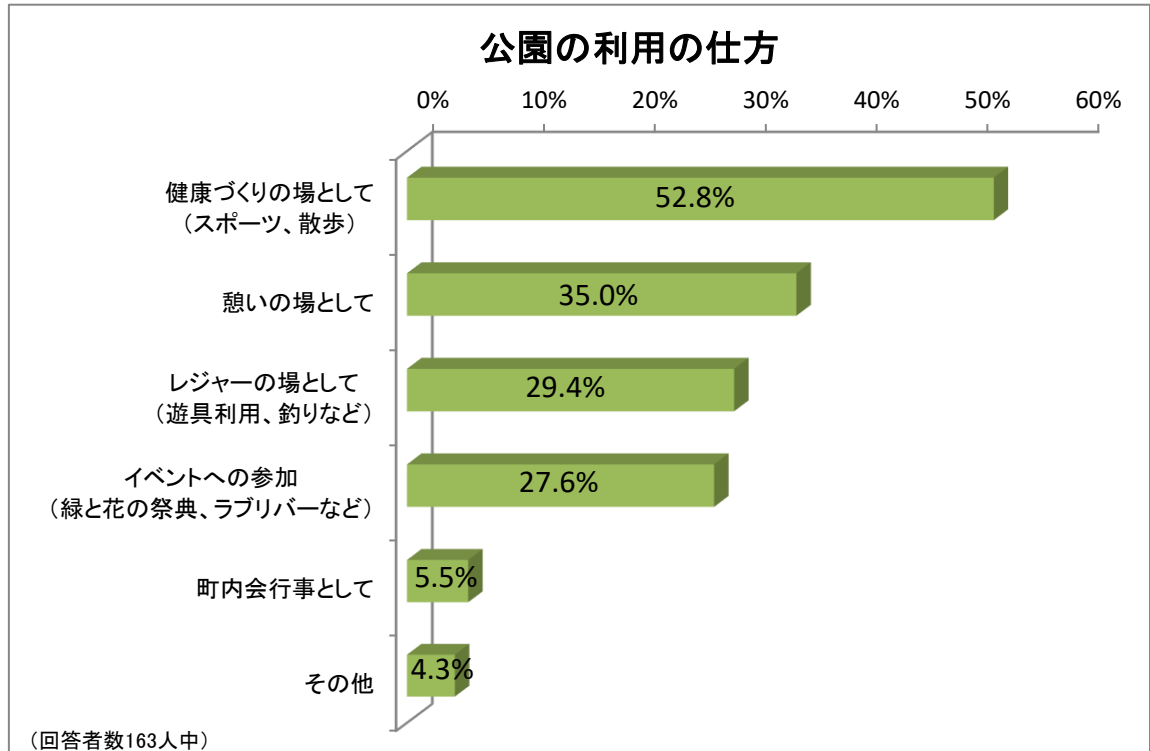
「まったく利用しない」「どちらかといえば利用しない」の合計（69.6%）が「公園をよく利用する」「どちらかといえば利用する」の合計（29.8%）の2倍以上となっています。前回の調査と比較すると、「まったく利用しない」「どちらかといえば利用しない」の合計が 67.1%から 69.6%へ増加している一方、「公園をよく利用する」「どちらかといえば利用する」の合計が 30.8%から 29.8%へ減少しており、利用しない人が増えている傾向が伺えます。



【問 10－2】公園をよく利用する方に、利用内容についてお伺いします。

(問 10－1 で 1 か 2 を選んだ方 複数選択)

利用の仕方としては「健康づくりの場として（スポーツ、散歩）」が 52.8%と最も高く、「憩いの場として」（35.0%）、「レジャーの場として（遊具利用、釣りなど）」（29.4%）、「イベントへの参加（緑と花の祭典、ラブリバーなど）」（27.6%）と続きます。



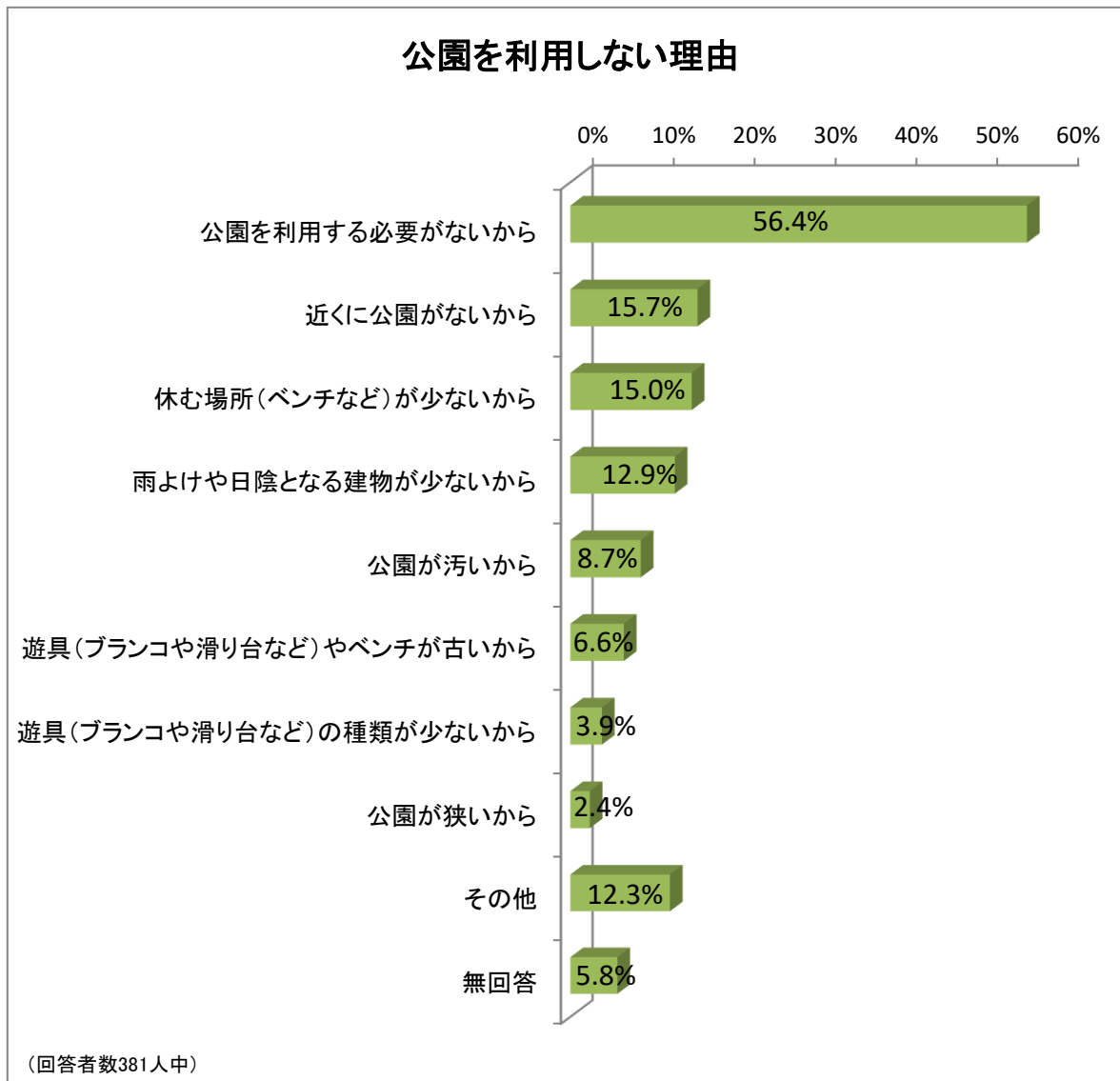
【その他】の記述

- ・ 仕事として
- ・ 散歩の通り道としてオアシスパークは商業的な価値あり
- ・ 子ども孫たちとのバーベキュー
- ・ 仕事の撮影地
- ・ 子供が遊ぶために
- ・ オアシスパークを会場として実施している「親子釣り体験」事業にボランティアとして参加している

【問 10－3】公園をあまり利用しない方に、利用されない理由についてお伺いします。

(問 10－1 で 3 か 4 を選んだ方 複数選択)

公園を利用しない理由については「公園を利用する必要がないから」が 56.4%と最も高く、「近くに公園がないから」(15.7%)、「休む場所(ベンチなど)が少ないから」(15.0%)と続きます。前回の調査と比較すると、「公園を利用する必要がない」が 63.6%から 56.4%に減少しており、「その他」「無回答」を除く、「近くに公園がないから」「休む場所(ベンチなど)が少ないから」「雨よけや日陰となる建物が少ないから」「遊具(ブランコや滑り台など)やベンチが古いから」の項目の割合が増加しています。



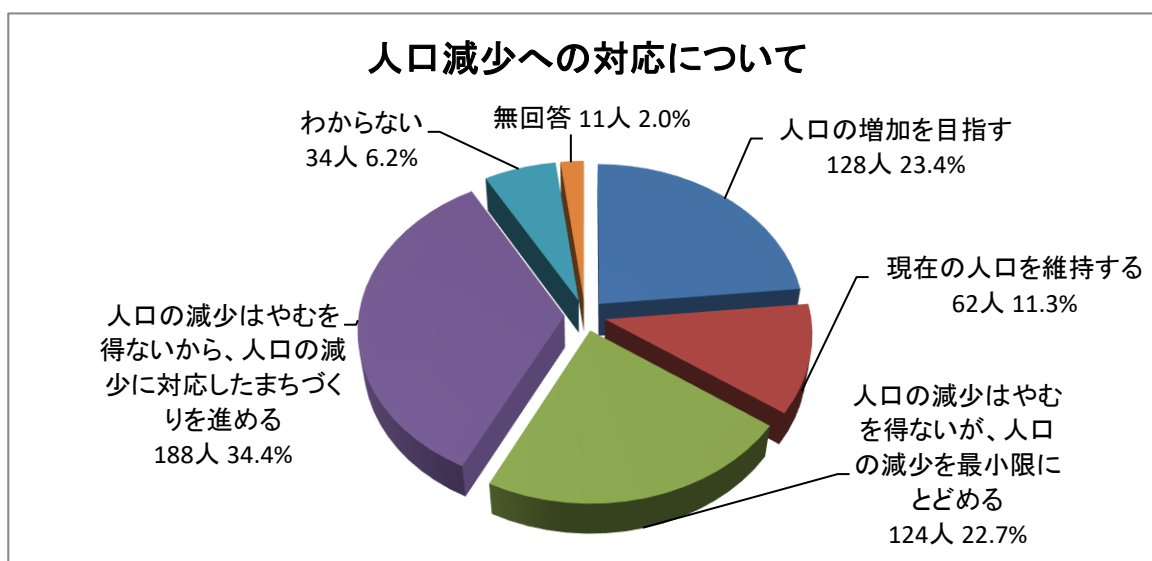
【その他】の記述

- ・外に出ることがないため
- ・イベント時期しか人はさほど居ない気がする
- ・クマが出そうで怖い(子供の国) その他の公園は遠いので利用していない
- ・まだこどもが小さいので、遊べるようになるまではなかなか利用する機会がない
- ・家の庭で満足しているから

- ・まだ行ったことがないだけ。いずれ利用したいとは思っている。
- ・基本的にそういった場所に出かけないのでいく用もないから
- ・老齢のため
- ・熊や鹿が出るから
- ・整備されていないのと、防犯上危険なため
- ・草ボーボーでゴミだらけ
- ・花壇整備（美化活動はしている）
- ・うちの近くの公園は、下が砂じゃなく草はえているから嫌だ。そしてあまり整備されているようには思わない。砂川は草が生えている公園が多い。砂の公園の方が遊びやすい。
- ・草がのびていて、夕方散歩するには心配なため
- ・草と木が多く（多すぎる）、虫が発生しやすいから
- ・ひとりでブラッと散歩（自分のペースで）中、知人に会い、うわさ話とか聞かされたり、自分の生活を聞かれたり、不審者、徘徊、と見られたことがある。自分も反省しなければいけないですが。
- ・高齢、障がい者のため、外出は控えている
- ・仕事で行く時間がない
- ・名前だけの公園が多い
- ・病気のため、外出できない
- ・虫が苦手。ウォーキングを気軽に気楽に散歩がてら（クマの心配等無く）楽しめる公園があると良い。
- ・施設に入所しており、外出はほとんどしていない
- ・体が不自由で行ってもつまらない
- ・日中家に居ることが多い
- ・子供達が大きくなった為
- ・老人の為に遠くへは。近場にちょっとしたもの（さんぽ場かと思っている）があれば良いと思っている。
- ・出歩くのが嫌い
- ・人がいない（少ない）
- ・人口の割に公園が多いが、人が少なく逆に危険な感じ
- ・子供がいないので、小さい時は良く利用した
- ・日中に公園などに行く時間は無い
- ・場所が人目につかない。熊が出たりするので怖い。
- ・体が不自由
- ・年齢的に利用できない
- ・人もおらず、治安が悪そうなので利用しない
- ・孫が来た時は、近くの公園を利用する
- ・年だから歩くのが大変
- ・雑草が多い

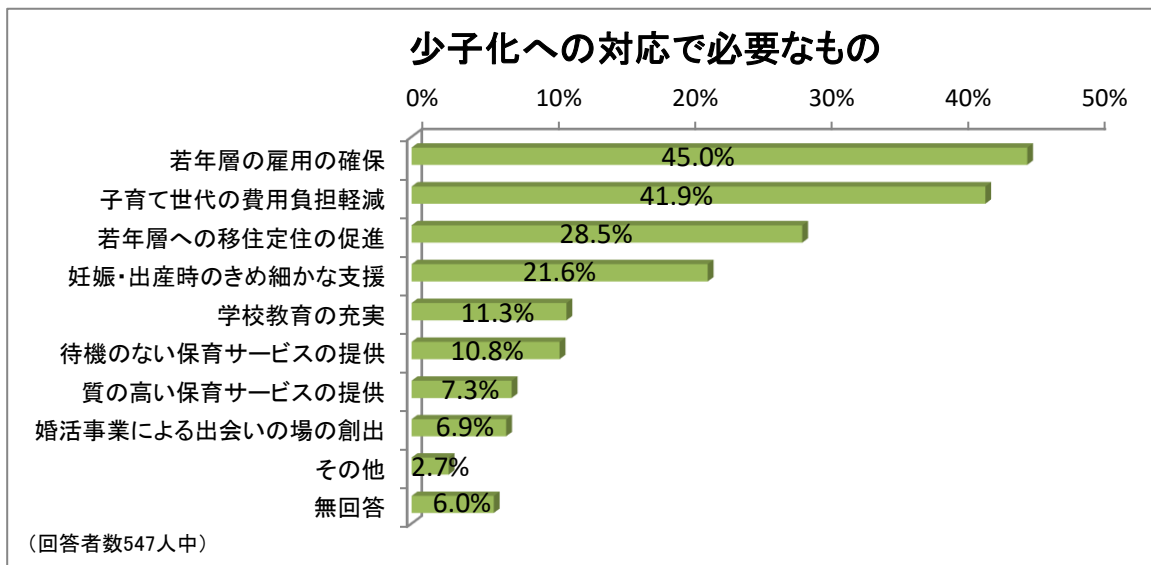
【問 11】人口減少への対応についてお聞きます。砂川市の人口は、昭和 33 年（1958 年）の 31,249 人をピークに減少を続けております。今後の砂川市の対応として、あなたの考えに最も近いものを選択してください。（1 つ選択）

「人口の減少はやむを得ないから、人口の減少に対応したまちづくりを進める」が 34.4%と最も高く、「人口の増加を目指す」（23.4%）、「人口の減少はやむを得ないが、人口の減少を最小限にとどめる」（22.7%）と続きます。前回の調査と比較すると、「人口の減少はやむを得ないから、人口の減少に対応したまちづくりを進める」が 41.0%から 34.4%に減少しており、「わからない」「無回答」を除く、その他の項目の割合が増加しています。



【問 12】少子化の対応についてお聞きします。あなたは、砂川市の少子化への対応について何が必要とお考えですか。（複数回答・2つまで）

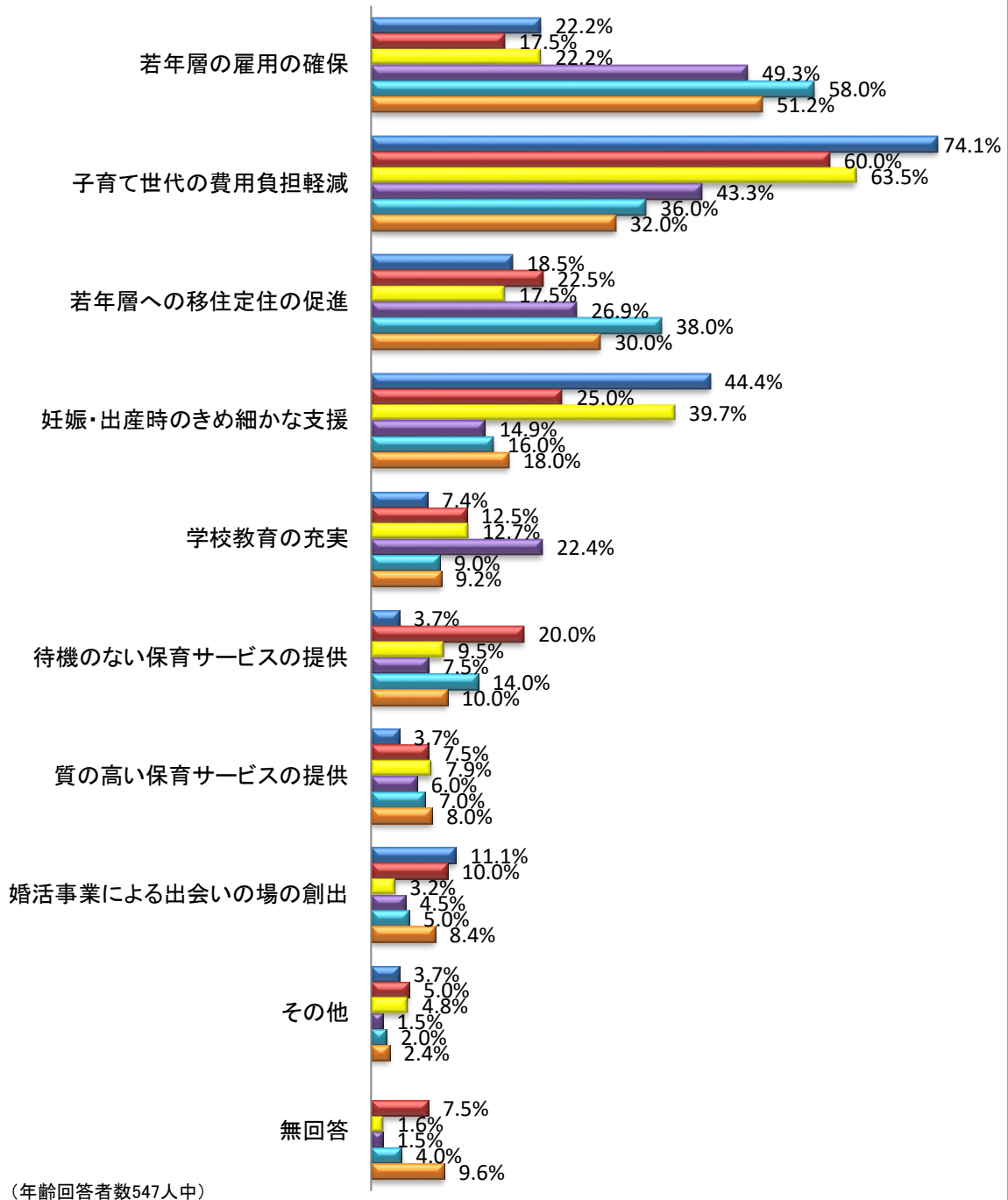
少子化に対して砂川市の対応で必要なものについては、「若年層の雇用の確保」が45.0%と最も高く、「子育て世帯の費用負担軽減」(41.9%)、「若年層への移住定住の促進」(28.5%)と続きます。前回の調査と比較すると、「妊娠・出産時のきめ細かな支援」が16.4%から21.6%に増加しており、「待機のない保育サービスの提供」「質の高い保育サービスの提供」についても割合が増えています。



年代別でみると「子育て世帯の費用負担軽減」が他の世代と比べて30歳未満で突出して多くなっている他、「若年層の雇用の確保」が50歳代以上の割合が高くなっています。その他、50歳代では「学校教育の充実」の回答数が、60歳代では「若年層への移住定住の促進」の回答数が多く、他の世代との差が目立ちます。

## 少子化への対応に必要なもの(年代別)

■ 30歳未満(27) ■ 30歳代(40) ■ 40歳代(63) ■ 50歳代(67) ■ 60歳代(100) ■ 70歳以上(250)



### 【「その他」の記述】

- ・駅周りが暗すぎる。砂川は横に開発するより中心街から外へ開発した方がいいと思う。スクラップビルド。
- ・妊娠、出産時だけの支援じゃなく、産後の支援も充実してくれると少子化対策に繋がりそうな気がする。もっとファミサポも利用しやすくしてほしい。
- ・行政サービスの課題で子供が生まれないのではなく産業が少ない事が課題
- ・子育て世代、贅沢して暮らしている人もいるのに一律給付金などはおかしい。旅行などしてい

るなら給食費ぐらい払えそう。

- ・ 子供に余計なお金がかからないようにする。小中高でお金かからず、病院もお金かからず、それぐらいしないと人口増加は望めない。

- ・ 若年層への生活保障

- ・ 親に用事があり、どうしても個人で出かけた時に預かってくれる場所、人があったらいいと思う

- ・ 生活、子育てがしやすい魅力あるまちづくりが必要。なので幅広い生活環境の見直しが必要と思われる。

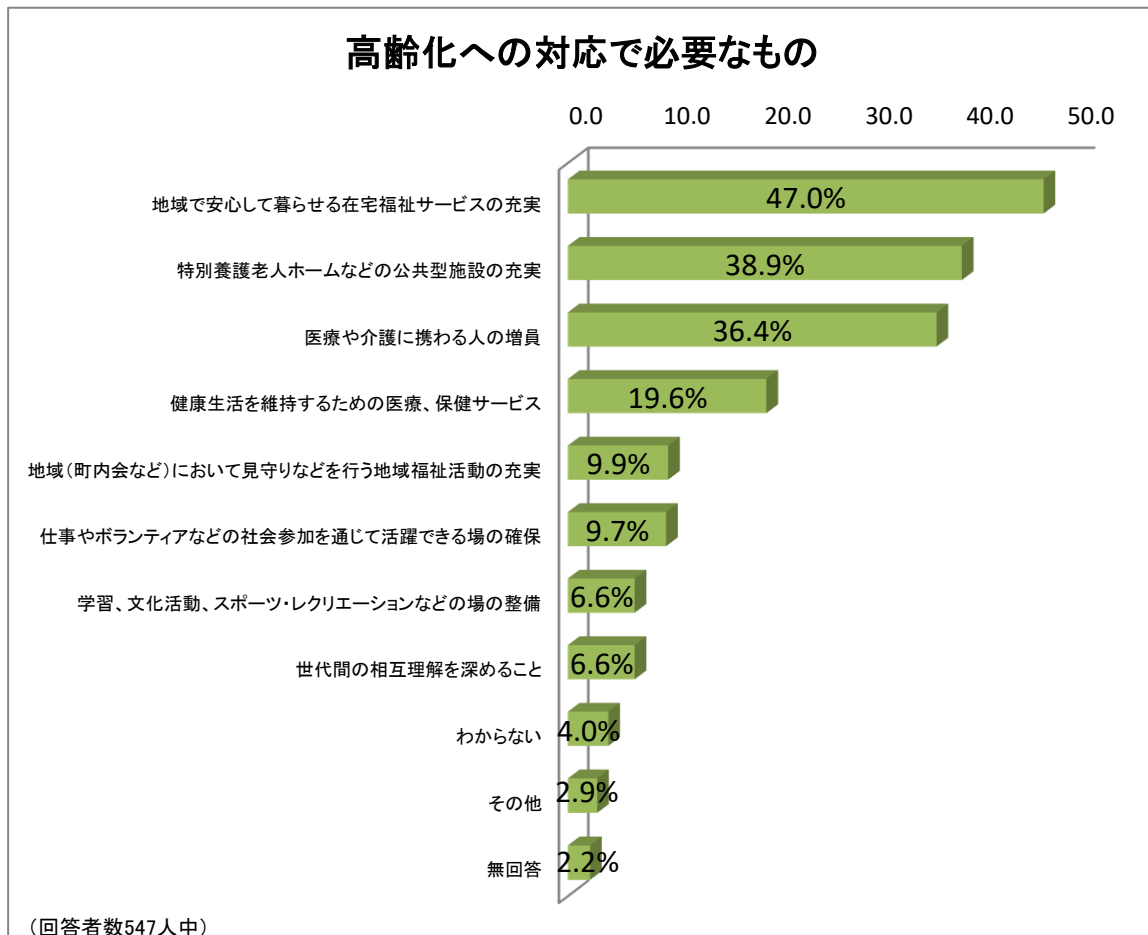
- ・ 上記の具体的な施策を市外へアピールする頻度、量を増やす

- ・ 安心して子育てできる働き方（給料保障支援、育児休、急な預かり）を厚く支援する政策を必ずとること

- ・ 学業を終え、他へ移住するのがほとんど。若者がいない活気のない町だと思う。

【問 13】高齢化への対応についてお聞きします。あなたは、砂川市の超高齢社会への対応について何が必要とお考えですか。（複数回答・2つまで）

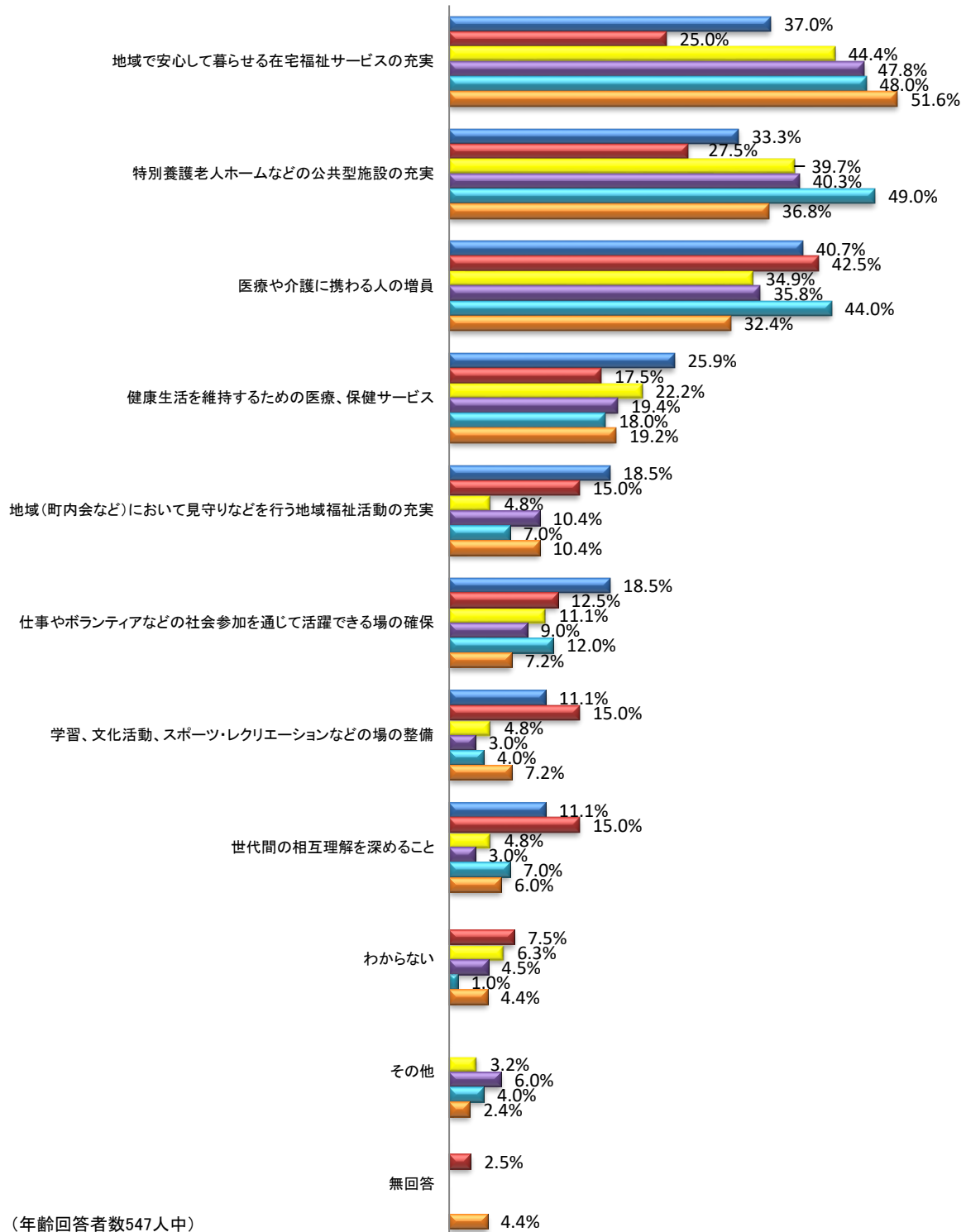
高齢化への砂川市の対応について、「地域で安心して暮らせる在宅福祉サービスの充実」が47.0%と最も高く、「特別養護老人ホームなどの公共型施設の充実」(38.9%)、「医療や介護に携わる人の増員」(36.4%)と続きます。前回の調査と比較すると、「医療や介護に携わる人の増員」が29.8%から36.4%と大幅に増加しており、ニーズの高まりが伺えます。



年代別でみると「地域で安心して暮らせる在宅福祉サービスの充実」が40歳代以上で多くなっている他、「特別養護老人ホームなどの公共型施設の充実」が60歳代で特に多くなっています。また、「医療や介護に携わる人の増員」の回答数は比較的どの年代でも多くなっており、ニーズの高まりが伺えます。

## 高齢化への対応に必要なもの(年代別)

■ 30歳未満(27) ■ 30歳代(40) ■ 40歳代(63) ■ 50歳代(67) ■ 60歳代(100) ■ 70歳以上(250)



### 【「その他」の記述】

- ・ 高レベルの介護のできる施設を増やし、人材を育成する
- ・ 高齢者でも健康で働く意思があれば何らかの就労や社会貢献できる機会があると良いと思う。65歳を過ぎても意識の高い者がいることも理解してもらいたい。健康不安を抱えていても、仕事の振り分けをしてもらえれば、十分社会貢献できる。雇用者側、組織の受け入れ方が柔軟となる仕組み

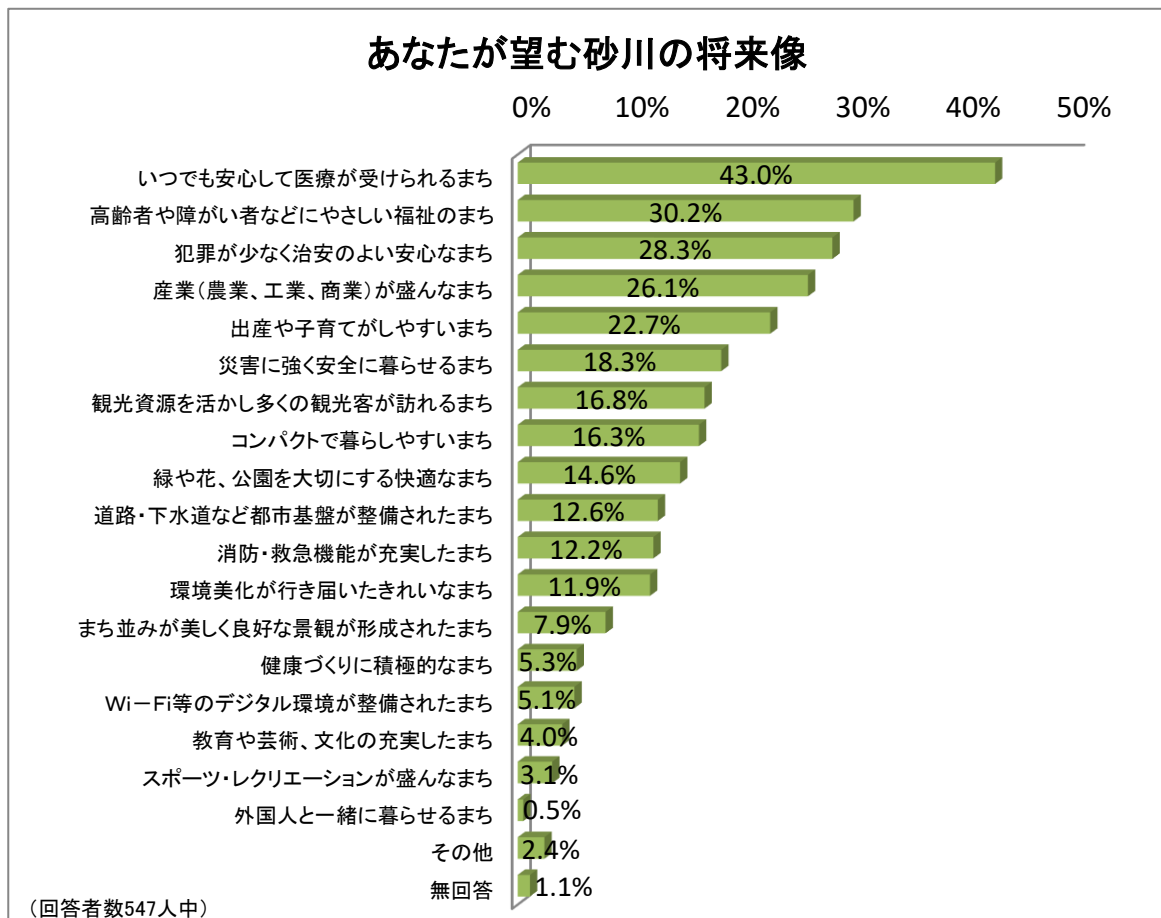
にはどうすべきか検討する必要がある。見守りをするにもソーシャルアクションを実践できる人材がいないし、育成する機能がない。

- ・医療、福祉関係者の収入の増加をし、労働力の確保が必要
- ・決まったサークルや老人クラブなどではなく、いつでも気軽に立ち寄れてお茶を飲んだりおしゃべりができる場所があると良いと思う。滝川市内の中心地から離れた地域に「きずな」という所があって、自分の老後にその様な場所があれば良いと思った。
- ・高齢化のためのサービスは重要だが市政に課題が生じない範囲にとどめることも重要。安く入れる老人ホームがあることは重要だが 必ずしも市として運営する必要があるとは思っていない。
- ・特別養護老人ホームの入居者の扱い等、実態と本人の満足度を行政として把握することを大切にしてほしい。本人の要望、家族の要望を客観的に把握する。→人として尊重され、人権が大切にされているかという意味。
- ・個人病院の充実
- ・老化を遅らせるための予防が大切（保健師さんの活躍を望む）
- ・年金受給者への補助金の支給
- ・養護老人ホーム（定員 100 名）建設してはどうか。ほかの市では建設している。
- ・安い金額で入れる様な施設
- ・高齢者が若者と交流できる場の設定を考えてほしい
- ・特老と保育施設の併設
- ・砂川市で実施している「すながわ健康ポイント事業」ですが、範囲が広すぎると思う。百歳体操に参加しているが、百歳体操独自でポイントを貯めるという案はないのだろうか。滝川の場合を参考にされてはいかがか。
- ・高齢者、一人暮らしなどの方へのサポート
- ・老人の医療費の無駄遣いを減らす取り組みをするべき。大きな病気でもないのに病院へ行き、一割負担で受診をし、病院での待ち時間が非常に長くなり、待っているだけで具合が悪くなる。

【問 14】あなたは、砂川市がどのようなまちになったらよいと思いますか。

(複数回答・3つまで)

砂川の将来像については「いつでも安心して医療が受けられるまち」が 43.0%と最も高く、「高齢者や障がい者などにやさしい福祉のまち」(30.2%)、「犯罪が少なく治安のよい安心なまち」(28.3%)、「産業(農業、工業、商業)が盛んなまち」(26.1%)、と続きます。前回の調査と比較すると、上位4項目の順位は変わったものの、上位4位に入っていることは変わっておらず、高齢者などへの支援策や、安全・安心な暮らしのための施策が望まれ、将来像に大きな変化はないことが伺えます。



総合的な結果は以上のようにになりましたが、年代別で、将来望まれるまちの姿に差が出るのか、それぞれの年代ごとに順位をつけました。

総合1位であった「いつでも安心して医療が受けられるまち」は40歳代以上の世代で1位となっている他、他の年代でも2位と4位になっています。30歳未満と30歳代の若年層では「出産や子育てがしやすいまち」が1位となっており、60歳代と70歳以上で2位となっているのが、「高齢者や障がい者などにやさしい福祉のまち」と、世代間に差が見られます。

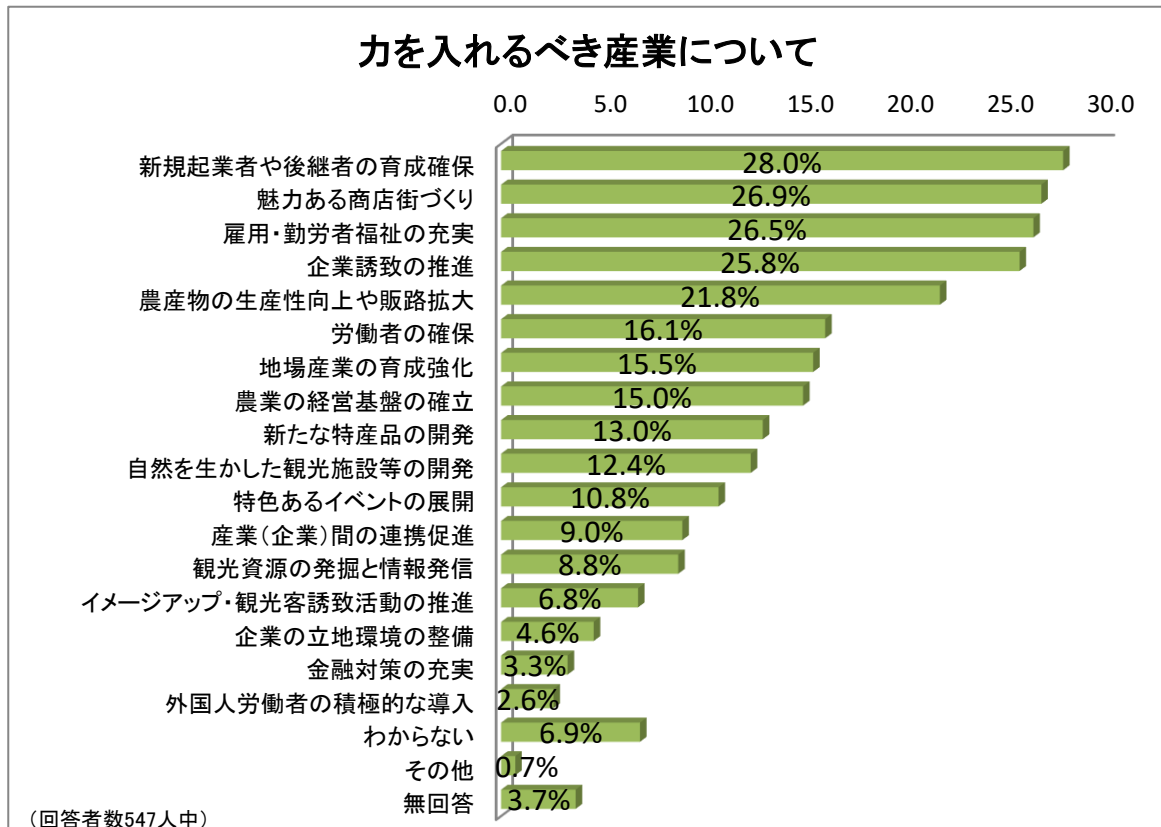
|                       | 30 歳未満    | 30 歳代    | 40 歳代     | 50 歳代     | 60 歳代    | 70 歳以上    |
|-----------------------|-----------|----------|-----------|-----------|----------|-----------|
| 産業（農業、工業、商業）が盛んなまち    | 8 位 18.5  | 5 位 20.0 | 5 位 19.0  | 3 位 31.3  | 3 位 32.0 | 4 位 26.0  |
| 観光資源を活かし多くの観光客が訪れるまち  | 2 位 37.0  | 6 位 17.5 | 5 位 19.0  | 5 位 22.4  | 8 位 16.0 | 12 位 12.8 |
| 道路・下水道など都市基盤が整備されたまち  | 10 位 11.1 | 13 位 7.5 | 10 位 12.7 | 10 位 11.9 | 9 位 11.0 | 7 位 14.4  |
| Wi-Fi等IT環境が整備されたまち    | 11 位 7.4  | 7 位 15.0 | 14 位 6.3  | 13 位 10.4 | 15 位 4.0 | 16 位 2.0  |
| 緑や花、公園を大切にする快適なまち     | 5 位 22.2  | 4 位 22.5 | 9 位 15.9  | 9 位 13.4  | 12 位 9.0 | 6 位 14.8  |
| 環境美化が行き届いたきれいなまち      | 11 位 7.4  | 9 位 10.0 | 11 位 11.1 | 10 位 11.9 | 9 位 11.0 | 11 位 13.2 |
| まち並みが美しく良好な景観が形成されたまち | 5 位 22.2  | 9 位 10.0 | 15 位 4.8  | 14 位 7.5  | 9 位 11.0 | 14 位 5.6  |
| コンパクトで暮らしやすいまち        | 5 位 22.2  | 8 位 12.5 | 5 位 19.0  | 7 位 19.4  | 7 位 18.0 | 8 位 14.0  |
| 消防・救急機能が充実したまち        | 15 位 3.7  | 13 位 7.5 | 4 位 20.6  | 10 位 11.9 | 13 位 7.0 | 8 位 14.0  |
| 災害に強く安全に暮らせるまち        | 11 位 7.4  | 15 位 5.0 | 5 位 19.0  | 4 位 23.9  | 6 位 20.0 | 5 位 19.2  |
| 犯罪が少なく治安のよい安心なまち      | 3 位 29.6  | 3 位 32.5 | 3 位 23.8  | 2 位 35.8  | 4 位 25.0 | 3 位 28.0  |
| 高齢者や障がい者などにやさしい福祉のまち  | 8 位 18.5  | 9 位 10.0 | 13 位 7.9  | 6 位 20.9  | 2 位 35.0 | 2 位 40.8  |
| 出産や子育てがしやすいまち         | 1 位 40.7  | 1 位 55.0 | 2 位 38.1  | 8 位 17.9  | 5 位 21.0 | 10 位 13.6 |
| いつでも安心して医療が受けられるまち    | 4 位 25.9  | 2 位 35.0 | 1 位 39.7  | 1 位 37.3  | 1 位 48.0 | 1 位 46.4  |
| 健康づくりに積極的なまち          | 15 位 3.7  | 18 位 0.0 | 18 位 1.6  | 17 位 3.0  | 16 位 2.0 | 13 位 9.2  |
| 教育や芸術、文化の充実したまち       | 11 位 7.4  | 15 位 5.0 | 12 位 9.5  | 15 位 4.5  | 14 位 5.0 | 18 位 1.6  |
| スポーツ・レクリエーションが盛んなまち   | 15 位 3.7  | 9 位 10.0 | 17 位 3.2  | 18 位 0.0  | 18 位 0.0 | 15 位 4.0  |
| 外国人と一緒に暮らせるまち         | 19 位 0.0  | 18 位 0.0 | 15 位 4.8  | 18 位 0.0  | 18 位 0.0 | 19 位 0.0  |
| その他                   | 15 位 3.7  | 17 位 2.5 | 18 位 1.6  | 15 位 4.5  | 17 位 1.0 | 16 位 2.4  |

【「その他」の記述】

- ・これと言った良い事が無いまち
- ・市立病院というこれまで税をつぎ込んできた歴史が、中空知における重要な医療機関としての機能を近隣地域と連携して維持されていくことを期待する。規模より質である。
- ・チェーン店の飲食店が欲しい。子連れで気軽に外食が出来ファミレスなどがほしい。夜に開いている飲食店が少ないので。
- ・温泉や飲食店が充実したまち
- ・一年を通じて、非常時に対応出来る連絡網の整備、作成が必要
- ・医療体制が整っている町（夜間救急や小児科などが増えてほしい）
- ・1年の半分～1/3は除雪→家の前に除雪時の道路の雪のかたまりをおいて行くのはやめてもらいたい。この問題がなければもっと住み良いと思う。多くの家がお金を払って業者にお願いしている。
- ・開業医をもっと増やしてほしい
- ・大人から子供が集まれるような商業施設や、若者が買い物しやすいような町になってほしい
- ・生活するのにお金がない。子育てをするのにお金がない。老後生活に余裕がないことは政策の失敗と考えるべき。もうかる市政を考えてほしい。
- ・貧困世帯や、持病を持っていて、働けない人への支援や相談窓口の場を設ける
- ・多様な諸外国人が安心して暮らせる（職業がある）町

【問 15】砂川の産業を振興させるには、今後、どのようなことに力を入れるべきと思いますか。  
(複数回答・3つまで)

「新規起業家や後継者の育成確保」が28.0%と最も高く、「魅力ある商店街づくり」(26.9%)、「雇用・勤労者福祉の充実」(26.5%)、「企業誘致の推進」(25.8%)と続きます。前回の調査と比較すると、上位4項目の順位は変わったものの、上位4位に入っていることは変わっておらず、力を入れるべき産業に大きな変化はないことが伺えます。

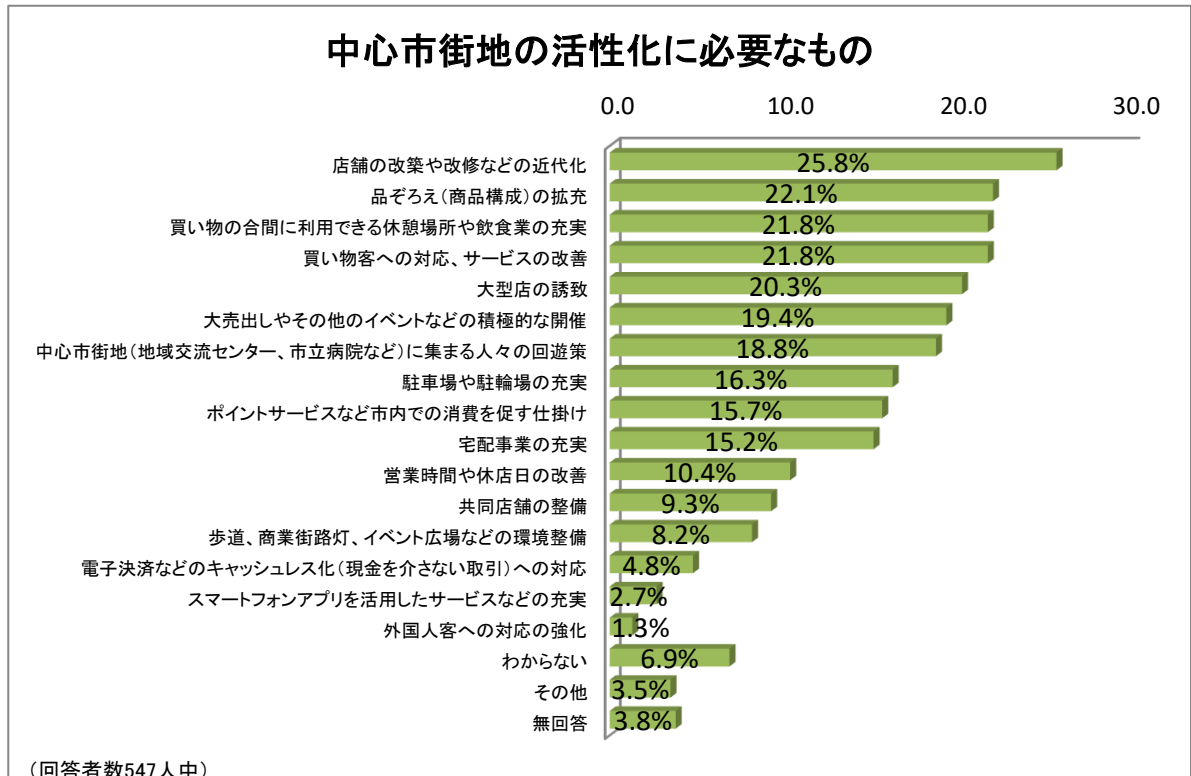


【「その他」の記述】

- ・ 廃校を活かした企業誘致。研究機関の誘致。
- ・ 市立病院の維持、補強

【問 16】あなたは、中心市街地を活性化させ、砂川市内における購買力を高める上で、今後、何が必要とお考えですか。（複数回答・3つまで）

中心市街地の活性化については、「店舗の改築や改修などの近代化」が25.8%と最も高く、「品ぞろえ（商品構成）の拡充」(22.1%)、「買い物の合間に利用できる休憩場所や飲食業の充実」(21.8%)、「買い物客への対応、サービスの改善」(21.8%)と続きます。前回の調査と比較すると、「店舗の改築や改修などの近代化」は22.4%から25.8%に増加しており、店舗の改築や品ぞろえの充実など、商業施設の充実がより求められていることが伺えます。



#### 【「その他」の記述】

- ・人口の減少をストップ。人口を増やすための取り組み、市役所全員で。
- ・商業的な活性化は民間の判断にまかせた方がよい。市民の所得水準が上がらなければ、購買力は高まらない。
- ・飲食物だけではなく、衣料品や日用品の商店のスタンプラリーがあると良いと思う。そもそも行ったことのない店舗は入りにくい。商品を買わなくてもスタンプ1個、買ったスタンプ2個などで店舗に足を運ぶイベントがあれば良いと思う。
- ・市外の人間をいかにして多く呼び込む工夫と課題対策。インフルエンサーと協力した対外的な発信力。インターネットを利用した発信力の成功例を学ぶ。インターネットに集まる砂川市に対する良いイメージと悪いイメージの収集とそれによるさらなるイメージアップと悪いイメージの削減。
- ・砂川市の物産品を統一して割引の日など、作れば良いと思う
- ・期間限定でも良いので、パン屋さんがあったら。砂川に美味しいパン屋さんが少ない。キッチンカーとかでも良いと思う。
- ・北光団地、石山団地、空知太など食品スーパーが欲しい

- ・砂川は飲食店が少ないと思う。来客があっても行きたい所がない（やや大きな所）
- ・除雪
- ・送迎してくれる店が良い
- ・空き店舗対策、撤去
- ・ボーリング場以外の娯楽施設がない
- ・バスの減便によって、車がないとほぼ買い物は不可能。移動手段がないと無理だと思う。
- ・ネット通販等で安く購入でき、購買力を高めることは無理ではないか
- ・空き家対策
- ・大型店は小売店をつぶすので街の活性化に逆行化し、失敗。制限すべき。
- ・閉店した人は資産家が多く特に困らないから、齒の欠けた町になっている。見苦しい。車を止める場所がないので入りづらい。

【問 16】で3.「品ぞろえ（商品構成）の拡充」、11.「買い物の合間に利用できる休憩場所や飲食業の充実」、12.「中心市街地（地域交流センター、市立病院など）に集まる人々の回遊策」と答えた方の具体的回答

- ・中心市街地の古い商店などを移転させ、快適に買い物や食事等ができるショッピングモールなどを整備する。
- ・中高生が寄りたくなるようなところが良い。砂川市内に住む中高生もそうだけど。市外から通う砂高生たちも街中で楽しみたいかなようなものがあつたらいい。
- ・病院や地域交流センターそれぞれの隣接ブロックに、日用品や食事を取れる施設などがあると良いのでは。市外からの訪問者の行動圏内に、ついでの購買行動可能な施設があれば、人が集まりやすく活気が出て、好循環サイクルを広げやすいのでは。
- ・休日は食事や買い物をする店が休みで、他の地域へ移動することが常である。品にしても選択肢が限られ、ネットや他地域まで行くことが当たり前になっている。美容院も札幌市まで出かけている話も聞く。「すないる」の利用状況が判断材料になるのではないかな。
- ・時代にあった物
- ・シロやナカヤや北菓楼に観光客が集まるので 12 号沿いに人は来ている。すないるやゆうが立ち寄ると楽しい場所（道の駅的な）集客力のある所になると良い。建物が立派なのに勿体ない。
- ・医療従事者が仕事終わりに立ち寄れる飲食事業（お酒飲める）を増やしたり、すないるにてキッチンカーイベントや SHIRO などの大手メーカーでのイベント開催で市外から来る人々の流入を増やす。（出来るだけ駅からアクセスしやすい場所）そういう若者が来そうなイベントを増やし市外から来る人々が増えれば、恩恵を受けれるお店もあるかもしれない。（スイートロードなど）
- ・スポーツ用品ショップ、休憩（兼）飲食ショップ、回転すし店、幼児服ショップ、市内無料回遊観光バス（100 円／12 号線区間）、共同アンテナショップ。
- ・市街にある同じ店舗の商品の統一
- ・道の駅
- ・病院内若しくは、歩いて数分圏内に、大手企業の誘致（ファーストフード店、電機店、喫茶店、洋品店、パチンコ店、ゲームセンター、保育施設、温泉宿泊施設）、十分な駐車場の確保
- ・若者向けの商品の確保
- ・気軽に寄れる軽食店や喫茶店
- ・子供用品を充実させて欲しい。いつも滝川まで行かなきゃいけないので。
- ・子供用品や本文房具が気軽に買える店舗など
- ・美味しいパン屋さん、美味しいソフトクリーム屋さん、美味しいカレー屋さん、オシャレなカフェ

・現状の砂川市に問題があるとすれば交通アクセスだと思う。自家用車を持っていないと正直厳しい。けれども今後高齢化が進んでいくため、皆が自家用車を持っていることを期待することは難しい。バスの本数も電車の本数も少ない。いかにして交通手段を提供するかもしくは何かのついでで移動しなくても事が足りてしまう手段を提供する事を検討。市立病院はこの地域の中でも、とても有数で他の市町村からも人が集まっており、ここを活用して発信力、購買のきっかけなどを得ることができたらその後の集客にも期待できる。週替わり月替わりでコラボするお店を決めて市立病院内の販売店で販売するとか。市立病院にある種の通信カタログを置くという手もあるかもしれない。ただし病院という場所の都合上、健康に必要な情報の配慮は必要。塩分を控える人に塩分の強い食事を奨めるようなイメージを与えてはいけないので、食品の成分情報や、塩分量など必要な情報は合わせて提供しているカタログであること。重要なのは他の市町村から（人が集まる場所に）砂川市にきた人が他も回ってみたいと思わせるような仕掛けを施すこと。スイートロードの名前は他の市町村にもそこそこ有名だと思っているが、場所が点在しすぎて自由に行き来するのが難しい。市はあんまり投資せずに、他の市町村から来た人が砂川市を気持ちよく自由に回れる仕掛けが必要。例えば…①全電動の砂川市内自動運転バス（テストケース、モデルケースを求めている企業に試行を打診し最終的に砂川で実用化）。最終的には砂川市を中心として、周辺主要自治体の駅まで運んでくれるようになるサービスにまで発展できるとより理想。②屋根のついた貸出４輪自転車（もしくは３輪）。自転車の貸し出しは現在実施されていると聞くが雨が降ったら借りたいとは思わない。雨が降っても利用できるように雨よけがついたピザの宅配バイクのような自転車があるとより使いたい人も増える。そしてそういうのを貸してくれるところは他にはないので珍しさもある。また高齢になって足腰が不自由になった人にとって２輪はふらつくので不安があるが３輪か４輪であればその不安も払拭できる。最終的には特徴のあるデザインのものとしその写真が撮りたいがために砂川市に来てくれるようになるのが最終的な到達点。③スイートロードパックみたいな通販の仕掛け（複数のお店の宅配を全部まとめてやってくれるサービス。そこに注文すればスイートロード全てのお店のスイーツが１つの箱で全部揃うみたいな、そしてそこに次に直接訪れたら割引してくれるクーポンが入ってるみたいな）、できれば海外からも注文できるようなサービスだとより望ましい。

・買い物バスの増便

・若者が SNS で取り上げたくなるような商品を充実させ、遠方からも購入しにくる人が増えたら良いと思う。気軽に喫茶できる場所（例スタバやタリーズなど）を増やし、学生が勉強を励む場や会話を楽しむ場を増やしてほしい。

・病院の待ち時間や気軽に子どもを安全屋内で遊ばせられる場所がほしい

・そこに行かないと購入出来ないお店の集まり

・洋服、靴

・足に合う靴

・人の集まれる場所を作り、利用される取り組み

・同じ店でも砂川の店舗だとお店の規模が小さくて、品ぞろえが少ないから他の店舗に買いに行ってしまう。大型店（ダイソー、サツドラ、ホームックなど）大型店の誘致をしたほうが良いと思う。

・気軽に入れる飲食店が少ない。スタバなど誘致してほしい。

・有名 FC 店の誘致など

・年寄りの人々に気楽に休める場所があれば便利

・中心市街地にバスで来ても、帰りのバス時間まで長く、時間をつぶせる気軽に入りやすい所が少ない。公共の交通も不便。仕事帰りに行きたくても、店が閉まっている。

- ・安くておいしいコーヒーやアイスクリーム等が座って食べられる場所（イスやテーブル、日陰で）
- ・道の駅、温浴施設、コテージ、スーパー（病院からすぐ歩いていける）
- ・大手回転寿司、食べ放題店（安価で）、牛丼チェーン店等が砂川市にはなく、滝川や美唄、岩見沢に行っているの、中心市街地にあると人が集まってくる（立ち寄り）と思う
- ・安価で食べられる店が沢山あるといいかも。デザート・食事（ランチ）など。
- ・本、衣服、作業着、靴などが買づらい
- ・朝早く（AM5:00）やっている食事やコーヒーなどゆっくりでき、夜も（PM10:00）くらいまでその地域にいれば1日いられる場所
- ・衣類や靴の移動販売があるといい。（施設に出向く）砂川に靴屋がない。
- ・町の中に休憩出来る場所が少なく、土日は特にあいているお店も少なく、休む場所もないので結局出かけない
- ・人の移動をより良い方法
- ・喫茶店を充実。店舗を増やす。
- ・食べる物はもちろん、美味が第一ですが、雰囲気がとても大切。また、行きたいと思わせる芸術的な（音楽、絵画等）おしゃれな憩いの場があればと思う。
- ・土地で採れた野菜等を売る道の駅のような店舗
- ・富良野マルシェのイメージ
- ・市内無料周回バス
- ・市立病院に隣接する商業施設
- ・夜間の食事が出来る店がほしい
- ・カフェや軽食などを楽しめるような場所
- ・テイクアウトの店舗 or ファミレス等があると良いと思う
- ・衣類の販売。靴が買える店が欲しい。現在、滝川まで行って買っているから。
- ・病院の待ち時間が長いので、近くに待って休める場所やスーパーがあれば、車で来ない高齢者も通院と買い物を1回ですませることができ、休憩場があるので交流の場にもなり、ストレス発散になる。喫茶店やレストラン、いつでも何でも相談できる所も病院を中心に1回ですませられるようにしてほしい。
- ・市立病院での待ち時間を利用しての用足し等
- ・カフェ（コーヒー等）一息つけるお店等
- ・週末、キッチンカー等呼んで人々を集める
- ・ナカヤの「アップルパイ」のような、その場所でしか買えない価値のある物
- ・ゆうや市立病院にカフェがあれば良い
- ・コストコ商品など
- ・店舗の近代化が必要と考える。品揃えが少なく、時代に合っていないので買い物は滝川、旭川、札幌に行っている。
- ・生鮮
- ・図書館（街の中）に憩いの場を作る。テーブル、イスがあり、コーヒー等を飲める場所を作り、他の人々と話せるようにする。
- ・お客の声をきいて、品揃えする。衣類や食品等。
- ・雑誌があってボーッと時間を過ごせる喫茶店が減った。大手でいえばコメダコーヒー店のような形態の店がほしい。
- ・バス乗り場を集約し、その回りに小型店舗を並べる
- ・服屋さんがいない
- ・衣料品チェーン店、飲食チェーン店

- ・ いすやベンチなどの座ることができるところ
- ・ 洋服、靴屋が少ない（地方で購入している）
- ・ アーケード街、動く歩道等設置で歩きたくなる街づくり。郊外にある素敵なカフェ、菓子店等をそこに集める。ダウNTアウン作る。現実的でなくてゴメンナサイ。
- ・ 休憩場所にコーヒーなど飲める場があると良いと思う
- ・ 買い物の後、食事をして帰りたい。病院も時間がかかるので帰りに食事したい。軽食でいい。
- ・ たとえですが、AiAi の2階、せつかく 100 均があるのだから（ダイソーには人がいつもいる）マックや銀だこ、ラーメン、そば等、広いイートインがあつたらと思う。砂川にはファミリーで行ける回転寿司や牛丼店などがなから、わざわざ滝川まで行くことになる。
- ・ 外国産の食料品ではなく国内産の商品
- ・ オンリーワンのなお店の紹介
- ・ 少しの時間でも休めて、コーヒー等飲めると良いと思う
- ・ 靴など砂川で買えない。膝や腰が悪く、なかなかあっちこっちと歩いて買物できない。冬は特に。
- ・ 衣料品、電化製品
- ・ 歩道の整備、駐車場の整備
- ・ 気軽に入れる明るい休憩所
- ・ 買物もつかれるので、ところどころに座る所があると助かる
- ・ 休憩場所で図書を借りる事が出来る
- ・ 駅前の空店舗など景観が悪い。すないうるにも集客の魅力がない。
- ・ 買い物して疲れるので、イスをおいてほしい
- ・ 電化商品ほしくても店がない
- ・ 高齢者の移動が簡単に出来る交通の便利性
- ・ 砂川の店舗で不足品が多く、滝川に行く事になる
- ・ ファミリーでいける飲食店や年寄りなども衣服が買える衣料品店など
- ・ 各市町の安価な特産物を買える店
- ・ この地区は私も含め、70 代、80 代、90 代の方々が多く住まわられていて、空家も目立つところ。3 年～5 年後にはどうなるのかと思う。
- ・ 商品があつても、滝川イオンよりも値が高い。品数が少ない。
- ・ 買物公園の様な空間施設の充実
- ・ ベンチなどの設置を増やす
- ・ 全店舗のポイント制の導入
- ・ ファーストフード店がもっと充実したら良いと思う
- ・ 休憩場に健康器具を置いたらと思う
- ・ 子ども服、くつ、若者向けファッションなどの品ぞろえ、店があつたら良いと思う
- ・ 店舗内にイスがないと高齢者は大変
- ・ 駐車場が広い飲食店があまりないので、あつたらいいなと思う（12 号線の通りに）
- ・ 中心市街地において、店内は薄暗くて営業しているのか、利用する気になれない
- ・ フードコートがあるようなスーパー
- ・ 多くの人が利用したい店（温泉、サイゼリアの様な店）
- ・ 衣料品、靴等の店。誰でも気軽（飲み物等 100 円）位で立ち寄り雑談出来る場所等
- ・ 小腹を満たす小さめの「おにぎり」を 100 円で売る店があると嬉しい。「おにぎり」が高値である為、誰でも買える庶民的な店が欲しい（百円均一）
- ・ 休憩の時にすわる、イス、ベンチがあると良い

・すないうるができたが、期待とちがった。もっと広い場所がほしかった。まわりの方たちに話がつつぬけになる。

・飲食店が少ない、ファーストフード店な様なもの

・衣料品店、くつ店が少ない

・ファミレス

・食品は同じものばかり。買いもののためにより街へ出ること多い

・車で利用しやすいカフェがあればうれしい

・高齢者も気楽に利用できるランチ等（格安）を楽しめるカフェ等があればいい

・すないうるは市民には良いと思う。もう少し盛り上げてほしい。知名度が低い。

・①路線バスの時間帯が悪く、待ち時間が長いため、休憩場所や飲食店があると便利である。

②市立病院等の帰りに寄って行く施設が多くあると便利である。

・飲食に対するイベント、キャンペーンが少ない、衣料品を購入できる店がない

・送迎ピストンバス（無料）（12 番）

・電気店、書店（どちらも大型）がなくなって久しい。これらを再度誘致できないものか

・各商店の前にイスを置く。駐車場を多くし、広くする。

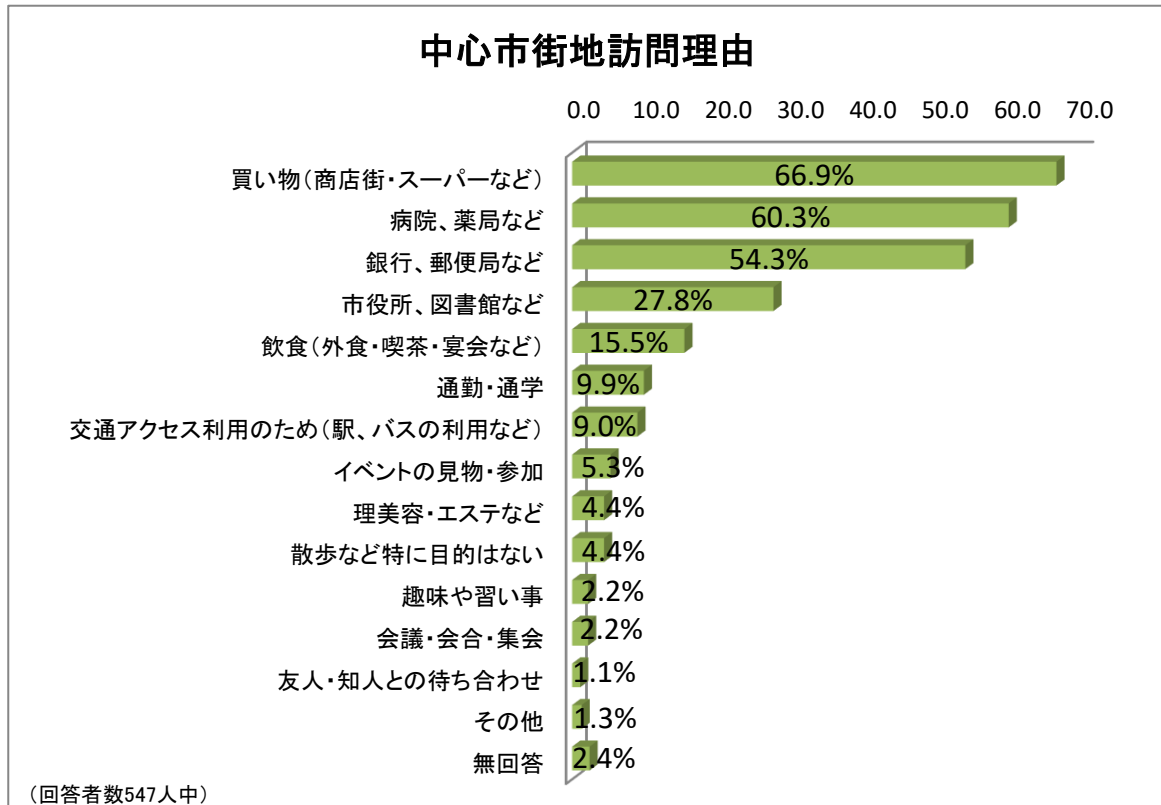
・せっかくすないうるを作ったのにキッズスペースが小さくて、もうすこし子育て世代に話題になるようなスペース（砂川ハイウェイオアシスの中にある屋内ひろば、秩父別町、妹背牛町など）があれば市外からでも家族があそびに来るような施設があれば、人もあつまりやすいのと思う。

・食品類は良いのですが、衣服類（安価、年代的なもの）多くしてもらえたら

【問 17】あなたが、中心市街地を訪れる主な目的について伺います。

(複数回答・3つまで)

中心市街地の訪問理由については、「買い物(商店街・スーパーなど)」が66.9%と最も高く、「病院、薬局など」(60.3%)、「銀行、郵便局など」(54.3%)と続きます。前回の調査と比較すると、上位7項目の順位は変わったものの、上位7位に入っていることは変わっておらず、中心市街地に訪問する理由に大きな変化はないことが伺えます。

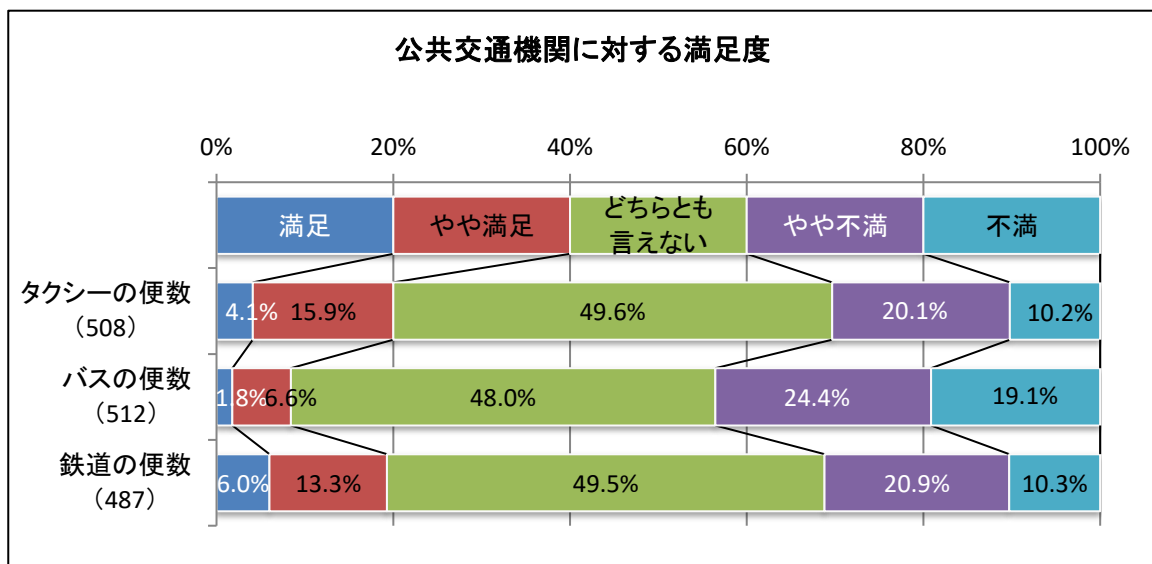


#### 【「その他」の記述】

- ・行かない
- ・空知太に住んでいることもあり、ほとんど市街地に行くことはない
- ・通学の送迎
- ・砂川市はすべてまとまっているので、ほぼ全部
- ・ゆうへ百歳体操

【問 18】あなたは、砂川市の公共交通機関について、どの程度満足していますか。  
(1つ選択)

公共交通機関の満足度については、3つのいずれの項目も「どちらとも言えない」が半数程度占めています。また、いずれの項目についても「満足」「やや満足」の合計よりも「やや不満」「不満」の合計が高くなっており、公共交通機関に対する満足度はあまり高いことが伺えます。



#### 【「その他」の記述】

- ・砂川で呑み会を開くことがあるがまずタクシーの台数、本数が少なすぎて一次会の早い時間帯に解散が運転手を頼まないと行けない理由から飲み会が減った。それも中心市街地利用減少につながっているかも知れない。
- ・普通列車が減少したことで交通費の負担が増えた
- ・時間にもよるが、待合場が狭く人があふれる（椅子の数が少なく座れない）
- ・バス、鉄道は少なく利用の選択肢にできない
- ・利用したことがないので不明
- ・今は車に乗れるからいいけど、車に乗れなくなったらバスの便数も少ないと不便だと思う
- ・JRが札幌直通の普通列車が少ないので増便してほしい。高速バスが混雑しているので不便。
- ・タクシーを呼んでも来ない。前もって予約の電話すらも厳しいと言われる。
- ・バスの利用料が高い。砂川巡回バスとかあれば良い。
- ・飲み歩く人も減ってはいるが、市内で飲んだ際の帰りのタクシー台数も減っているので、1時間以上待った事もある。それが原因で飲み歩く人も減っている現状もある。難しい問題ではありますが、市の支援でもあれば。
- ・夜間のタクシーの台数が少なすぎると思う。緊急時に呼んだら1台しか稼働していなく、1時間程、時間がかかった。
- ・通勤通学時間帯の便数をもっと増やしてほしい
- ・短時間、短期間のレンタカーサービス
- ・JR側も採算を考えている。特急が止まらなくなる事も視野に。高速バスの便数が昨年、大幅に削減。
- ・バスは乗りかえが必要だったり、本数も少ないので利用したいが利用できない。充実した生活が送れない。
- ・1日の便数が少なすぎ

- ・豊沼駅がこれからも残ってほしい
- ・JRの窓口時間短縮に不満。(日曜日は休み) 話せる券売機では後ろのお客がいたら、あせって上手くできない。
- ・JR便数が少ない。バスも少なくなっているから、利用者が減っているように思う。浦臼のバスのような小さいバスでも増便して動きやすい街を。
- ・今は自家用車がありますが、車を運転できなくなった老後はとても心配
- ・JRの計画で札幌旭川間の時短がすすめられていますが、砂川にとまる特急の数がへると大変困る。駅前をもっと活気づけてほしい。コンビニがあるとうれしい。バスターミナルに駐車場があるともっと高速バスを利用できるのと思う。タクシーは急によぶと30分～1時間まつことがあるので困る。
- ・冬期間にタクシーを利用することが多くなるが、予約が重なって希望の時間に利用できず不便に思う
- ・通勤でバスを使用しているが、その時間は学生が多く、いつも混んでいて利用しづらい。学生の利用する時間しかバスがない。滝川⇄砂川の短い距離で使えるバスがあると便利。新十津川や浦臼とかにあるバスとか。乗合タクシーは予約制で登録も必要だし、利用したい時間になくて不便。中心部に住んでないと、すべてが不便。高齢になったらさらに住みづらそう。
- ・高齢化なので、今より介護タクシーを増やすことができるといいと思う
- ・JR砂川駅のバリアフリー化、橋上駅化。駅を中心とした交通網の再整備。駅前から市役所にかけての商業施設などの再整備。可能なら空中歩廊などの整備。
- ・循環タクシーの自動化を進めるべきではないか
- ・砂川市の公共交通機関には不満を感じているが、それにはお金がかかるのも理解している。けれど今の状態は本当に適切な状態なのだろうか？ 広島県ではバスといえば、もっと小柄なものが一般的だし、完全電動というバスも走っている。けれど、北海道では人口が減少しているというのに、未だにガソリンか軽油を燃料とする古い大きなバスを走らせているのが一般的になっているように感じる。当然1台のバスを走らせるのにかかる燃料費は大きいバスよりも小さいバスの方が少なくすむ。燃費は古い車両よりも新しい車両の方が少なくすむ。そういう車両を自治体が提供するだけでも、サービスを運用する会社は助かるのではないかな。もちろん車両の維持費はサービス会社持ちだが。また最近話題が出てきている水素で走るバスを企業から実験も兼ねて提供してもらおうというのも一考かもしれない。それなら砂川市としては何もお金をかけずに済む。ただ水素ステーションの候補地を検討する必要があるかもしれないが。また他府県では古い年式のボンネットバスを走らせて観光の目玉にしているところもある。観光事業の一環としてそういうバスに砂川市の観光の目玉を周回してもらおうという手もある。今風のエアコンや換気の仕掛けなどに改造する必要があるかもしれないが。また自動運転というものが各社で研究が進んでいるが、その実験場所がなくて困っているという話もよく聞く。実験場所として砂川市を提供する代わりに、自動運転のバスもしくは自動運転のライトバンを、その会社に定期運転してもらおうという考え方もある。もちろんそのために条約の整備は必要かもしれないが。バスの中に、日替わりの小さなお店を組み込んで、市内各地を周遊するというのも面白いかもしれない。珍しさはもちろんだが、市内のどこにいても、市内の珍しいお店が近くに来てくれるのは嬉しい。バスをただの交通機関にせずお店も兼ねるならお店から店舗提供料というのが取れる。つまりサービス維持に必要な経費がそこから賄えるということになる。停車時間は少し長くなるので止める場所は検討が必要だし、需要と集客と様々なデータを揃えた上でないと実施は難しいが。滝川駅から新十津川までライトバンのような大きさのバスが就航している。こういう感じの定期運転バスがあってもいいのではという気もしているのだからどうだろうか。
- ・タクシー呼んでも全然来ない。電車本数がない。
- ・南5丁目以南のバス便数倍増

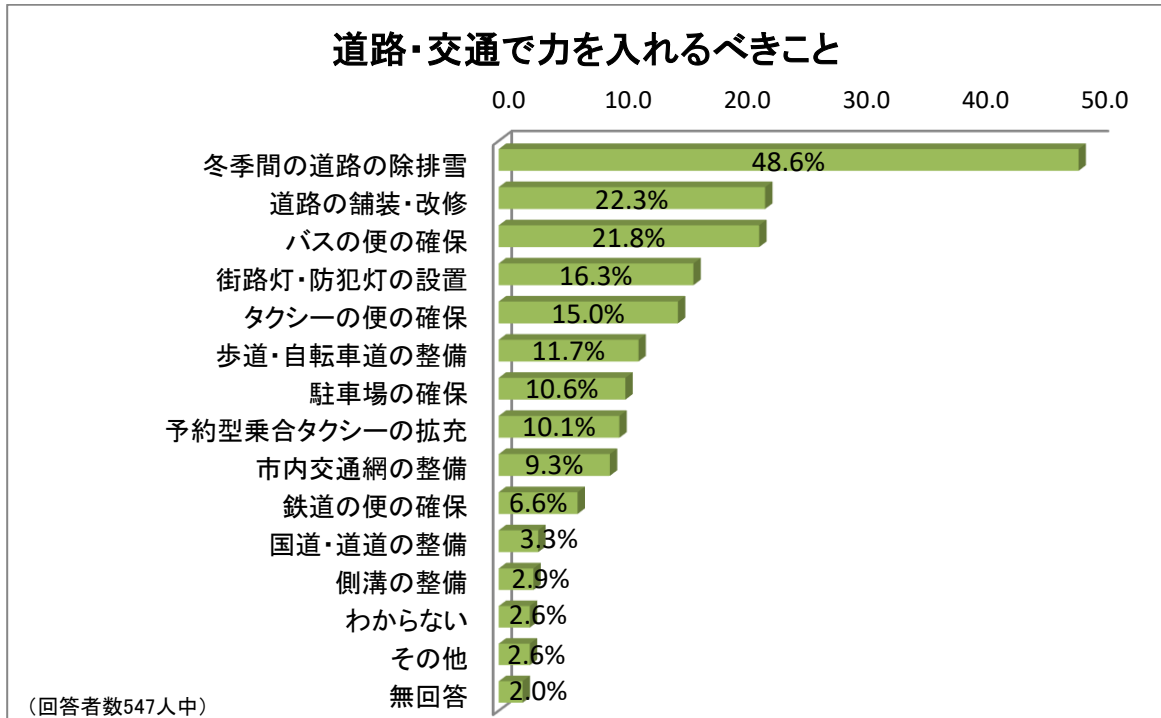
- ・バスの便数の確保
- ・車がないと移動が不便
- ・今は自家用車で移動には不便はないが、今度杖などを利用する状態になると、これまでの生活様式を維持することは諦めるしかない
- ・現在は運転出来るので良いのですが、今後とても不安。高齢の方は不便にしていると思う。
- ・公園の駐車場を待機場所としているタクシーが多い。仕事している人の迷惑にならないかなと心配。
- ・JR 砂川駅、札幌方面へのエレベーター設置。スーツケースなどの持ち運びが大変である。
- ・砂川から上砂川へ行く、線路下の道路を2車線にしてほしい
- ・タクシー、バス、鉄道、どれも便数が多くなることは考えられない。マイカーが乗れなくなったら（自分も夫も）どうなるのだろう。歩いて行けるとところに商店、病院があればいいけど。無理だと思うけれど、予約なしの市内巡回バスがあればいいのに。昼間眠っているスクールバスを市民バスとして利用するとか。
- ・今年の2月、病院の帰りタクシーを呼んだが2カ所とも「いつになるかわからない」と言われて、砂小近くの自宅まで歩いて帰ったが、足が悪く何回も転んで大変だった。骨折をせずに帰れたのが不思議でした。病院へは帰る時間がわからないので大変だ。
- ・JR 砂川駅のパークアンドトレインで駐車場を予約できていたのが、できなくなった。早朝の JR 利用時に、もし駐車場が空いていなかったら、JR の時刻までに探す時間が必要となり、とても心配。予約できるように戻して欲しい。
- ・高速バスや JR 利用を前もっての利用以外は駐車場の確保が出来ないことが多く、利用できない。
- ・高齢化に伴い、自家用車に乗れなくなる人が増える中、砂川市の乗り合いバス？の料金が一律でないのが不満に思う。福祉は助け合いだと考える。この狭い砂川で料金の差をつけるのは不思議。なので近い他の市町村へ行く事が増えると思う。
- ・砂川駅にエレベーターを作ったら良い
- ・車で移動がほとんどのため、よくわからない。バス、鉄道は利用しないので現状で満足ですが、利用する方にとっては。
- ・特にバスの便数が少なくて不便
- ・バス便数少ない。車いす使用者のための送迎（市）を助成して欲しい。介助を受ける方の外出サポート（人材、介助の方）を確保して欲しい。
- ・予約制ではなく循環乗合バスには出来ないか
- ・砂川駅のエレベーターの設置
- ・該当はしないと思うが、現在、運転免許証を返納した時、商品券 10,000 円分、タクシー券 3,000 円をタクシー券 30,000 円と商品券 10,000 円に増額してもらえないか。あくまで 75 歳以上の後期高齢者の人。これはあくまでもお願い。
- ・今のところ自家用車を使っているが、いずれ運転できなくなる時がくるので、その時には是非とも利用したい
- ・晴見地区から市中心街に出る場合、免許返納した場合、乗合タクシーを利用すれば良いのしょうが予約しなければならないなど、手続きが必要になり、出来るならば朝、夕方など時間を決めて運行してくれるバスがあればとても助かる
- ・市内巡回するコミュニティバスがあれば、年をとってから無理して車の運転をすることがなくなると思う
- ・バスについて～乗客の減少は理解できますが、バスを小型化する等して定時に利用できるのが良い。高齢化が進み、免許証の返納も増えていくと日常生活に支障が出る。鉄道について～普通便が少なくなり、不便になった。
- ・タクシーはほとんどつかめない

- ・タクシー＝乗り合いを利用している。(500 円なのでタクシーより安い為) バス＝だんだんと便数が減っているので不便。鉄道は利用しない。
- ・乗合タクシーは皆が利用しており、良い交通機関だと思う。私も免許、車をやめた時は利用させていただこうと思っている。
- ・砂川バスターミナルから滝川行きの便数(時刻)を増やしてほしい。市内から砂川バスターミナルの便数(時刻)を増やしてほしい。
- ・乗り合いタクシーについて、2コースある中で行きたい病院を回らないので病院はどこを使っても良いようにしてもらえないか
- ・タクシー便数が少ない。呼んでも 15～30 分待ちが多い。バス便数が少ない。停留所の除雪ができていない。鉄道内、時間で無人になることで不安になる。
- ・タクシーが少ない。夜など 1 時間待たされる。
- ・市からタクシー券が配布されているが全然足りない。買物に出る事も多いので枚数多くして戴ければ助かる。
- ・今車が有るので、使用していない
- ・鉄道の便数が少なくなり、不便。駅の階段を使用するにも、いつになったらエスカレーター等、出来るのか。期待できない。
- ・最近の高齢者の交通事故のニュースを多く見聞き、来年の中頃の免許の返納を考えている。今まであまりバス、鉄道の利用は無かったので予想も出来ないが、今後は市の中心部に出かける事も少なくなると思う。
- ・タクシーが少なすぎ。遅い時間にタクシーがない。
- ・乗り合いタクシー等の運営方法の見直し等。例えば、ゆうの利用者で公民館の停留では歩いていくのが大変で、ゆうに留まる事が出来ないのか検討してほしい。
- ・乗合タクシーの利用はとても良いことと思う。もう少し安いと助かる。
- ・住民が利用しやすいバス、鉄道は足替りに使える交通機関であるべきで、鈍行のリピーターが多くなると思う。特急や新幹線は人口の一部の人が観光客(季節的)しか使わず、安定した収入とは言えないと考える。
- ・公共交通機関、特にバスについて運転手不足等の理由は理解できるが、買物をするのにバスを利用しても帰る際のバスの待ち時間が長く非常に不便を感じる
- ・自家用車利用のため不満なし
- ・公共交通機関を利用しないので特に無い
- ・バスの本数を増やしてほしい(あまり利用しませんので無理は言えませんが時間帯で本数増を)
- ・市内循環のバスが少ないので交通の便が良くない。高齢者が利用しやすい交通機関が少ない。
- ・砂川の人口を考えたなら、公共交通機関やタクシーの減少は止むを得ないと思うが、その大元となる対策を取らないとただのグチになるので、まずは過疎化を防ぐことが重要
- ・私は、公共交通機関は使用していないので特別な意見はない

【問 19】道路や交通について、今後、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(複数回答・2つまで)

「冬季間の道路の除排雪」が48.6%と最も高く、他の項目との差が目立ちます。さらに「道路の舗装・改修」(22.3%)、「バスの便の確保」(21.8%)、「街路灯・防犯灯の設置」(16.3%)と続きます。前回の調査と比較すると、上位4項目の順位は若干変わったものの、上位4位に入っていることは変わっておらず、引き続き期待が高いことが伺えます。

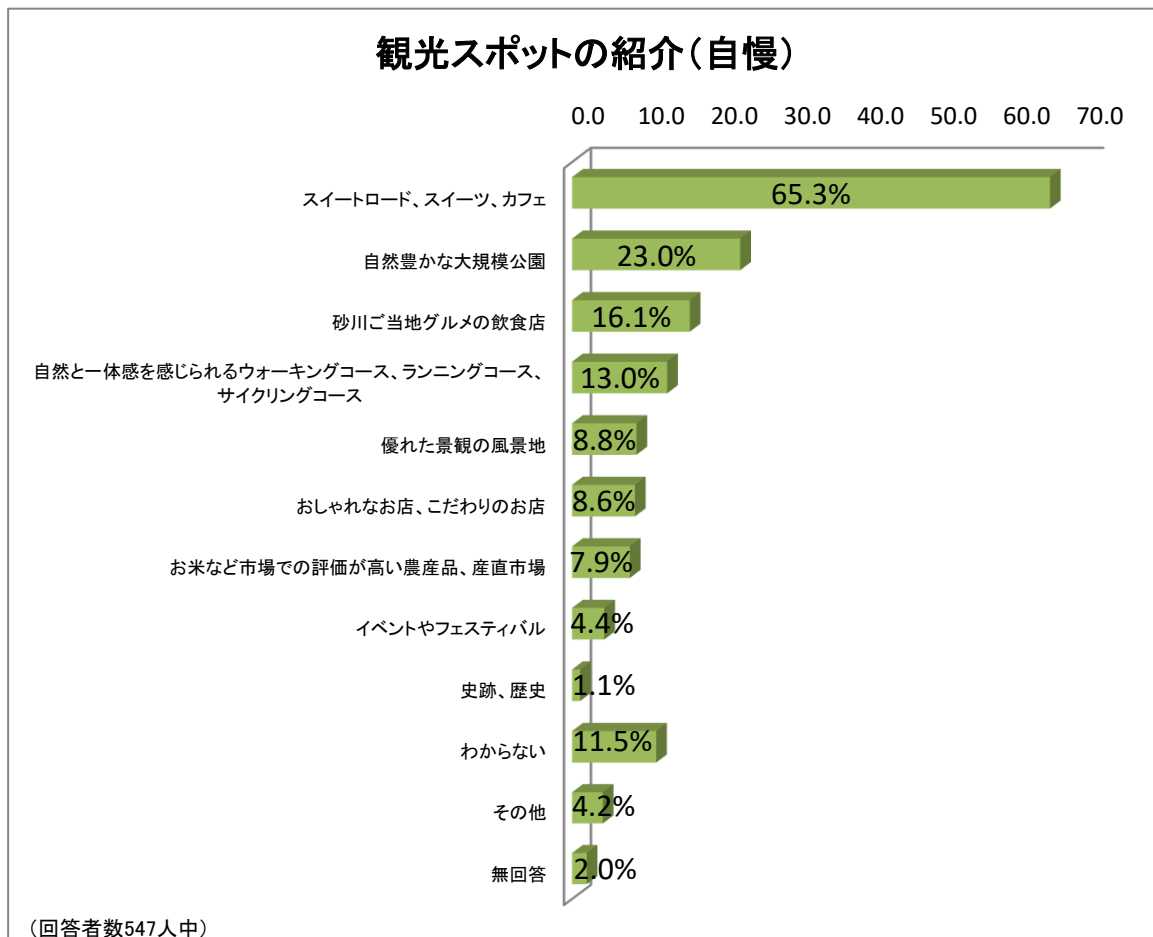


#### 【「その他」の記述】

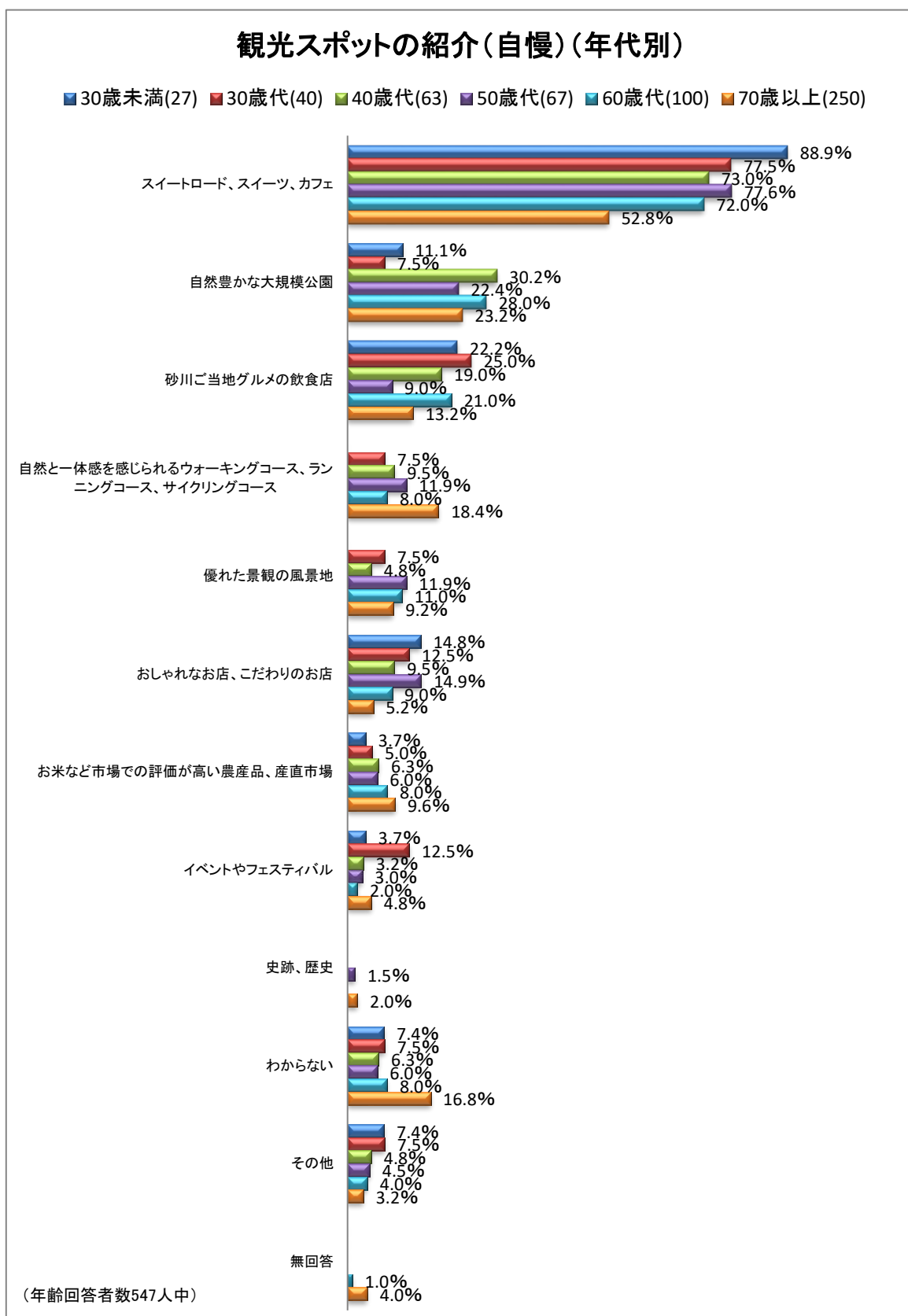
- ・ 駅の近代化、バリアフリー化、各交通手段の有機的な連絡
- ・ 信号のない交差点に雑草が生えて、見通しが悪くて危険。また、冬に雪が積もって見えない。
- ・ 除排雪については、一番力を入れてほしい。国道だけでなく住宅地など。JR のホームまでのエレベーター、エスカレーターの確保。
- ・ 除雪車が家の前に置いていく雪を集め、業者に頼んで排雪している。年間かなりの出費になる。
- ・ 不便を感じていない
- ・ 今後、流雪溝はどうなるのか
- ・ 歩道が切れているので整備してほしい。東1線通り、東庄ゴルフ場のところの歩道がなかなかつかない。車道を歩くので危険(4号線～5号線の間)
- ・ 私は93才と云う年寄りです。エコープ砂川で買物しているので、タクシー代にお金がかかる。
- ・ 予約制の乗り合いタクシーは使いにくいので、市内循環バスがあると良いと思う
- ・ 10年後20年後の砂川市を考えた交通網のあり方
- ・ コミュニティバスの確保
- ・ 砂川学園が開校したあとの吉野地区周辺の安全の確保が必要だと思う
- ・ 道路の舗装ですが、学校の近くや公共施設などの近くは良く整備されていますが、他の道路で凹凸のひどい道路もある。
- ・ 防犯カメラの設置。

【問 20】あなたが、市外にいる観光スポットを探している知人・友人などから砂川市のことをたずねられた場合、何を紹介（自慢）したいと思いますか。（複数回答・2つまで）

観光スポットの紹介（自慢）について、「スイートロード、スイーツ、カフェ」が65.3%と最も高く、「自然豊かな大規模公園」(23.0%)、「砂川ご当地グルメの飲食店」(16.1%)と続きます。



年代別でみると「スイートロード、スイーツ、カフェ」がどの年代でも突出して多くなっており、「スイートロード、スイーツ、カフェ」の認知度の高さが伺えます。



【「その他」の記述】

- ・ 滝川に行く人が多いと思う
- ・ ない
- ・ 市立病院の充実
- ・ こどもの国
- ・ SHIRO
- ・ ソメス
- ・ 子供の国の遊具
- ・ そんなにすごいスイートロードと感じていなかったが、TV 等で有名になった
- ・ 自慢出来るカフェがないのが残念

【問 21】 今後のまちづくりの目標として「砂川市は、こんなまちをめざしてほしい」というものがあれば、あなたのお考えとその理由もお書きください。（自由回答）

この問いは、市民の方の砂川市への思いや、まちづくりに対する考えをお聞きしました。

178 名からのご意見がありましたが、傾向としては「まちづくり全般」が最も多く、次いで「産業振興」「医療・保健・福祉」の分野が多くなっています。

「まちづくり全般」については、いろいろな面で安心して暮らせるまちにしてほしい、という意見が多くみられました。また、「産業振興」については、観光客誘致や雇用の増加などを望む声が多くみられたほか、「医療・保健・福祉」については、医療など高齢者に対する支援だけでなく、子育て支援の充実などの意見が多くみられました。

詳細については別冊①になります。

意見の分野別件数

| 分野               | 件数  |
|------------------|-----|
| まちづくり全般          | 77  |
| 市民参画・コミュニティ・行政運営 | 4   |
| 教育・文化・スポーツ       | 5   |
| 生活環境・防災          | 12  |
| 医療・保健・福祉         | 29  |
| 産業振興             | 32  |
| 都市基盤             | 14  |
| その他              | 5   |
| 計                | 178 |

【問 22】市民参加に関する項目について、それぞれどのように考えていますか。

(1つ選択)

「まちづくりに関心がある」という設問では、「そう思う」が 9.3%、「やや思う」が 32.2%となっており、「そう思わない」が 6.0%となっています。前回の調査と比較すると、「そう思う」「やや思う」の合計が 52.8%から 41.5%に減少し、「そう思わない」は 4.5%から 6.0%に増加しています。

「市が市民に対して行う情報提供が十分である」という設問では、「そう思う」が 6.4%、「やや思う」が 27.4%となっており、「そう思わない」が 9.3%となっています。前回の調査と比較すると、「そう思う」「やや思う」の合計が 32.3%から 33.8%に増加し、「そう思わない」は 13.0%から 9.3%に減少しています。

「市は市民の意見を聴く機会を十分設けている」という設問では、「そう思う」が 5.5%、「やや思う」が 17.6%となっており、「そう思わない」が 13.7%となっています。前回の調査と比較すると、「そう思う」「やや思う」の合計が 24.5%から 23.1%に減少し、「そう思わない」も 15.9%から 13.7%に減少しています。

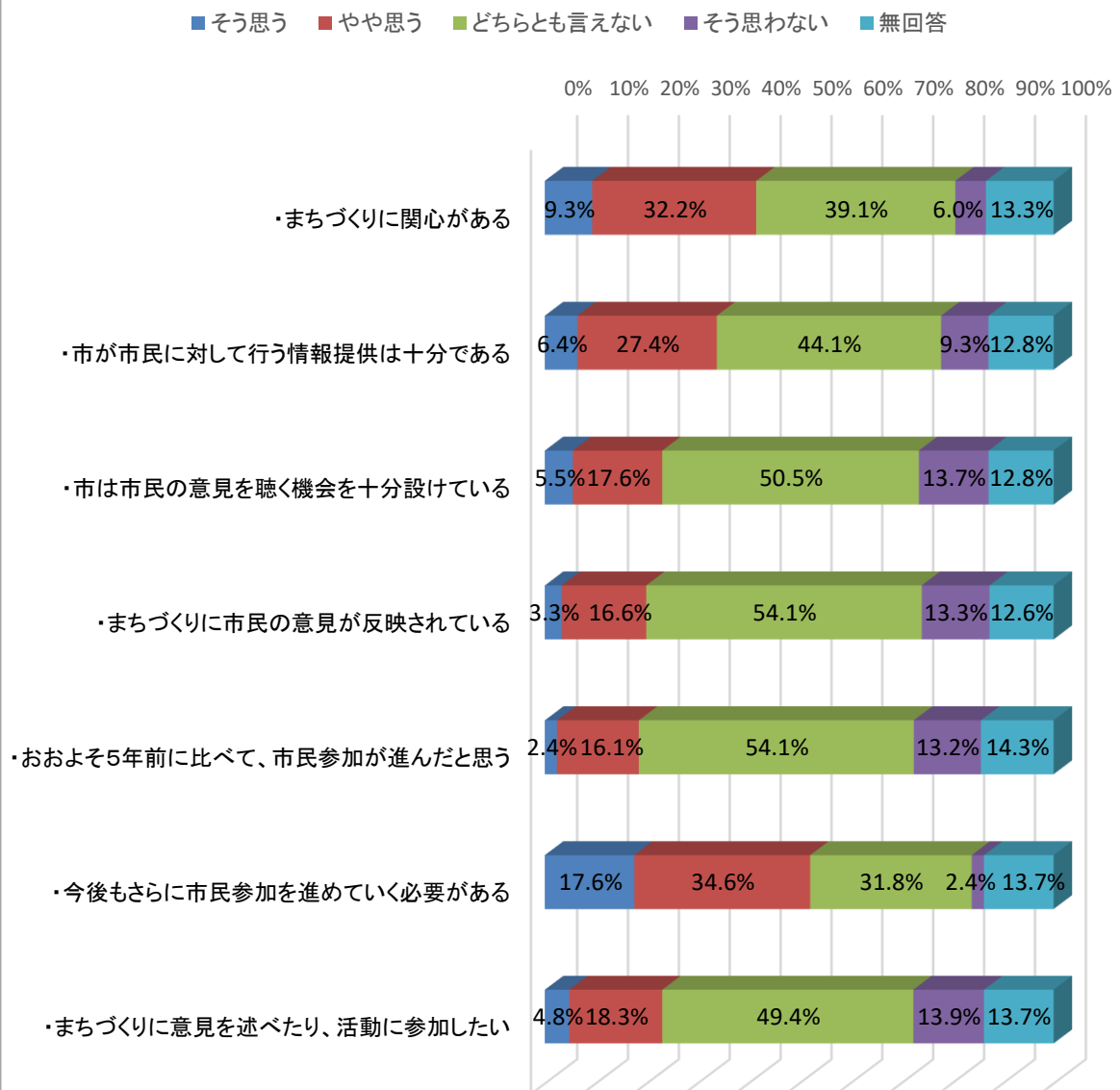
「まちづくりに市民の意見が反映されている」という設問では、「そう思う」が 3.3%、「やや思う」が 16.6%となっており、「そう思わない」が 13.3%となっています。前回の調査と比較すると、「そう思う」「やや思う」の合計が 19.7%から 19.9%に微増し、「そう思わない」は 14.4%から 13.3%に減少しています。

「おおよそ5年前に比べて市民参加が進んだと思う」という設問では、「そう思う」が 2.4%、「やや思う」が 16.1%となっており、「そう思わない」が 13.2%となっています。

「今後もさらに市民参加を進めていく必要がある」という設問では、「そう思う」が 17.6%、「やや思う」が 34.6%となっており、「そう思わない」が 2.4%となっています。前回の調査と比較すると、「そう思う」「やや思う」の合計が 65.7%から 52.2%に減少し、「そう思わない」は 2.2%から 2.4%に微増しています。

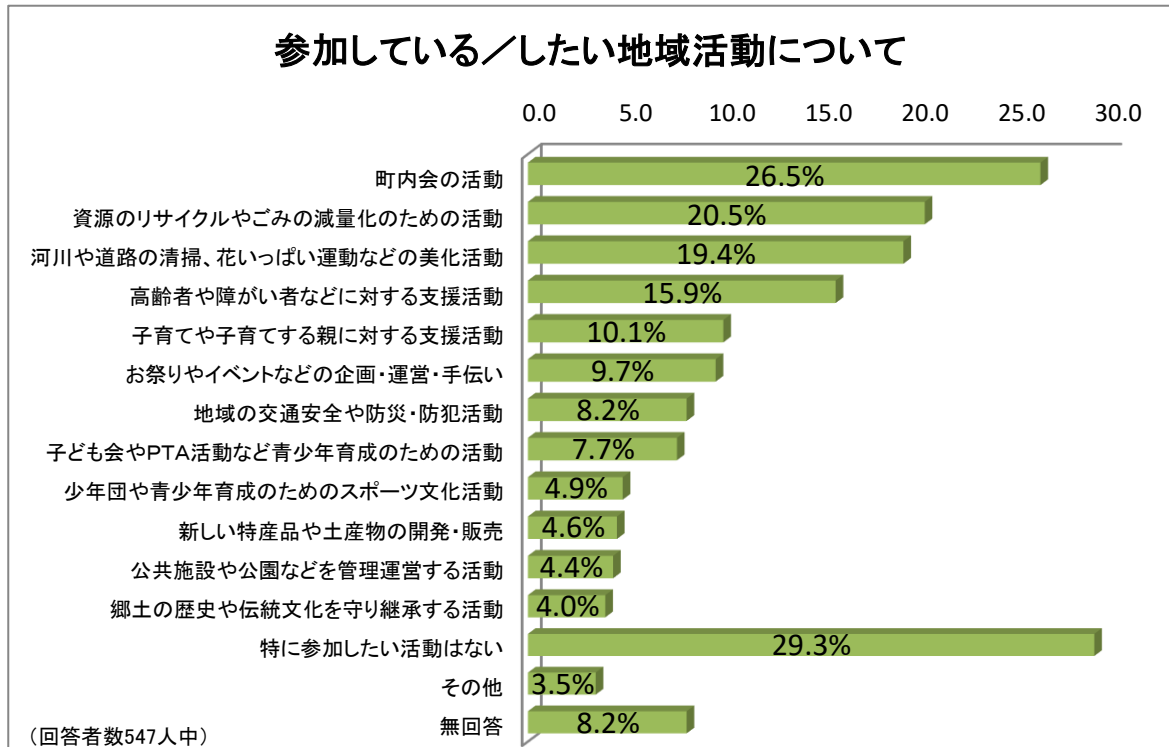
「まちづくりに意見を述べたり、活動に参加したい」という設問では、「そう思う」が 4.8%、「やや思う」が 18.3%となっており、「そう思わない」が 13.9%となっています。前回の調査と比較すると、「そう思う」「やや思う」の合計が 31.1%から 23.1%に減少し、「そう思わない」は 11.2%から 13.9%に増加しています。

## 市民参加について



【問 23】あなたはどのような地域活動に参加していますか。また、参加したいと思いますか。  
(複数回答・あてはまるものすべて選択)

「特に参加したい活動はない」を除くと、「町内会の活動」が 26.5%と最も高く、「資源のリサイクルやごみの減量化のための活動」(20.5%)、「河川等の清掃、花いっぱい運動などの美化活動」(19.4%)と続きます。前回の調査と比較すると、「特に参加したい活動はない」が 24.2%から 29.3%と増加しており、地域活動に対する意識の低下が伺えます。



#### 【「その他」の記述】

- ・ゆうの子供ゾーンの見守りボランティア ・退職後は参加したいと思う
- ・若い方々がイベントなど、計画・実行してくれているのを耳にしている。感謝している。
- ・体が不自由になったので、直接の活動はできなくなったが、数年前まで小学校の交通の啓蒙活動、町内会の活動に参加していた
- ・黒瀬ラベンダー園の美化 ・町内での活動を継続している
- ・参加したいが、すでに 90 才過ぎてるので自分で精一杯・仕事をやめて元気なら参加してみたい
- ・老人クラブでのあいさつ運動など ・年齢的に身立するだけでいっぱい
- ・ボランティアには興味がない ・参加はむずかしい。
- ・実際に話し合う機会を町内会単位(200 人位)で開催し、工夫・改善、公開して政策に生かして欲しい
- ・今は体調が悪く、参加したいが出来ないのが残念
- ・親子体験活動～夏、冬の釣り体験事業、年 2 ～ 4 回
- ・何とも難しい。参加はしたいと思うのだが。
- ・体調などにより参加はあまりありませんが、何かできる事があれば参加したい

【問 24】最後に、今後のまちづくりに対する提案やアイデア、ご意見などがありましたらご記入ください。（自由回答）

この問いは、市民の方の砂川市への思いや、まちづくりに対する考えをお聞きました。

123 名から 151 件のご意見がありましたが、傾向としては「都市基盤」が最も多く、次いで「産業振興」「医療・保健・福祉」の分野が多くなっています。

「都市基盤」については、交通の便の充実や除雪の充実、自然などの景観への意見が多くみられたほか、「産業振興」については観光客誘致に対する意見が多くみられました。また、「医療・保健・福祉」については地域の医療体制に対する意見が多くみられました。

詳細については別冊②になります。

意見の分野別件数

| 分野               | 件数  |
|------------------|-----|
| まちづくり全般          | 22  |
| 市民参画・コミュニティ・行政運営 | 6   |
| 教育・文化・スポーツ       | 8   |
| 生活環境・防災          | 7   |
| 医療・保健・福祉         | 28  |
| 産業振興             | 31  |
| 都市基盤             | 35  |
| その他              | 14  |
| 計                | 151 |